

市立芦屋病院中期経営計画

(平成26年度～平成30年度)

平成29年8月4日

目 次

(市立芦屋病院中期経営計画)

I	はじめに	1
II	市民に提供する業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	3
1	診療事業	3
2	臨床研究事業	5
3	教育研修事業	5
4	総合的事項	7
III	業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	7
1	効率的な業務運営体制	7
2	業務運営の見直しや効率化による収支改善	9
IV	収支計画及び資金計画	11
1	経営の改善	11
2	収支計画の策定	11
3	医療機器・建物整備に関する計画	11
4	債務の償還	11
V	その他業務運営に関する事項	12
1	人事に関する計画	12
2	広報に関する事項	12
3	積極・戦略的な投資	12

(市立芦屋病院中期経営計画細則)

1	病院概要	13
2	事業規模・形態の見直しについて	13
3	経営改善（効率化）に係わる計画	14
4	収入増加・確保対策について（医療の質の向上に関すること）	15
5	一般会計における経費負担の考え方	18

6	経費削減・抑制対策について	18
7	PDCA サイクルの構築	19
8	病院機能評価	19
	用語の説明	20

資料

1	中期経営計画実行策	22
2	収支状況	29
3	診療科別収入（入院・外来）	30
4	診療行為別収入（入院・外来）	34
5	病院管理指標	38
6	施設基準届出一覧	48
7	各種委員会活動状況	51
8	講座等活動実績	65
9	研究発表・論文等	69
10	実習受入実績	87

I はじめに

市立芦屋病院（以下「芦屋病院」という。）は、総務省主導の公立病院改革プランに則って、平成21年度から5年間の市立芦屋病院改革プラン（以下「改革プラン」という。）を策定し、運営形態を地方公営企業法の全部適用にし、病院の更新築工事を始めとした病院機能特化などの病院経営の改革・改善に努めてきました。

改革プランでは、

- I 地域の公立病院として果たすべき役割
- II 一般会計における経費負担の考え方
- III 経営改善（効率化）に係わる計画
- IV 事業規模・形態の見直しについて
- V 経費削減・抑制対策について
- VI 収入増加・確保対策について（医療の質の向上に関すること）
- VII PDCA サイクルの構築
- VIII その他

の大項目を挙げ、それぞれについて目標設定を行い、市立芦屋病院改革プラン評価委員会（以下「評価委員会」という。）の審議を経て毎年度ローリングを行ってきました。

この間、全国的な医師不足、看護師不足は常態化し、今後もこの傾向は続くと思われま
す。また、ますます進む高齢化は医療費の高騰を招き、国は病床数の削減、急性期病院の
さらなる特化を求める方向にあり、医療を取り巻く社会環境は依然厳しいものがあります。

このような状況を踏まえ経営健全化を一層進めるために、平成26年度から5カ年の市
立芦屋病院中期経営計画（以後「中期経営計画」という。）を策定しました。基本的には、
平成25年3月に完工した新築病院施設の有効活用を図り、現存診療機能の充実を行います。

今後、わが国に求められる医療で考えなければならないものとして超高齢社会に対応す
る医療があります。出生数が減り、平均寿命の延びから4人に1人は高齢者となり、芦屋
市もその例外ではありません。老齢期の患者が中心となる時代の医療は、病気と共存しな
がら生活の質（QOL）の維持・向上をめざし、地域や自宅での生活が出来るように地域全体
で支える「地域完結型医療」への変化が求められます。

「地域完結型医療」を行う上で、市立芦屋病院が果たすべき役割として、

- (1) 高齢者の救急を含めた急性期医療
- (2) トリアージを行い、必要に応じて高度急性期病院と連携
- (3) 回復期あるいは慢性期医療機関との連携
- (4) 地域在宅療養の推進
- (5) 病状不安定な在宅療養患者の受け入れ

等の地域における医療連携や地域包括ケアとの連携が考えられます。

一方で、消費税の増税や中小病院に厳しいとされる診療報酬の改定等、病院経営にとって多くの難題が予測されることや医師等の確保が困難な状況が続いていることをふまえ、この中期経営計画に掲載されている各方策を実行します。

また、現行の公立病院改革プランの対象期間が平成 25 年度までとなっていることから、今後の総務省の動向に注視し、適宜、検討を加えていきます。

芦屋市病院事業管理者 佐治 文隆

II 市民に提供する業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

芦屋病院は、公衆衛生の向上に寄与すること及び市民の健康に影響のある疾病に関する医療とともに地域の中で信頼される医療の提供、調査研究及び医療従事者の育成を実施する。

1 診療事業

利用者である市民に満足される安心で質の高い医療を提供することを主たる目標とする。

(1) 患者の目線に立った医療の提供

① 判りやすい説明と相談しやすい環境づくり

患者が医療内容を適切に理解し、患者の意思を尊重した治療の選択が可能なように、診療ガイドラインの活用や複数職種の同席による説明などに努め、相談しやすい体制作りに取り組む。

患者とのコミュニケーションに関する研修（接遇等）を充実し、患者満足度調査において、医療従事者の説明に関する項目の改善について検証を行う。

② 患者の価値観の尊重

患者満足度調査を定期的実施し、その結果をふまえて患者の利便性に配慮した診療時間の設定や待ち時間を短縮する取組、入院環境（アメニティ）などサービスの向上を図る。

なお、患者満足度調査については患者の目線に立った観点からその見直しを図る。

(2) 安心・安全な医療の提供

① 医療倫理の確立

患者との信頼関係を醸成することが重要であり、カルテ開示など適切な情報開示に取り組むとともに、患者のプライバシーの保護に努める。

倫理委員会の組織・運営状況の改善に努めるとともに、倫理的事項について医療従事者に対する助言体制を整備する。

② 医療安全対策の充実

リスクマネージャーを中心に非日常（ヒヤリハット事例）報告の適正な分析等のリスク管理を推進するとともに、他病院との情報交換を実施するなど安全対策の標準化に取り組む。特に院内感染対策については、院内サーベイランスの充実

などに積極的に取り組む。

医療安全対策の充実に貢献する観点から、医療事故や医薬品等安全情報の報告を徹底する。さらにこれらの取組をとりまとめ、情報発信に努める。

(3) 質の高い医療の提供

① クリティカルパスの活用

チーム医療の推進、患者に判りやすい医療の提供や医療の標準化のため、クリティカルパスの活用を推進し、入院患者に対する適用率を50%以上にする。

② EBMの推進

エビデンスに基づいた医療（Evidence Based Medicine（以下「EBM」という。））を実践するため、臨床研究により得られた成果を臨床に反映させるとともに臨床評価指標の充実に努める。診療情報データベースを確立し、利用を促進する。

③ 患者のQOLの向上

快適な療養環境の提供や、接遇・コミュニケーション質向上などの改善に取り組み、患者満足度調査におけるQOLに関する項目の評価の向上に努める。

④ 職種間の協働，チーム医療の推進

チーム医療の推進に必要な多種多様な医療スタッフが、その高い専門性を連携・補完し合い、職種間の協働と役割分担された業務を実施することにより、質の高い医療を効率的に提供する。

⑤ 超高齢社会への対応

高齢者に多くみられる疾患（がん、骨そしょう症、呼吸器、循環器疾患等）に対する診療内容の充実に努めるとともに在宅医療について研究する。

(4) 病院に期待される機能の発揮

① 医療計画をふまえ地域医療にいっそうの貢献

地域において必要とされる医療を的確に実施するため、地域連携クリティカルパス実施件数の増加や紹介率・逆紹介率の向上など地域医療機関との連携強化を図るとともに、県が策定する医療計画をふまえ、地域医療の向上に積極的に取り組む。紹介率、逆紹介率については、中期経営計画の期間中に平成25年度に比し、各々10%以上引き上げることに努める。

② 救急医療の拡充

引き続き内科二次救急体制を24時間365日堅持し、小児救急体制、外科系救急体制、消化器内視鏡救急体制等の拡充を図る。

なお、救急車の受入数及び救急受診後に入院した患者数について、中期経営計画の期間中に平成25年度に比し、各々20%以上の増加を目指す。

③ 総合診療

今後、医療のなかでますます重要な役割を果たしていく患者のからだや心が抱える問題を総合的に診療し、必要に応じて専門医への橋渡しを行う「総合診療専門医」を育成する。

④ 周産期医療

連携医療機関とのネットワークを強化し、地域のニーズに対応して周産期医療体制の整備を図る。

⑤ 災害時の医療体制

災害時の医療では、病院自体も被災して病院としての機能が制限されることやマンパワーが不足されることが予想される。このため、市災害対策本部との連携のもと芦屋市医師会と協同して負傷者等の救急対応を行う。

また、県下の自治体病院が相互応援体制の協定を締結しており、災害が発生した直後に被災した病院が独自に十分な医療活動ができない場合に、その外の病院が相互扶助精神に基づき、速やかに応援協力することとなっている。今後とも周辺自治体病院との連携のもとに地域住民が安心できる医療の提供に努めていく。

⑥ 政策医療の適切な実施

新型インフルエンザ等の感染症に対しては、兵庫県健康福祉事務所（保健所）と連携し、地域公的医療機関の責務を果たす。

院内保育所で行っている病児・病後児保育を継続して行う。

⑦ 地域医療の効率化

阪神医療福祉情報ネットワーク「H-Anshin むこねっと」に参加し、二次救急システム、医療機関機能情報システム、患者情報共有システム等の IT 化されたネットワークを活用し、地域医療の効率化を目指す。

2 臨床研究事業

(1) 治験の推進

治験実施症例数について、中期経営計画の期間中に平成 25 年度に比し、100%以上の増加を達成する。

(2) 研究倫理の確立

臨床研究や治験を実施する際に、病院に設置された倫理委員会、治験審査委員会の審議を徹底し、その改善に努める。

3 教育研修事業

(1) 質の高い医療従事者の育成・確保

① 質の高い医師の育成

初期臨床研修プログラムに基づき、質の高い研修を実施して良質な医師の育成を行う。

臨床研修終了後の医師に対する専門分野の研修において、広く公募を行うとともに、研修コースや研修プログラムの充実を図り、良質な医師を育成する。あわせて幅広い総合的な診療能力を有し、全人的な医療を推進できる医師の育成に取り組む。

専門分野を担当する医師においては、専門医、認定医、指導医等の資格取得を促進し、医療の質の向上を図る。

② 質の高い看護師の育成

使命感を持った質の高い看護師の育成を行うとともに、高度な看護実践能力を持ち、医師など多職種との協働によりチーム医療を提供していくことの出来る看護師を育成するため、医療と一体となった看護教育に取り組む。

専門看護師、認定看護師等の採用及び資格取得を推進し、看護の質の向上を図る。専門看護師、認定看護師を中期経営計画の期間中に平成 25 年度に比し、実質 6 名（看護管理認定看護師を除く）の増を目指す。

看護学生の実習を積極的に受け入れ、高等看護教育に資する取組を行う。

③ 医療従事者の育成

コメディカルをはじめとする医療関係職種を対象とした研修についてさらなる充実を図る。

医療関係職種を目指す学生の実習を積極的に受け入れ、高度な専門知識、専門技術を有する医療従事者の育成に努める。

④ 事務職員の育成

事務職員の能力を最大限に発揮できる環境を整えるとともに、診療情報管理士等の資格取得を促進する。

(2) 地域医療の推進

① 研修事業の実施

地域の医療従事者を対象とする研究会や研修会、地域住民を対象とした教育機関や福祉施設における啓発活動、公開講座、講演会を開催し、地域社会に貢献する教育活動を実施する。

研究会等の内容の充実にも努めるとともに、受講者数について平成 25 年度に比し 20%以上の増を目指す。

② 在宅医療推進の支援

在宅医療において中心的な役割を果たすかかりつけ医の負担を軽減し、在宅療

養患者が安心して医療を受けることができる在宅療養患者の後方支援病床の確保等の病診連携を確立するなどの在宅医療の推進に向けて、看護師、薬剤師など多職種を交えた地域連携室の拡充を図ります。

4 総合的事項

(1) 総合的な検証，改善等

年度ごとに政策医療に係わる機能，地域医療事情，経営状況等について総合的に検証し，その結果を公表するとともに，必要な改善処置を講ずる。

(2) 調査研究・情報発信機能の強化

臨床研究，治験，診療情報の分析等をはじめ，医療に係わる調査研究・情報発信機能の強化に努める。

Ⅲ 業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

公営企業会計原則の下，部門別決算，月次決算等の精度を高め，効率的で透明な医療経営の確立を図る。財務面においては，収支相償（経常収支ベース）の経営を目指す。これらと合わせ業務の効率化を推進する。

1 効率的な業務運営体制

(1) 弾力的な措置の構築

ア 院内組織の効率的・効果的な構築

地域事情や特性を考慮した，より効率的な体制とする。

イ 組織運営の方針

① 副病院長の体制強化

看護職や事務職等の副病院長について，必要に応じて配置する。

② 地域連携部門の体制強化

地域医療連携室の体制を強化し，地域医療との連携の取組を強化する。

③ 医療安全管理部門の強化

医療安全管理室を拡充して，リスクマネジメントへの取組を強化する。

④ 看護部門の体制強化

看護部門については，病棟部門と外来部門の連携の推進をはじめ，効率的・効果的な運営体制とする。また，看護部門の人員配置を検討し，看護体制の強化を図る。加えて，看護助手の多様な活用を進める。

⑤ 事務部門の体制強化

事務部門の組織及び正規職員の比率を見直し、効率的・効果的な運営体制とする。また、有資格者の確保や資格支援を促進するとともに、診療報酬の請求業務について、収益の安定的確保の面から直営を含めて体制強化を検討する。

⑥ 人材育成，教育研修機能の強化

迅速に丁寧で心のこもった患者サービスが提供できるように、接遇の向上を図る。

看護師長（教育担当）の拡充を図り、新人看護師の教育や有為な人材育成を行い、さらには離職防止も図る。

また、看護師長（教育担当）、事務職、コメディカル職種を含んだ組織体制の構築を検討し、人材育成体制の強化を図る。加えてトップダウンに頼らずボトムアップによる組織活性化に取り組む。

(2) 医師職にふさわしい給与体系の検討

医師が自己の働きに満足感と納得を感じ、貢献度が平等・公平のもとに客観的な評価を受け、その成果が給与に反映され、仕事へのモチベーションをあげることのできる年俸制等の導入を検討する。

(3) 人材の確保

医師等が、定年後も当院で働き続けられるように、また、良質な人材が確保できるように、任期付雇用の導入を検討する。

(4) 職員配置

各部門における職員の配置数については、各職員の職務と職責を考慮して適切なものとするとともに、活動性に応じた配置及び医療需要に応じた組織の構築に取り組む。

(5) 職員の業績評価等の適切な実施

職員が業務で発揮した能力、適正、実績等を適正に評価し、職員の給与に反映させるとともに、業務遂行意欲の向上を図る業績評価制度について、当該制度の適切な運用を継続し、必要に応じて改善を図る。併せて人事制度へのいっそうの活用を図ることにより、病院の能率的運営につなげる。

また、資格（認定医、認定看護師等）を生かした職務、院外活動への寄与に対する人事評価の整備に取り組む。

(6) 外部監査等の充実

① 外部評価の活用

市立芦屋病院中期経営計画評価委員会（仮称）による中期経営計画の進行・達成度の評価を行い、PDCA サイクルを活用し、年度ごとにローリングを行う。

② 病院機能評価

芦屋病院では質の高い医療を効率的に提供していくため、平成 22 年 8 月に日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定を受けたが、引き続き、同機構が行う審査を継続的に受審し、機能の一層の充実・向上を推進する。

2 業務運営の見直しや効率化による収支改善

芦屋病院の特色・機能を十分に発揮させるとともに、院内の効率的・効果的な組織構築や職員の適正配置を行う。診療報酬上の施設基準の新規取得や効率的・効果的な医療の提供を通じて安定的な収入の確保を図るとともに、コスト削減に努め、経常収支で収支相償以上を目指す。

サービスの質の向上や経営改善に関する職員の自主的取組を奨励し、効率的な業務運営に向けた職員の改善意欲の向上を図る。

(1) 経営意識の向上

① 経営力の向上

毎年の事業計画を通じた経営管理サイクルをさらに充実させるとともに、医療事務などの経験者の採用や正規職員の育成を図る。

経営分析及び経営改善手法等の経営能力並びに診療報酬請求事務能力の向上を目的とした勉強会や研修を定期的に行うことにより職員の資質向上に努める。

② 政策医療に係わるコスト分析

救急医療等の政策医療に係わるコストの分析を実施し、必要な機能を維持しつつ適正なコスト管理を実施する。

(2) 収入の確保

① 病床稼働率の向上

良質で満足度の高い医療サービスを提供することにより、より多くの患者に市立芦屋病院の利用を促進し、患者数の増加による収入を確保する。

② 診療報酬業務の改善

適切な診療報酬請求業務の実施のため、業務自体の直営化を含めて検討し、職員の能力向上に取り組む。

③ 未収金対策の徹底

医業未収金については、新規発生防止及び早期解決の取組をいっそう推進し、

また法的手段の実施等によりその回収に努めることで、平成 25 年度に比して医業未収金比率の低減を図る。

(3) 業務運営コストの節減等

医薬品等の購入方法や業務委託の推進・点検，医業未収金対策の徹底など様々な取組や病院の有する人的・物的資源及びそのネットワークを有効に活用し，経営改善を図ることにより，費用の節減等を図る。

ア 業務運営コストの節減

① 材料費

同種同効医薬品の整理など，さらなる使用医薬品の標準化を推進し，調達方法及び対象品目等の見直しを行い，薬品費と消耗品費等の材料比率の増加の抑制を図る。

包括医療等の今後の診療報酬改定を考慮しつつ後発医薬品の採用を促進する。

② 人件費比率等

医療の高度化や各種施策などにも留意しつつ，適正な人員配置に努めるとともに，業務委託についてもコスト低減に十分配慮した有効活用を図ること等により，中期経営計画の期間中，人件比率と委託比率を合計した率について，業務の量と質に応じた病院運営の適正な率を目指す。

③ 投資の効率化

大型医療機器整備の入札にあたっては，他病院の導入実績を把握し，場合によっては共同歩調を取るなど購入費用の削減を図る。

④ 適正な契約事務の実施

原則として一般競争入札等によるものとし，競争性，公平性及び透明性が十分確保される方法により実施する。また，長期継続契約の導入など経費の削減を図る。

イ 医療資源の有効活用

① 医療機器の効率的な利用の促進

医療機器の効率的な使用に努め，ME(medical engineer)による集中管理及びメンテナンスの実施による稼働率の向上を図る。他の医療機関からの共同利用を推進し，中期経営計画の期間中に平成 25 年度に比し，CT，MRI の高額医療機器の共同利用数について 50%以上の増加を目指す。

② 病床の効率的な利用の促進

病診連携・病病連携の推進等により平均在院日数の短縮を図るとともに，新規患者数を増加させるなどにより収支の改善に努める。

③ 診療科の公募

院内開業による診療を目指した「耳鼻いんこう科」については、引き続き病院機能との連携を考慮した誘致に努め、医療機関としての機能の維持・向上及び財政基盤の安定化など有効活用にも努める。

④ IT化の促進

新地方公営企業会計に対応する財務会計システムにより、部門別決算や月次決算を行うとともに、財務状況を分析し経営改善に努める。

電子カルテ導入に併せて採用した医事会計システムにより、医事会計の効率的運営を図る。

IV 収支計画及び資金計画

「Ⅲ 業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、財務内容の改善を図るため、以下の目標を達成する。

1 経営の改善

部門別決算及び月次決算を行うことにより各部門における経営実態を早期に把握し、問題点の抽出・改善を図り、中期経営計画期間の各年度における経常収支比率を100%以上とすることを目指す。

2 収支計画の策定

中期経営計画において策定した各項目の着実な実行を前提とした医業収支の見込を反映した収支計画を策定し、各項目について毎年度ローリングによる見直しを行い、確実な医業収支の改善を図る。

① 収支計画（別紙）

② 資金計画（別紙）

3 医療機器・建物整備に関する計画

安全で良質な医療の向上を維持するためには、効率的・効果的な医療機器の更新及び施設整備は不可欠なものであり、特に、老朽化している高額医療機器等の更新については、芦屋病院に期待されている診療機能との整合性や、経費面からの費用対効果を稼働率などの客観的な視点で評価し、年次計画に基づき更新する。

① 医療機器等整備計画（別紙）

② 施設整備計画（別紙）

4 債務の償還

新病棟建設事業等で借り入れた企業債並びに毎年度の収支不足を補うために一般会計から借り入れた長期借入金の償還残高が、平成 25 年度末に約 109 億円見込まれている。その元利償還金の返済ピークを平成 33 年度と見込んでおり、年間の元利償還金の合計額が約 8 億円にも上り、経営を圧迫することが予測される。

そのため、収支相償を維持しつつ、借入金の元利償還が可能となるよう経営改善に努める。

V その他業務運営に関する事項

1 人事に関する計画

良質な医療を効率的に提供していくため、医師、看護師等の医療従事者数については、医療を取り巻く状況の変化に応じて柔軟に対応する。

特に、医師・看護師不足に対する確保対策を引き続き推進するとともに、離職防止や復職支援の対策を講じる。

また、優秀な人材の確保及び有効活用を図るため適切な配置転換を行う。さらに、有為な人材の育成や能力の開発を行うための研修を実施する。

2 広報に関する事項

芦屋病院の使命，果たしている役割・業務等について，広く市民の理解が得られるよう積極的かつ効率的な広報・情報発信に努める。

3 積極・戦略的な投資

患者満足度及び職員満足度に寄与するもののうち収益につながる費用対効果が得られ，投資効果の高いものへ優先的に投資する。

市立芦屋病院中期経営計画細則（第5版）

策定年月日	平成26年3月31日
対象期間	平成26年度～平成30年度
改定年月日	平成27年7月30日
改定年月日	平成27年12月17日
改定年月日	平成28年7月21日
改定年月日	平成28年12月19日
対象期間	平成28年度～平成30年度

※変更箇所 アンダーライン部分が前回からの変更箇所
※変更理由 H28年度決算見込数値の追記

1 病院概要

名称	市立芦屋病院
所在地	芦屋市朝日ヶ丘町39番1号
開設者	芦屋市長
開設年月日	昭和27年7月12日
許可病床数	199床（一般病床 175床，緩和ケア病床 24床）
診療科目	内科 血液・腫瘍内科 消化器内科 糖尿病・内分泌内科 循環器内科 呼吸器内科 緩和ケア内科 外科 消化器外科 乳腺外科 肛門外科 整形外科 産婦人科 小児科 眼科 耳鼻いんこう科 皮膚科 形成外科 放射線科 麻酔科 ペインクリニック内科 リハビリテーション科 以上22診療科，院内標榜を除く
運営形態	地方公営企業法の全部適用（平成21年4月1日～）

2 事業規模・形態の見直しについて

(1) 運営形態について

当院は，平成21年4月からの地方公営企業法の全部適用を受けて，病院事業管理者を設置することにより，病院事業の独自性，医療情勢の変化への即応性を確立しつつあることからこの形態を当面は維持する。

地方独立行政法人や指定管理者制度等を用いた他の形態への変更に関しては，調査・研究を進めながら必要性がさらに認められる時点において検討を加えることとする。

(2) 事業規模について

当院は、平成 22 年 1 月より許可病床数を 199 床（一般病床 175 床、緩和ケア病床 24 床）として運営している。これは県の保健福祉医療計画並びに阪神南医療圏域において当院に求められる診療機能等を勘案したものである。

3 経営改善（効率化）に係わる計画

(1) 財務に係わる数値目標

(1) 財務に係わる数値目標

	当初目標	目 標	実 績
ア 経常収支比率			
平成 26 年度	96.1%	96.1%	93.5%
平成 27 年度	95.7	91.7	93.0
平成 28 年度	95.9	91.5	<u>94.6</u>
平成 29 年度	96.8	92.9	
平成 30 年度	98.1	93.6	
イ 職員給与比率			
平成 26 年度	63.9%	63.9%	65.7%
平成 27 年度	62.8	64.9	62.7
平成 28 年度	62.7	65.2	<u>63.0</u>
平成 29 年度	61.9	63.8	
平成 30 年度	61.6	63.0	
ウ 病床稼働率（一般）			
平成 26 年度	88.6%	88.6%	86.2%
平成 27 年度	90.0	86.0	87.3
平成 28 年度	91.0	86.2	<u>89.5</u>
平成 29 年度	92.0	89.1	
平成 30 年度	93.0	90.2	
病床稼働率（緩和）			
平成 26 年度	80.0%	80.0%	76.3%
平成 27 年度	80.0	80.0	58.9
平成 28 年度	80.0	80.0	<u>68.6</u>
平成 29 年度	80.0	80.0	

平成 30 年度	80.0	80.0
----------	------	------

エ 診療単価（入院・一般）

平成 26 年度	43,830円	43,830円	43,514円
平成 27 年度	44,000	45,000	44,216
平成 28 年度	45,000	44,363	<u>44,566</u>
平成 29 年度	46,000	45,507	
平成 30 年度	47,000	46,635	

診療単価（入院・緩和）

平成 26 年度	45,000円	45,000円	52,699円
平成 27 年度	45,000	45,000	54,557
平成 28 年度	45,000	50,000	<u>52,183</u>
平成 29 年度	45,000	50,000	
平成 30 年度	45,000	50,000	

※実績は他病棟における診療費を含む。

診療単価（外来）

平成 26 年度	11,984円	11,984円	11,883円
平成 27 年度	12,000	11,800	12,219
平成 28 年度	12,100	12,100	<u>12,426</u>
平成 29 年度	12,200	13,300	
平成 30 年度	12,300	13,400	

別に定める年次計画の達成状況に応じて常に検証を加え、必要に応じて改訂する。

4 収入増加・確保対策について（医療の質の向上に関すること）

(1) 診療機能について

ア 救急医療の拡充

- ① 内科二次救急の継続（24 時間 365 日）
- ② 消化管出血等に対応できる消化器内視鏡救急外来の拡充
- ③ 外科（外科・整形外科）救急外来の拡充
- ④ 小児科二次救急の継続
- ⑤ 総合診療医の育成

イ がん対策の強化

- ① がん検診・人間ドックの充実
- ② がん予防診療（ピロリ菌外来・肝炎ウイルス対策）
- ③ 低侵襲手術（上部・下部消化管内視鏡下手術，腹腔鏡下手術，胸腔鏡下手術）の拡充
- ④ 外来・入院化学療法
- ⑤ がん緩和ケア（緩和ケアチーム介入・緩和ケア病棟）
- ⑥ がんに関する知識の啓発
- ⑦ 院内がん登録の継続実施

ウ 生活習慣病対策の拡充

- ① 糖尿病対策
- ② 糖尿病合併症（循環器・神経・腎臓・眼底）の早期発見・診断・治療
- ③ 循環器疾患（高血圧・動脈硬化・心筋梗塞）の診断・治療
- ④ 脂質異常症の診断・治療

エ 循環器疾患への対応

- ① 循環器疾患（高血圧・動脈硬化・心筋梗塞）の診断・治療
- ② 心臓カテーテル検査と経皮的冠動脈形成術
- ③ 下肢動脈末梢血管造影と下肢動脈形成術
- ④ 徐脈性不整脈に対する検査・治療

オ 呼吸器疾患への対応

- ① 睡眠時無呼吸症候群（SAS）の診断・治療
- ② 慢性閉塞性肺疾患（COPD）の診断・治療
- ③ 誤嚥性肺炎の予防
- ④ 新型インフルエンザ対策

カ 骨・運動器疾患の対応拡充

- ① 骨粗鬆症の予防・診断・治療
- ② 関節疾患の診断・治療
- ③ 外傷・骨折の診断・治療
- ④ 運動器リハビリテーションの拡充
- ⑤ 循環器・呼吸器・嚥下障害・脳血管リハビリテーション

キ 産婦人科医療の拡充

- ① 周産期医療の構築（周産期ネットワークの活用）
- ② 婦人科腫瘍の診断・治療
- ③ 泌尿婦人科疾患の診断・治療
- ④ 更年期婦人疾患の診断・治療

ク 小児科医療の充実

- ① 地域小児科医療の支援
- ② 予防接種の推進
- ③ 特色ある診療の実施（腎臓疾患等）

ケ 眼科医療の充実

- ① 眼科疾患の診断・治療
- ② 眼科疾患（白内障等）の入院手術の推進

コ 皮膚科・形成外科の拡充

- ① 診断・治療目的の手術の推進

サ 初期臨床研修医・後期研修医の確保

- ① 初期臨床研修プログラムの充実（臨床研修連携病院の拡充）
- ② 大学との連携研修の実施
- ③ 後期研修プログラムの充実

(2) ネットワーク医療について

阪神南圏域に所在する主たる病院群の現状は以下のとおりである。

・兵庫医科大学病院	963 床
・関西労災病院	642 床
・兵庫県立尼崎総合医療センター	730 床
・県立西宮病院	400 床
・西宮市立中央病院	257 床
・市立芦屋病院	199 床
・笹生病院	189 床

なかでも圏域の西側に位置する県立西宮病院、西宮市立中央病院との連携強化とネットワーク医療の構築を目指して、以下の課題を中心に「ネットワーク化協議」を継続する。

- ・救急医療

- ・周産期医療
- ・診療科の相互補完
- ・研修・研究

阪神南北圏域（阪神 7 市 1 町）を対象とする阪神医療福祉ネットワーク「h-Anshin むこねっと」に参加し，二次救急システム，医療機関機能情報システム，患者情報共有システム等の IT 化されたネットワークを活用し，阪神 7 市医師会と連携して地域医療の効率化を目指す。

5 一般会計における経費負担の考え方

地方公営企業法に基づく基準内繰出を原則として，以下のとおりの繰出を行うとともに，保健・福祉との連携経費など，社会情勢の変化にともなって生じる新たな出資等については別途協議とする。

（基準内繰出）

- (1) 病院の建設改良に要する経費の 1/2
- (2) 病院事業債元利償還の 1/2（平成 14 年度以前分は 2/3）
- (3) 救急医療の確保に要する経費（救急受け入れ体制の構築に伴う経費）
- (4) 保健衛生行政事務に要する経費
- (5) 医師及び看護師の研究研修に要する経費の 1/2
- (6) 病院事業会計に係わる共済追加費用の負担に要する経費
- (7) 地方公営企業職員に係わる基礎年金拠出金にかかる公的負担に要する経費
- (8) 地方公営企業職員に係わる子ども手当に要する経費
- (9) リハビリに要する経費（要した職員給与費から収入を除いた額）
- (10) 小児医療に要する経費（要した職員給与費から収入を除いた額）
- (11) 高度医療に要する経費
- (12) 院内保育に要する経費（うち収入を以て充てることのできない経費）
- (13) 医師確保対策に要する経費（医師の派遣を受けることに要する経費）

（別途協議）

- (14) 医療・福祉ネットワークバスの運行に要する経費（予め協議において按分した額）

6 経費削減・抑制対策について

- (1) 職員給与費の適正化について

給料表，各種手当ての見直しを行い，引き続き給与の適正化を図る。併せて業績評価制度（人事評価制度）についても継続して適正化を図る。

- (2) 業務委託，人材派遣，非正規雇用について

業務委託，人材派遣，非正規（嘱託職員，臨時的任用職員）雇用を行うに際しては，

当該業務の専門性、特殊性、持続性、重要性、将来計画における人員計画等に鑑み、点検を実施する。アウトソーシングや非正規雇用を導入する条件として、

- ① 指揮命令系統の整備
- ② パートナーシップの醸成
- ③ 社会経済情勢への配慮

など、より良質な医療サービスの提供に主眼をおいて実施する。

なお、複数年契約や複合契約、分離発注の有効性に関しては日常的な点検を加える。

(3) 診療材料及び薬品における物流一元化について

物流一元化の評価、検証を実施したうえで改善を図る。

薬剤に関しては、包括医療等の今後の診療報酬改定を考慮しつつ後発医薬品の採用を促進し、中期経営計画の期間中に数量ベース、購入金額ベースともに平成 25 年度に比し 50%以上の増加を図る。併せて持参薬の活用等を実施する。

(4) 効率的な業務プロセスの再構築について

管理会計の整備に向け、DPC 分析ツールの活用によるベンチマークを行うとともに、診療行為別医療情報等を、活用できるよう電子カルテシステムの有効活用を図る。併せて診療機能支援、情報の集約化及び部門間の連携強化に活用する。

ドクターワークの有効活用により、医師業務の軽減を行い、診療業務の効率化を推進する。

7 PDCA サイクルの構築

当中期経営計画の実効性の確保に関しては、市立芦屋病院中期経営計画評価委員会（仮称）を開催し、評価・検証内容を公表することにより担保することとし、当院は評価委員会からの指導、勧告に基づき当中期経営計画の実行及びローリングに努める。

8 病院機能評価

平成 26 年度に日本医療機能評価機構の病院機能評価を受審し、認定を更新する。

以上

用語の説明

○ ME (medical engineer)

高性能の医療機器の操作方法を医師や看護師等の医療スタッフに指導したり，医療機器の保守・点検を行う技術職

○ エビデンス

医学の分野では，ある治療法がある病気・怪我・症状に対して，効果があることを示す証拠や検証結果・臨床結果を指す。

医療行為において治療法を選択する際「確率的な情報」として，患者にとって安全で効果のある治療方法を選ぶ際に指針として利用される。

○ クリティカルパス (クリニカルパス)

入院中に行われる検査・処置・指導・看護・食事などを入院から退院までの時間順にまとめた診療計画表

○ サーベイランス (感染症サーベイランス)

感染症の発生状況を正確かつ継続的に調査・把握することにより，感染症の蔓延と予防に役立てるシステム

○ 生活の質 (QOL) クオリティ・オブ・ライフ

物理的な豊かさやサービスの量、個々の身辺自立だけでなく、精神面を含めた生活全体の豊かさと自己実現を含めた概念

○ 総合医療

専門化・細分化した特定の臓器・疾患に限定せず，多角的に診療する医療

資 料

平成 2 9 年 8 月

資料 1

【市立芦屋病院中期経営計画実行策】

※上・下半期達成率については当該年度目標数値の1/2を目標数値として計算

診療科	実行策		診療	27年度	28年度	上半期		下半期		28年度		
				実績	目標	実績	達成率	実績	達成率	実績	到達差	達成率
内科（消化器）	入院患者数（1日平均）	（人）	入院	29.7	30.0	30.1	100.3%	26.0	86.7%	28.0	△ 2.0	93.3%
	入院単価	（円）	入院	38,397	40,000	37,293	93.2%	38,475	96.2%	37,839	△ 2,161	94.6%
	外来患者数（1日平均）	（人）	外来	38.7	40.0	38.4	96.0%	37.9	94.8%	38.2	△ 1.8	95.5%
	外来単価	（円）	外来	15,364	15,500	14,555	93.9%	14,999	96.8%	14,773	△ 727	95.3%
	内視鏡検査 上部	（件）	入院・外来	3,258	3,300	1,457	88.3%	1,565	94.8%	3,022	△ 278	91.6%
	内視鏡検査 下部	（件）	入院・外来	1,304	1,400	608	86.9%	614	87.7%	1,222	△ 178	87.3%
	ERCP ^(※1) 関連	（件）	入院・外来	51	60	22	73.3%	38	126.7%	60	0	100.0%
	小腸内視鏡・カプセル内視鏡	（件）	入院・外来	24	24	7	58.3%	1	8.3%	8	△ 16	33.3%
	大腸ポリペクトミー	（件）	入院・外来	253	280	125	89.3%	121	86.4%	246	△ 34	87.9%
	胃瘻造設	（件）	入院・外来	27	30	11	73.3%	13	86.7%	24	△ 6	80.0%
	新入院	（人）	入院	891	950	430	90.5%	409	86.1%	839	△ 111	88.3%
内科（腫瘍）	入院患者数（1日平均）	（人）	入院	29.2	27.0	28.9	107.0%	23.5	87.0%	26.2	△ 0.8	97.0%
	入院単価	（円）	入院	45,479	50,000	50,490	101.0%	46,580	93.2%	48,739	△ 1,261	97.5%
	外来患者数（1日平均）	（人）	外来	27.5	30.0	27.7	92.3%	29.3	97.7%	28.5	△ 1.5	95.0%
	抗がん剤無菌調剤（月平均件数）	（件）	入院	50.0	50.0	48.0	96.0%	52.7	105.4%	50.3	0.3	100.6%
	無菌室加算	（件）	入院	234	240	495	412.5%	178	148.3%	673	433	280.4%
	パス適応率	（率）	入院	19.1%	22.5%	24.5%	108.9%	12.4%	55.1%	18.7%	△ 3.8%	83.1%
	がん患者指導管理料 1	（件）	入院	26	30	17	113.3%	12	80.0%	29	△ 1	96.7%
	新入院	（人）	入院	468	480	208	86.7%	203	84.6%	411	△ 69	85.6%
紹介件数	（件）	入院・外来	312	300	176	117.3%	161	107.3%	337	37	112.3%	
内科（糖尿病）	入院患者数（1日平均）	（人）	入院	27.4	36.5	39.9	109.3%	37.0	101.4%	38.4	1.9	105.2%
	入院単価	（円）	入院	36,881	37,000	36,575	98.9%	37,391	101.1%	36,967	△ 33	99.9%
	外来患者数（1日平均）	（人）	外来	23.4	27.5	23.7	86.2%	25.4	92.4%	24.5	△ 3.0	89.1%
	外来単価	（円）	外来	19,715	20,000	19,347	96.7%	19,157	95.8%	19,250	△ 750	96.3%

※1 ERCP …… 内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査

【市立芦屋病院中期経営計画実行策】

※上・下半期達成率については当該年度目標数値の1/2を目標数値として計算

診療科	実行策		診療	27年度	28年度	上半期		下半期		28年度		
				実績	目標	実績	達成率	実績	達成率	実績	到達差	達成率
内科（糖尿病）	エコー依頼数	(件)	外来	516	540	287	106.3%	367	135.9%	654	114	121.1%
	PWV ^(※2) ABI ^(※3)	(件)	外来	171	200	96	96.0%	122	122.0%	218	18	109.0%
	外来栄養食事指導料	(件)	外来	355	650	289	88.9%	325	100.0%	614	△ 36	94.5%
	新入院	(人)	入院	551	640	367	114.7%	406	126.9%	773	133	120.8%
	フットケア外来	(件)	外来	251	305	125	82.0%	62	40.7%	187	△ 118	61.3%
	神経伝導検査	(件)	外来	100	180	113	125.6%	48	53.3%	161	△ 19	89.4%
	治験使用成績調査等収入	(円)	入院・外来	1,738,968	600,000	-	-	1,011,190	168.5%	1,011,190	411,190	168.5%
内科（循環器）	入院患者数（1日平均）	(人)	入院	12.9	14.3	13.8	96.5%	14.5	101.4%	14.2	△ 0.1	99.3%
	入院単価	(円)	入院	37,769	40,000	38,326	95.8%	35,044	87.6%	36,646	△ 3,354	91.6%
	外来患者数（1日平均）	(人)	外来	20.5	21.0	21.3	101.4%	21.8	103.8%	21.5	0.5	102.4%
	外来単価	(円)	外来	10,443	11,000	10,317	93.8%	10,730	97.5%	10,523	△ 477	95.7%
	運動負荷心電図	(件)	入院・外来	84	110	57	103.6%	40	72.7%	97	△ 13	88.2%
	心臓超音波検査	(件)	入院・外来	991	1,100	597	108.5%	579	105.3%	1,176	76	106.9%
	冠動脈造影CT	(件)	入院・外来	29	45	20	88.9%	16	71.1%	36	△ 9	80.0%
	ABI・TBI ^(※4)	(件)	入院・外来	422	470	247	105.1%	256	108.9%	503	33	107.0%
	ホルター心電図	(件)	入院・外来	154	180	91	101.1%	96	106.7%	187	7	103.9%
	ABPM ^(※5)	(件)	入院・外来	22	30	14	93.3%	9	60.0%	23	△ 7	76.7%
	下肢静脈エコー	(件)	入院・外来	24	130	100	153.8%	124	190.8%	224	94	172.3%
	簡易PSG ^(※6)	(件)	入院・外来	33	40	14	70.0%	22	110.0%	36	△ 4	90.0%
	一泊PSG	(件)	入院	12	18	8	88.9%	3	33.3%	11	△ 7	61.1%
緩和ケア内科	入院患者数（1日平均）	(人)	入院	14.1	16.0	15.4	96.3%	17.5	109.4%	16.5	0.5	103.1%
	外来患者数（1日平均）	(人)	外来	2.1	2.0	1.8	90.0%	2.2	110.0%	2.0	0.0	100.0%

- ※2 PWV …… 脈波伝搬速度検査
- ※3 ABI …… 足関節上腕血圧比測定検査
- ※4 TBI …… 足趾上腕血圧比測定検査
- ※5 ABPM …… 24時間自由行動下血圧測定検査
- ※6 PSG …… 終夜ポリグラフ検査

【市立芦屋病院中期経営計画実行策】

※上・下半期達成率については当該年度目標数値の1/2を目標数値として計算

診療科	実行策		診療	27年度	28年度	上半期		下半期		28年度		
				実績	目標	実績	達成率	実績	達成率	実績	到達差	達成率
小児科	入院患者数（1日平均）	（人）	入院	5.2	6.0	4.6	76.7%	4.0	66.7%	4.3	△ 1.7	71.7%
	入院単価	（円）	入院	37,480	40,150	37,948	94.5%	38,370	95.6%	38,143	△ 2,007	95.0%
	外来患者数（1日平均）	（人）	外来	22.9	24.0	21.4	89.2%	24.3	101.3%	22.9	△ 1.1	95.4%
	外来単価	（円）	外来	6,471	6,600	6,636	100.5%	6,324	95.8%	6,472	△ 128	98.1%
	MR I 実施件数	（件）	外来	25	30	15	100.0%	15	100.0%	30	0	100.0%
	C T 実施件数	（件）	外来	57	60	20	66.7%	38	126.7%	58	△ 2	96.7%
	超音波検査	（件）	外来	131	150	85	113.3%	68	90.7%	153	3	102.0%
	予防接種	（件）	外来	430	480	159	66.3%	228	95.0%	387	△ 93	80.6%
	健康診断	（件）	外来	69	65	21	64.6%	9	27.7%	30	△ 35	46.2%
産婦人科	入院患者数（1日平均）	（人）	入院	4.7	5.0	4.5	90.0%	5.1	102.0%	4.8	△ 0.2	96.0%
	入院単価	（円）	入院	100,747	100,000	96,562	96.6%	103,653	103.7%	100,324	324	100.3%
	外来患者数（1日平均）	（人）	外来	19.2	20.0	18.6	93.0%	19.6	98.0%	19.1	△ 0.9	95.5%
	外来単価	（円）	外来	8,956	9,000	8,902	98.9%	9,288	103.2%	9,098	98	101.1%
	MR I 実施	（件）	入院	8	4	3	150.0%	2	100.0%	5	1	125.0%
	MR I 実施	（件）	外来	224	200	99	99.0%	126	126.0%	225	25	112.5%
	C T 実施	（件）	入院	8	4	3	150.0%	4	200.0%	7	3	175.0%
	C T 実施	（件）	外来	58	60	25	83.3%	30	100.0%	55	△ 5	91.7%
	超音波検査	（件）	入院	32	20	16	160.0%	15	150.0%	31	11	155.0%
	超音波検査	（件）	外来	1,430	1,400	753	107.6%	784	112.0%	1,537	137	109.8%
	手術	（件）	入院	301	240	137	114.2%	161	134.2%	298	58	124.2%
	手術	（件）	外来	14	20	14	140.0%	9	90.0%	23	3	115.0%
外科	入院患者数（1日平均）	（人）	入院	23.4	25.0	21.6	86.4%	22.9	91.6%	22.2	△ 2.8	88.8%
	入院単価	（円）	入院	54,713	55,000	53,242	96.8%	58,528	106.4%	55,954	954	101.7%
	外来患者数（1日平均）	（人）	外来	31.0	32.5	28.6	88.0%	32.2	99.1%	30.4	△ 2.1	93.5%
	外来単価	（円）	外来	13,878	14,000	13,032	93.1%	12,772	91.2%	12,896	△ 1,104	92.1%

【市立芦屋病院中期経営計画実行策】

※上・下半期達成率については当該年度目標数値の1/2を目標数値として計算

診療科	実行策		診療	27年度	28年度	上半期		下半期		28年度		
				実績	目標	実績	達成率	実績	達成率	実績	到達差	達成率
外科	MR I 実施	(件)	入院	23	18	12	133.3%	11	122.2%	23	5	127.8%
	MR I 実施	(件)	外来	252	270	134	99.3%	174	128.9%	308	38	114.1%
	C T 実施	(件)	入院	189	180	97	107.8%	84	93.3%	181	1	100.6%
	C T 実施	(件)	外来	900	905	434	95.9%	476	105.2%	910	5	100.6%
	超音波検査	(件)	入院	141	145	71	97.9%	56	77.2%	127	△ 18	87.6%
	超音波検査	(件)	外来	843	925	473	102.3%	521	112.6%	994	69	107.5%
	8,000点以上の手術件数	(件)	入院	400	405	162	80.0%	168	83.0%	330	△ 75	81.5%
	手術(全身麻酔)	(件)	入院	266	270	125	92.6%	145	107.4%	270	0	100.0%
	手術(腹腔鏡)	(件)	入院	166	170	88	103.5%	75	88.2%	163	△ 7	95.9%
	夜間外科系救急	(件)	外来	20	24	6	50.0%	0	0.0%	6	△ 18	25.0%
	緊急手術総数	(件)	入院	137	140	59	84.3%	108	154.3%	167	27	119.3%
	緊急手術(全身麻酔)	(件)	入院	61	68	38	111.8%	72	211.8%	110	42	161.8%
	新入院	(人)	入院	515	520	262	100.8%	308	118.5%	570	50	109.6%
	がん患者指導管理料 1	(件)	入院	67	65	19	58.5%	30	92.3%	49	△ 16	75.4%
紹介患者数	(件)	入院・外来	278	280	154	110.0%	180	128.6%	334	54	119.3%	
整形外科	入院患者数(1日平均)	(人)	入院	18.6	20.0	15.5	77.5%	18.1	90.5%	16.8	△ 3.2	84.0%
	入院単価	(円)	入院	42,626	44,000	46,550	105.8%	47,100	107.0%	46,845	2,845	106.5%
	外来患者数(1日平均)	(人)	外来	65.2	66.5	64.5	97.0%	61.5	92.5%	63.0	△ 3.5	94.7%
	外来単価	(円)	外来	8,582	8,700	8,754	100.6%	8,988	103.3%	8,867	167	101.9%
	MR I 実施	(件)	外来	832	1,335	388	58.1%	330	49.4%	718	△ 617	53.8%
	C T 実施	(件)	外来	134	270	80	59.3%	61	45.2%	141	△ 129	52.2%
	超音波検査	(件)	外来	44	100	50	100.0%	57	114.0%	107	7	107.0%
	手術(3,000点未満)	(件)	入院・外来	55	82	34	82.9%	22	53.7%	56	△ 26	68.3%
	手術(3,000点～7,999点)	(件)	入院・外来	65	110	22	40.0%	28	50.9%	50	△ 60	45.5%
	手術(8,000点以上)	(件)	入院・外来	138	241	81	67.2%	82	68.0%	163	△ 78	67.6%
新入院	(人)	入院	322	514	135	52.5%	149	58.0%	284	△ 230	55.3%	

【市立芦屋病院中期経営計画実行策】

※上・下半期達成率については当該年度目標数値の1/2を目標数値として計算

診療科	実行策		診療	27年度	28年度	上半期		下半期		28年度		
				実績	目標	実績	達成率	実績	達成率	実績	到達差	達成率
眼科	入院患者数（1日平均）	（人）	入院	1.3	1.3	1.3	100.0%	1.3	100.0%	1.3	0.0	100.0%
	入院単価	（円）	入院	123,559	110,000	99,106	90.1%	101,352	92.1%	100,217	△ 9,783	91.1%
	外来患者数（1日平均）	（人）	外来	23.6	24.0	23.1	96.3%	22.9	95.4%	23.0	△ 1.0	95.8%
	外来単価	（円）	外来	5,040	5,025	4,859	96.7%	5,270	104.9%	5,061	36	100.7%
	静的視野検査	（件）	外来	779	800	372	93.0%	445	111.3%	817	17	102.1%
	動的視野検査	（件）	外来	136	160	77	96.3%	52	65.0%	129	△ 31	80.6%
	手術	（件）	入院	224	225	109	96.9%	113	100.4%	222	△ 3	98.7%
	手術	（件）	外来	66	54	22	81.5%	30	111.1%	52	△ 2	96.3%
	新入院	（人）	入院	221	225	109	96.9%	113	100.4%	222	△ 3	98.7%
麻酔科	全麻手術件数	（件）	入院	582	550	260	94.5%	290	105.5%	550	0	100.0%
2階病棟	入院患者数（1日平均）	（人）	入院	45.8	46.8	46.5	99.4%	45.5	97.2%	46.0	△ 0.8	98.3%
	病床稼働率	（%）	入院	88.1	90.0	89.5	99.4%	87.6	97.3%	88.5	△ 1.5	98.3%
	在院日数	（日）	入院	16.4	16.0	15.3	104.4%	14.2	111.3%	14.7	△ 1.3	108.1%
3階東病棟	入院患者数（1日平均）	（人）	入院	27.5	28.0	29.1	103.9%	27.5	98.2%	28.3	0.3	101.1%
	病床稼働率	（%）	入院	88.6	90.0	94.0	104.4%	88.8	98.7%	91.4	1.4	101.6%
	在院日数	（日）	入院	9.3	12.0	10.1	115.8%	9.1	124.2%	9.6	△ 2.4	120.0%
3階西病棟	入院患者数（1日平均）	（人）	入院	38.6	41.2	43.0	104.4%	40.1	97.3%	41.5	0.3	100.7%
	病床稼働率	（%）	入院	84.0	90.0	93.4	103.8%	87.1	96.8%	90.3	0.3	100.3%
	在院日数	（日）	入院	10.7	10.0	12.0	80.0%	11.8	82.0%	11.9	1.9	81.0%
4階東病棟	入院患者数（1日平均）	（人）	入院	14.1	15.8	15.4	97.5%	17.5	110.8%	16.4	0.6	103.8%
	病床稼働率	（%）	入院	58.8	66.0	64.1	97.1%	72.9	110.5%	68.5	2.5	103.8%
4階西病棟	入院患者数（1日平均）	（人）	入院	40.8	42.0	41.8	99.5%	39.6	94.3%	40.7	△ 1.3	96.9%
	病床稼働率	（%）	入院	88.7	92.0	90.9	98.8%	86.0	93.5%	88.5	△ 3.5	96.2%
	在院日数	（日）	入院	19.5	17.0	19.3	86.5%	16.9	100.6%	18.1	1.1	93.5%
外来	外来患者数（1日平均）	（人）	外来	340.8	350.0	331.9	94.8%	346.0	98.9%	338.9	△ 11.1	96.8%
	救急患者数（救急車）	（件）	入院・外来	1,227	1,300	675	103.8%	710	109.2%	1,385	85	106.5%

【市立芦屋病院中期経営計画実行策】

※上・下半期達成率については当該年度目標数値の1/2を目標数値として計算

診療科	実行策		診療	27年度	28年度	上半期		下半期		28年度		
				実績	目標	実績	達成率	実績	達成率	実績	到達差	達成率
外来	フットケア外来	(件)	外来	251	280	125	89.3%	62	44.3%	187	△ 93	66.8%
	DPN ^(※7)	(件)	外来	100	270	112	83.0%	17	12.6%	129	△ 141	47.8%
	小児LD(学習障害)外来	(件)	外来	412	240	214	178.3%	234	195.0%	448	208	186.7%
薬剤科	服薬指導	(件)	入院	5,372	5,200	2,985	114.8%	2,456	94.5%	5,441	241	104.6%
臨床検査科	検体検査実施件数	(件)	入院・外来	719,855	720,000	357,779	99.4%	364,875	101.4%	722,654	2,654	100.4%
	病理検査実施件数	(件)	入院・外来	1,997	2,000	861	86.1%	955	95.5%	1,816	△ 184	90.8%
	生理検査実施件数	(件)	入院・外来	12,729	13,000	6,969	107.2%	7,139	109.8%	14,108	1,108	108.5%
	(うち、超音波検査件数)	(件)	入院・外来	3,404	4,000	1,919	96.0%	1,955	97.8%	3,874	△ 126	96.9%
	(うち、人間ドック件数)	(件)	入院・外来	1,104	1,200	588	98.0%	587	97.8%	1,175	△ 25	97.9%
	検体検査管理加算Ⅰ	(件)	外来	21,140	22,000	10,559	96.0%	10,910	99.2%	21,469	△ 531	97.6%
	外来迅速検体検査加算	(件)	外来	88,573	90,000	42,909	95.4%	42,990	95.5%	85,899	△ 4,101	95.4%
	検体検査管理加算Ⅱ	(件)	入院	3,822	3,900	2,043	104.8%	1,996	102.4%	4,039	139	103.6%
尿沈渣目視法	(件)	入院・外来	3,583	2,500	2,039	163.1%	1,771	141.7%	3,810	1,310	152.4%	
放射線科	MRⅠ実施(紹介)	(件)	外来	1,031	1,134	451	79.5%	483	85.2%	934	△ 200	82.4%
	CT実施(紹介)	(件)	外来	564	620	269	86.8%	283	91.3%	552	△ 68	89.0%
	DXA件数(紹介)	(件)	外来	115	128	67	104.7%	69	107.8%	136	8	106.3%
	血管造影実施件数	(件)	外来	19	30	23	153.3%	15	100.0%	38	8	126.7%
	マンモグラフィー	(件)	外来	1,218	1,340	570	85.1%	611	91.2%	1,181	△ 159	88.1%
リハビリテーション科	リハビリ患者数(1日平均)	(人)	入院・外来	83.1	76.5	83.8	109.5%	77.0	100.7%	80.4	3.9	105.1%
	リハビリテーション実施単位数	(単位)	入院・外来	28,444	23,362	12,499	107.0%	11,955	102.3%	24,454	1,092	104.7%
	リハビリテーション実施点数	(点)	入院・外来	6,412,051	5,318,115	2,854,727	107.4%	2,154,776	81.0%	5,009,503	△ 308,612	94.2%
	運動器件数	(件)	入院・外来	14,122	11,024	5,398	97.9%	5,586	101.3%	10,984	△ 40	99.6%
	運動器点数	(点)	入院・外来	2,588,660	2,288,794	996,326	87.1%	1,032,390	90.2%	2,028,716	△ 260,078	88.6%
	呼吸器件数	(件)	入院・外来	899	617	349	113.1%	730	236.6%	1,079	462	175.0%
	呼吸器点数	(点)	入院・外来	157,325	122,812	61,075	99.5%	127,750	208.0%	188,825	66,013	153.8%

※7 DPN …… 神経伝導検査

【市立芦屋病院中期経営計画実行策】

※上・下半期達成率については当該年度目標数値の1/2を目標数値として計算

診療科	実行策		診療	27年度	28年度	上半期		下半期		28年度		
				実績	目標	実績	達成率	実績	達成率	実績	到達差	達成率
リハビリテーション科	脳血管件数	(件)	入院・外来	11,856	7,524	5,455	145.0%	4,545	120.8%	10,000	2,476	132.9%
	脳血管点数	(点)	入院・外来	1,987,153	1,937,804	952,966	98.4%	770,366	79.5%	1,723,332	△ 214,472	88.9%
	がんリハビリ件数	(件)	入院・外来	1,567	1,777	1,297	146.0%	1,094	123.1%	2,391	614	134.6%
	がんリハビリ点数	(点)	入院・外来	321,235	429,177	265,885	123.9%	224,270	104.5%	490,155	60,978	114.2%
栄養管理室	患者提供食数	(食)	入院	134,618	139,612	70,796	101.4%	69,251	99.2%	140,047	435	100.3%
	(うち特別食加算)	(%)	入院	30.4	35.0	29.1	83.1%	22.0	62.9%	25.6	△ 9.4	73.1%
	入院栄養指導	(件)	入院	561	700	434	124.0%	403	115.1%	837	137	119.6%
	集団栄養指導	(件)	入院	13	35	12	68.6%	30	171.4%	42	7	120.0%
	外来栄養食事指導	(件)	外来	570	750	392	104.5%	493	131.5%	885	135	118.0%
	栄養サポートチーム加算	(件)	入院	464	500	235	94.0%	213	85.2%	448	△ 52	89.6%
	栄養サポート(歯科連携加算)	(件)	入院	-	50	51	204.0%	68	272.0%	119	69	238.0%
特別メニュー	(件)	入院	896	960	535	111.5%	490	102.1%	1,025	65	106.8%	
地域連携室	紹介患者数(月平均)	(人)	入院・外来	478	500	489	97.8%	511	102.2%	500	0	100.0%
人間ドックセンター	受診者数	(件)	外来	1,051	1,200	560	93.3%	553	92.2%	1,113	△ 87	92.8%
	稼働率	(率)	外来	72.1	82.3	75.9	92.2%	76.8	93.3%	76.3	△ 6.0	92.7%
	収益額	(千円)	外来	52,550	60,000	28,000	93.3%	27,650	92.2%	55,650	△ 4,350	92.8%
	特定健診	(件)	外来	403	470	263	111.9%	205	87.2%	468	△ 2	99.6%
総括	入院患者数(1日平均)	(人)	入院	166.8	173.8	175.9	101.2%	170.2	97.9%	173.1	△ 0.7	99.6%
	外来患者数(1日平均)	(人)	外来	340.8	350.0	331.9	94.8%	346.0	98.9%	338.9	△ 11.1	96.8%
	入院単価	(円)	入院	45,092	45,000	44,941	99.9%	45,659	101.5%	45,290	290	100.6%
	外来単価	(円)	外来	12,219	12,100	12,425	102.7%	12,435	102.8%	12,426	326	102.7%
	病床稼働率	(%)	入院	83.8	87.3	88.4	101.3%	85.5	97.9%	87.0	△ 0.3	99.7%
	在院日数	(日)	入院	13.4	(17日以内)	13.8	-	12.8	-	13.3	-	-
	紹介率	(%)	入院・外来	40.4	50.0	41.6	83.2%	40.3	80.6%	41.0	△ 9.0	82.0%
	逆紹介率	(%)	入院・外来	63.9	70.0	55.4	79.1%	54.8	78.3%	55.1	△ 14.9	78.7%

※紹介率、逆紹介率についてはH26年度より地域医療支援病院用計算式の変更及び承認要件の見直しがあった為、新基準による計算式で数値を算出しています。

資料 2

収支状況

(単位：千円)

項 目		27年度	28 年 度		
		決 算	予 算	決算見込	執行率
収	医 業 収 益	4,386,914	4,524,845	4,511,809	99.7
	入院収益	2,753,517	2,855,116	2,860,903	100.2
	外来収益	1,011,825	1,020,595	1,023,199	100.3
	室料差額収益	221,655	237,308	221,358	93.3
	一般会計負担金	251,485	258,167	258,167	100.0
	その他医業収益	148,432	153,659	148,182	96.4
益	医 業 外 収 益	347,728	394,034	394,361	100.1
	一般会計負担金補助金	244,845	311,247	311,247	100.0
	その他医業外収益	102,883	82,787	83,114	100.4
	特別利益	353	1,000	967	96.7
	収 益 合 計	4,734,995	4,919,879	4,907,137	99.7
費	医 業 費 用	4,860,649	5,193,731	4,964,626	95.6
	給与費	2,750,042	2,913,336	2,844,142	97.6
	材料費	772,370	878,830	815,160	92.8
	委託料	461,872	511,573	472,506	92.4
	減価償却費等	617,530	616,681	619,343	100.4
	その他医業費用	258,835	273,311	213,475	78.1
	医 業 外 費 用	229,282	161,050	224,026	139.1
	支払利息	112,445	110,054	108,361	98.5
	その他医業外費用	116,837	50,996	115,665	226.8
	特別損失	18,645	30,000	10,544	35.1
	予備費	0	30,000	0	0.0
	費 用 合 計	5,108,576	5,414,781	5,199,196	96.0
	純 損 益	△ 373,581	△ 494,902	△ 292,059	

診療科		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
内科	収入額（円）	150,566,810	177,042,180	161,327,560	177,189,350	167,988,080	140,766,040	139,079,230
	患者数（人）	3,689	4,038	3,737	4,273	3,988	3,765	3,512
	単価（円）	40,815	43,844	43,170	41,467	42,123	37,388	39,601
小児科	収入額（円）	5,553,750	4,248,070	5,071,110	5,305,510	5,597,580	5,194,910	7,140,610
	患者数（人）	145	118	134	148	149	155	210
	単価（円）	38,302	36,001	37,844	35,848	37,568	33,516	34,003
外科	収入額（円）	36,670,840	35,066,690	34,262,180	35,615,360	34,752,720	31,452,290	49,297,670
	患者数（人）	725	652	651	666	620	635	830
	単価（円）	50,580	53,783	52,630	53,477	56,053	49,531	59,395
産婦人科	収入額（円）	12,574,600	7,215,000	14,155,250	15,439,980	15,300,700	13,181,920	13,242,390
	患者数（人）	143	79	147	157	163	128	137
	単価（円）	87,934	91,329	96,294	98,344	93,869	102,984	96,660
眼科	収入額（円）	3,885,720	3,248,500	5,656,800	3,878,950	4,156,740	2,644,470	3,862,180
	患者数（人）	41	31	55	39	38	34	43
	単価（円）	94,774	104,790	102,851	99,460	109,388	77,779	89,818
耳鼻科	収入額（円）							
	患者数（人）							
	単価（円）							
整形外科	収入額（円）	25,528,324	19,720,143	23,684,672	23,178,194	18,680,069	20,564,886	18,098,718
	患者数（人）	601	407	464	521	422	426	449
	単価（円）	42,476	48,452	51,045	44,488	44,266	48,274	40,309
合計	収入額（円）	234,780,044	246,540,583	244,157,572	260,607,344	246,475,889	213,804,516	230,720,798
	患者数（人）	5,344	5,325	5,188	5,804	5,380	5,143	5,181
	単価（円）	43,933	46,299	47,062	44,901	45,813	41,572	44,532

1 1月	1 2月	1月	2月	3月	2 8年度	2 7年度	前年度比較
148,868,480	142,033,790	157,954,800	142,330,480	146,684,680	1,851,831,480	1,708,180,020	143,651,460
3,627	3,602	3,974	3,341	3,587	45,133	41,588	3,545
41,045	39,432	39,747	42,601	40,893	41,031	41,074	△ 43
4,248,040	4,528,380	2,020,470	3,185,310	5,525,610	57,619,350	69,009,870	△ 11,390,520
109	115	55	89	154	1,581	1,918	△ 337
38,973	39,377	36,736	35,790	35,881	36,445	35,980	465
43,691,380	33,210,200	37,363,090	39,682,500	36,616,070	447,680,990	463,073,600	△ 15,392,610
778	666	617	638	634	8,112	8,576	△ 464
56,159	49,865	60,556	62,198	57,754	55,187	53,996	1,191
15,582,100	16,126,190	14,512,270	17,461,090	17,555,100	172,346,590	169,891,840	2,454,750
150	173	149	161	153	1,740	1,713	27
103,881	93,215	97,398	108,454	114,739	99,050	99,178	△ 128
3,749,400	1,794,320	3,748,520	4,439,340	5,912,460	46,977,400	57,400,960	△ 10,423,560
29	29	36	40	56	471	469	2
129,290	61,873	104,126	110,984	105,580	99,740	122,390	△ 22,650
28,154,191	31,796,636	23,987,472	30,322,291	20,732,054	284,447,650	285,960,865	△ 1,513,215
543	718	546	563	471	6,131	6,800	△ 669
51,849	44,285	43,933	53,858	44,017	46,395	42,053	4,342
244,293,591	229,489,516	239,586,622	237,421,011	233,025,974	2,860,903,460	2,753,517,155	107,386,305
5,236	5,303	5,377	4,832	5,055	63,168	61,064	2,104
46,657	43,275	44,558	49,135	46,098	45,290	45,092	198

平成28年度 診療科別収入（外来）

診療科		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
内科	収入額（円）	52,657,350	47,944,260	50,071,250	49,960,020	54,085,680	54,097,840	50,581,260
	患者数（人）	2,900	2,761	3,006	2,915	3,016	2,950	3,034
	単価（円）	18,158	17,365	16,657	17,139	17,933	18,338	16,671
小児科	収入額（円）	3,034,360	2,668,400	2,751,610	3,098,660	3,281,490	2,385,420	2,731,920
	患者数（人）	460	411	421	472	490	380	442
	単価（円）	6,596	6,492	6,536	6,565	6,697	6,277	6,181
外科	収入額（円）	8,317,270	7,164,110	7,698,780	7,066,120	6,567,110	8,469,880	8,727,570
	患者数（人）	581	555	619	612	522	630	677
	単価（円）	14,315	12,908	12,437	11,546	12,581	13,444	12,892
形成外科	収入額（円）	199,430	266,630	442,950	181,630	356,790	258,530	276,490
	患者数（人）	13	24	26	25	27	20	27
	単価（円）	15,341	11,110	17,037	7,265	13,214	12,927	10,240
産婦人科	収入額（円）	2,781,050	3,160,620	3,535,190	3,287,410	3,636,470	3,360,860	3,552,050
	患者数（人）	344	339	431	371	387	410	399
	単価（円）	8,084	9,323	8,202	8,861	9,397	8,197	8,902
眼科	収入額（円）	2,527,680	2,327,160	2,271,260	2,617,560	2,145,540	1,860,320	2,576,320
	患者数（人）	509	453	490	459	486	444	469
	単価（円）	4,966	5,137	4,635	5,703	4,415	4,190	5,493
耳鼻科	収入額（円）	1,506,820	1,257,180	1,802,520	1,379,250	1,793,350	1,785,830	1,320,080
	患者数（人）	279	276	285	267	294	289	273
	単価（円）	5,401	4,555	6,325	5,166	6,100	6,179	4,835
整形外科	収入額（円）	11,232,049	11,230,320	11,618,985	10,947,767	12,354,317	11,262,250	10,234,724
	患者数（人）	1,313	1,321	1,367	1,244	1,430	1,257	1,213
	単価（円）	8,554	8,501	8,500	8,800	8,639	8,960	8,438
皮膚専門	収入額（円）	443,270	671,830	506,510	515,680	579,840	569,910	464,630
	患者数（人）	194	212	221	219	213	210	208
	単価（円）	2,285	3,169	2,292	2,355	2,722	2,714	2,234
麻酔科	収入額（円）	51,900	57,920	56,250	71,550	85,060	139,410	157,400
	患者数（人）	40	31	39	33	42	44	54
	単価（円）	1,298	1,868	1,442	2,168	2,025	3,168	2,915
放射線科	収入額（円）	2,866,890	3,295,210	3,337,160	2,860,970	3,293,510	3,096,480	2,859,360
	患者数（人）	115	126	134	118	128	123	119
	単価（円）	24,929	26,152	24,904	24,246	25,731	25,175	24,028
合計	収入額（円）	85,618,069	80,043,640	84,092,465	81,986,617	88,179,157	87,286,730	83,481,804
	患者数（人）	6,748	6,509	7,039	6,735	7,035	6,757	6,915
	単価（円）	12,688	12,297	11,947	12,173	12,534	12,918	12,073

1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	2 8 年度	2 7 年度	前年度比較
51,925,890	52,887,200	54,324,620	49,453,270	55,430,800	623,419,440	600,574,920	22,844,520
3,132	3,160	2,953	2,885	3,012	35,724	35,133	591
16,579	16,736	18,396	17,142	18,403	17,451	17,094	357
2,785,040	3,215,580	2,854,400	2,811,640	3,362,830	34,981,350	34,688,220	293,130
507	543	407	446	576	5,555	5,571	△ 16
5,493	5,922	7,013	6,304	5,838	6,297	6,227	70
7,190,110	7,963,080	7,924,090	7,169,640	9,446,520	93,704,280	102,674,710	△ 8,970,430
597	644	594	611	746	7,388	7,538	△ 150
12,044	12,365	13,340	11,734	12,663	12,683	13,621	△ 938
385,710	286,870	269,890	347,080	236,750	3,508,750	3,278,330	230,420
25	26	26	23	24	286	261	25
15,428	11,033	10,380	15,090	9,865	12,268	12,561	△ 293
3,470,230	3,640,590	3,293,740	3,662,600	3,706,460	41,087,270	40,412,800	674,470
396	399	360	368	429	4,633	4,657	△ 24
8,763	9,124	9,149	9,953	8,640	8,868	8,678	190
2,302,560	2,441,020	1,986,510	2,362,690	2,601,920	28,020,540	28,752,800	△ 732,260
458	491	422	432	477	5,590	5,734	△ 144
5,027	4,972	4,707	5,469	5,455	5,013	5,014	△ 1
1,347,860	1,378,840	1,804,820	1,373,520	1,803,900	18,553,970	17,948,880	605,090
278	266	284	252	331	3,374	3,385	△ 11
4,848	5,184	6,355	5,450	5,450	5,499	5,302	197
12,098,029	10,764,614	11,341,752	10,167,436	10,776,724	134,028,967	134,520,242	△ 491,275
1,319	1,190	1,201	1,167	1,293	15,315	15,849	△ 534
9,172	9,046	9,444	8,712	8,335	8,751	8,488	263
581,780	454,080	403,520	399,470	457,290	6,047,810	5,971,580	76,230
210	217	185	174	201	2,464	2,470	△ 6
2,770	2,093	2,181	2,296	2,275	2,454	2,418	36
63,860	63,720	71,890	63,290	63,170	945,420	1,399,260	△ 453,840
52	33	31	32	40	471	552	△ 81
1,228	1,931	2,319	1,978	1,579	2,007	2,535	△ 528
3,588,420	3,310,440	3,553,640	3,458,390	3,380,220	38,900,690	41,603,850	△ 2,703,160
143	130	135	134	136	1,541	1,657	△ 116
25,094	25,465	26,323	25,809	24,855	25,244	25,108	136
85,739,489	86,406,034	87,828,872	81,269,026	91,266,584	1,023,198,487	1,011,825,592	11,372,895
7,117	7,099	6,598	6,524	7,265	82,341	82,807	△ 466
12,047	12,172	13,311	12,457	12,563	12,426	12,219	207

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
基本料	収入額(円)	4,346,290	4,545,720	4,973,300	4,578,620	4,293,420	3,728,310	3,991,440
	患者数(人)	5,344	5,325	5,188	5,804	5,380	5,143	5,181
	単価(円)	813	854	959	789	798	725	771
投薬料	収入額(円)	2,545,220	2,779,640	1,939,930	2,443,340	2,717,290	1,277,950	2,019,840
	患者数(人)	5,344	5,325	5,188	5,804	5,380	5,143	5,181
	単価(円)	476	522	374	421	505	248	390
注射料	収入額(円)	1,639,130	2,618,030	2,994,180	2,186,640	1,315,870	508,050	499,020
	患者数(人)	5,344	5,325	5,188	5,804	5,380	5,143	5,181
	単価(円)	307	492	577	377	245	99	96
処置料	収入額(円)	303,020	263,800	396,260	197,800	346,250	166,190	170,600
	患者数(人)	5,344	5,325	5,188	5,804	5,380	5,143	5,181
	単価(円)	57	50	76	34	64	32	33
手術料	収入額(円)	31,368,154	30,307,903	35,997,662	36,876,054	34,076,639	28,704,016	38,547,268
	患者数(人)	5,344	5,325	5,188	5,804	5,380	5,143	5,181
	単価(円)	5,870	5,692	6,939	6,354	6,334	5,581	7,440
検査料	収入額(円)	2,299,030	2,709,030	2,528,540	2,485,640	1,786,630	1,815,040	1,597,810
	患者数(人)	5,344	5,325	5,188	5,804	5,380	5,143	5,181
	単価(円)	430	509	487	428	332	353	308
X線料	収入額(円)	787,630	932,910	781,370	943,250	786,010	655,640	636,210
	患者数(人)	5,344	5,325	5,188	5,804	5,380	5,143	5,181
	単価(円)	147	175	151	163	146	127	123
リハビリ	収入額(円)	4,202,230	4,661,360	5,250,150	4,368,200	4,688,150	4,178,780	4,059,220
	患者数(人)	5,344	5,325	5,188	5,804	5,380	5,143	5,181
	単価(円)	786	875	1,012	753	871	813	784
入院料	収入額(円)	178,336,610	188,675,200	180,823,680	197,400,480	187,118,680	164,898,600	170,834,010
	患者数(人)	5,344	5,325	5,188	5,804	5,380	5,143	5,181
	単価(円)	33,371	35,432	34,854	34,011	34,781	32,063	32,973
食事料	収入額(円)	8,155,800	8,337,220	7,821,530	8,581,970	7,984,100	7,274,170	7,488,090
	患者数(人)	5,344	5,325	5,188	5,804	5,380	5,143	5,181
	単価(円)	1,526	1,566	1,508	1,479	1,484	1,414	1,445
その他	収入額(円)	796,930	709,770	650,970	545,350	1,362,850	597,770	877,290
	患者数(人)	5,344	5,325	5,188	5,804	5,380	5,143	5,181
	単価(円)	149	133	125	94	253	116	169
合計	収入額(円)	234,780,044	246,540,583	244,157,572	260,607,344	246,475,889	213,804,516	230,720,798
	患者数(人)	5,344	5,325	5,188	5,804	5,380	5,143	5,181
	単価(円)	43,933	46,299	47,062	44,901	45,813	41,572	44,532

1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	2 8 年度	2 7 年度	前年度比較
4,071,620	4,048,940	4,012,600	5,258,750	3,969,340	51,818,350	48,214,580	3,603,770
5,236	5,303	5,377	4,832	5,055	63,168	61,064	2,104
778	763	746	1,088	785	820	790	30
1,914,300	3,080,020	1,535,570	1,849,130	2,943,930	27,046,160	28,102,890	△ 1,056,730
5,236	5,303	5,377	4,832	5,055	63,168	61,064	2,104
366	581	286	383	583	428	460	△ 32
2,142,130	1,308,630	2,394,230	1,208,070	569,830	19,383,810	37,539,760	△ 18,155,950
5,236	5,303	5,377	4,832	5,055	63,168	61,064	2,104
409	247	445	250	113	307	615	△ 308
216,150	277,600	126,590	68,870	176,590	2,709,720	7,029,870	△ 4,320,150
5,236	5,303	5,377	4,832	5,055	63,168	61,064	2,104
41	52	24	14	35	43	115	△ 72
39,368,731	36,756,276	32,649,182	40,513,471	35,248,194	420,413,550	400,026,905	20,386,645
5,236	5,303	5,377	4,832	5,055	63,168	61,064	2,104
7,519	6,931	6,072	8,384	6,973	6,655	6,551	104
2,125,510	1,509,630	1,981,450	1,410,510	1,572,310	23,821,130	28,564,770	△ 4,743,640
5,236	5,303	5,377	4,832	5,055	63,168	61,064	2,104
406	285	369	292	311	377	468	△ 91
733,360	620,030	794,580	604,610	516,900	8,792,500	10,456,310	△ 1,663,810
5,236	5,303	5,377	4,832	5,055	63,168	61,064	2,104
140	117	148	125	102	139	171	△ 32
4,679,450	4,358,610	4,335,290	4,471,520	5,156,900	54,409,860	59,791,110	△ 5,381,250
5,236	5,303	5,377	4,832	5,055	63,168	61,064	2,104
894	822	806	925	1,020	861	979	△ 118
180,356,610	169,101,170	182,932,660	173,618,450	174,783,580	2,148,879,730	2,029,816,090	119,063,640
5,236	5,303	5,377	4,832	5,055	63,168	61,064	2,104
34,445	31,888	34,021	35,931	34,576	34,019	33,241	778
7,775,260	7,794,560	8,056,490	7,622,290	7,527,980	94,419,460	90,983,760	3,435,700
5,236	5,303	5,377	4,832	5,055	63,168	61,064	2,104
1,485	1,470	1,498	1,578	1,489	1,495	1,490	5
910,470	634,050	767,980	795,340	560,420	9,209,190	12,991,110	△ 3,781,920
5,236	5,303	5,377	4,832	5,055	63,168	61,064	2,104
174	119	143	165	111	146	213	△ 67
244,293,591	229,489,516	239,586,622	237,421,011	233,025,974	2,860,903,460	2,753,517,155	107,386,305
5,236	5,303	5,377	4,832	5,055	63,168	61,064	2,104
46,657	43,275	44,558	49,135	46,098	45,290	45,092	198

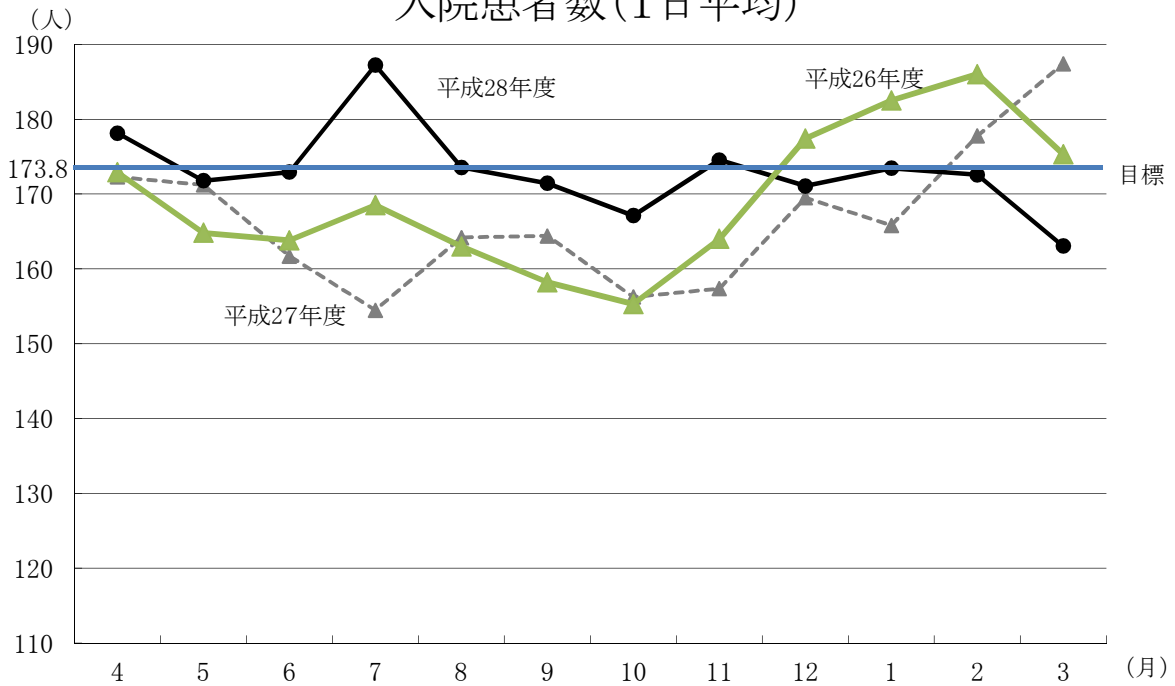
平成28年度 診療行為別収入（外来）

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
基本料	収入額（円）	17,031,690	15,935,020	16,699,480	16,193,210	17,002,400	16,505,370	16,799,070
	患者数（人）	6,748	6,509	7,039	6,735	7,035	6,757	6,915
	単価（円）	2,524	2,448	2,372	2,404	2,417	2,443	2,429
投薬料	収入額（円）	2,245,080	2,397,420	2,563,080	2,102,480	2,514,470	2,894,210	2,500,510
	患者数（人）	6,748	6,509	7,039	6,735	7,035	6,757	6,915
	単価（円）	333	368	364	312	357	428	362
注射料	収入額（円）	17,275,960	14,632,300	13,135,700	15,524,060	19,363,480	18,154,260	13,590,500
	患者数（人）	6,748	6,509	7,039	6,735	7,035	6,757	6,915
	単価（円）	2,560	2,248	1,866	2,305	2,752	2,687	1,965
処置料	収入額（円）	621,980	546,520	495,000	446,910	522,590	565,840	565,160
	患者数（人）	6,748	6,509	7,039	6,735	7,035	6,757	6,915
	単価（円）	92	84	70	66	74	84	82
手術料	収入額（円）	2,133,870	2,755,350	3,445,660	3,222,230	2,231,640	3,407,020	3,479,640
	患者数（人）	6,748	6,509	7,039	6,735	7,035	6,757	6,915
	単価（円）	316	423	490	478	317	504	503
検査料	収入額（円）	28,431,990	26,643,930	28,070,460	27,086,240	27,581,610	28,061,250	28,240,190
	患者数（人）	6,748	6,509	7,039	6,735	7,035	6,757	6,915
	単価（円）	4,213	4,093	3,988	4,022	3,921	4,153	4,084
X線料	収入額（円）	13,868,170	13,469,140	15,682,340	13,615,100	14,920,690	13,877,180	14,669,630
	患者数（人）	6,748	6,509	7,039	6,735	7,035	6,757	6,915
	単価（円）	2,055	2,069	2,228	2,022	2,121	2,054	2,122
リハビリ	収入額（円）	717,550	618,970	742,840	689,940	763,670	627,750	532,280
	患者数（人）	6,748	6,509	7,039	6,735	7,035	6,757	6,915
	単価（円）	106	95	106	103	109	93	77
その他	収入額（円）	3,291,779	3,044,990	3,257,905	3,106,447	3,278,607	3,193,850	3,104,824
	患者数（人）	6,748	6,509	7,039	6,735	7,035	6,757	6,915
	単価（円）	488	468	463	461	466	473	449
合計	収入額（円）	85,618,069	80,043,640	84,092,465	81,986,617	88,179,157	87,286,730	83,481,804
	患者数（人）	6,748	6,509	7,039	6,735	7,035	6,757	6,915
	単価（円）	12,688	12,297	11,947	12,173	12,534	12,918	12,073

1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	2 8 年度	2 7 年度	前年度比較
16,696,870	17,139,060	16,884,360	15,792,240	17,187,050	199,865,820	202,140,170	△ 2,274,350
7,117	7,099	6,598	6,524	7,265	82,341	82,807	△ 466
2,346	2,414	2,559	2,421	2,366	2,427	2,441	△ 14
2,713,130	3,351,970	4,070,940	2,823,360	3,777,860	33,954,510	31,741,680	2,212,830
7,117	7,099	6,598	6,524	7,265	82,341	82,807	△ 466
381	472	617	433	520	412	383	29
15,823,190	16,192,430	17,160,100	13,501,100	17,262,090	191,615,170	186,361,380	5,253,790
7,117	7,099	6,598	6,524	7,265	82,341	82,807	△ 466
2,223	2,281	2,601	2,069	2,376	2,327	2,251	76
539,190	431,780	436,820	366,860	503,890	6,042,540	5,994,800	47,740
7,117	7,099	6,598	6,524	7,265	82,341	82,807	△ 466
76	61	66	56	70	73	72	1
3,627,920	2,920,980	3,253,480	2,450,380	2,774,010	35,702,180	38,245,740	△ 2,543,560
7,117	7,099	6,598	6,524	7,265	82,341	82,807	△ 466
510	412	493	376	382	434	462	△ 28
27,285,630	28,283,850	27,901,640	26,978,240	29,009,490	333,574,520	326,411,360	7,163,160
7,117	7,099	6,598	6,524	7,265	82,341	82,807	△ 466
3,834	3,984	4,229	4,135	3,993	4,051	3,942	109
15,376,620	14,337,890	14,393,280	14,620,710	15,425,350	174,256,100	173,550,990	705,110
7,117	7,099	6,598	6,524	7,265	82,341	82,807	△ 466
2,160	2,020	2,181	2,241	2,123	2,116	2,096	20
502,390	500,810	572,240	638,290	711,810	7,618,540	9,494,230	△ 1,875,690
7,117	7,099	6,598	6,524	7,265	82,341	82,807	△ 466
71	71	87	98	98	93	115	△ 22
3,174,549	3,247,264	3,156,012	4,097,846	4,615,034	40,569,107	37,885,242	2,683,865
7,117	7,099	6,598	6,524	7,265	82,341	82,807	△ 466
446	457	478	628	635	493	458	35
85,739,489	86,406,034	87,828,872	81,269,026	91,266,584	1,023,198,487	1,011,825,592	11,372,895
7,117	7,099	6,598	6,524	7,265	82,341	82,807	△ 466
12,047	12,172	13,311	12,457	12,563	12,426	12,219	207

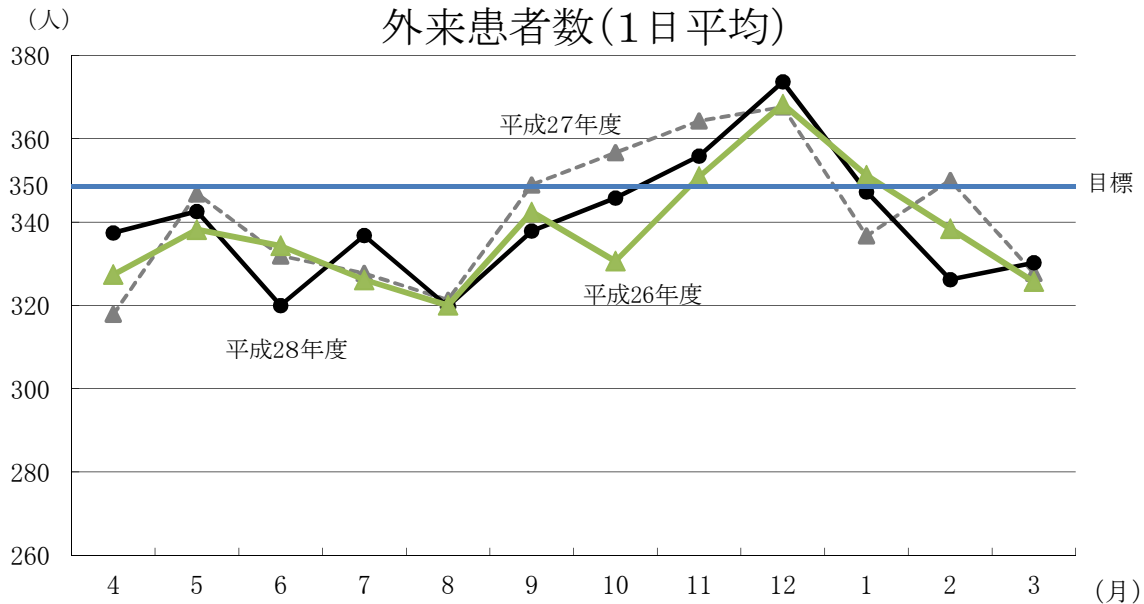
病院管理指標

入院患者数(1日平均)

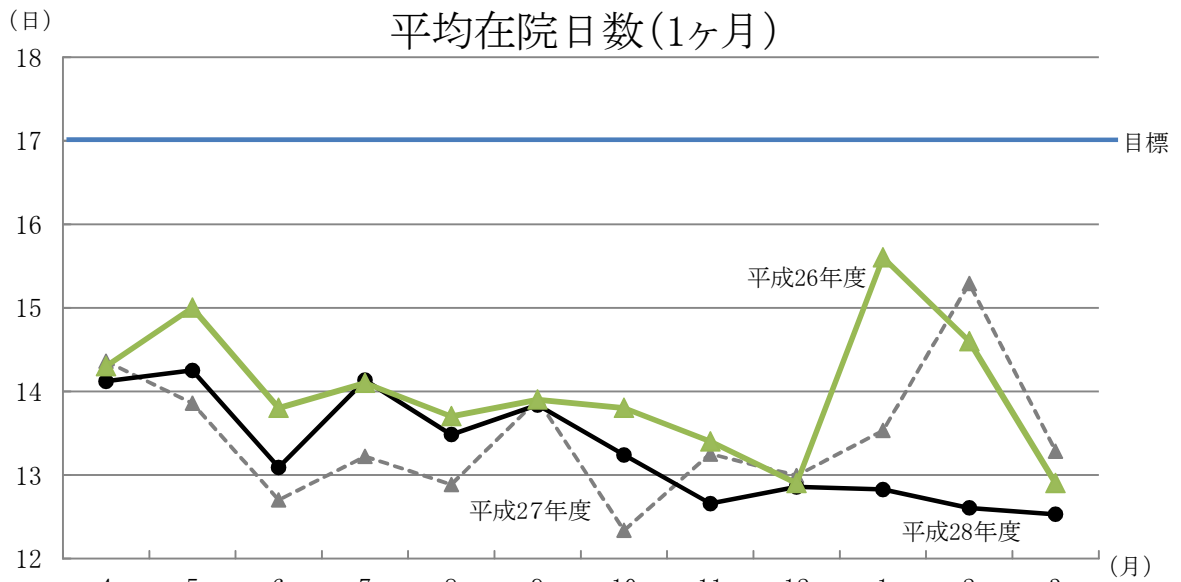


	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
平成26年度	172.9	164.8	163.8	168.5	163.0	158.2	155.3	164.0	177.4	182.5	186.0	175.3	169.2
平成27年度	172.3	171.2	161.7	154.5	164.2	164.4	156.3	157.4	169.5	165.8	177.8	187.4	166.8
平成28年度	178.1	171.8	172.9	187.2	173.5	171.4	167.1	174.5	171.1	173.5	172.6	163.1	173.1
前年度比較	5.8	0.6	11.2	32.7	9.3	7.0	10.8	17.1	1.6	7.7	△ 5.2	△ 24.3	6.3

外来患者数(1日平均)



	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
平成26年度	327.4	338.2	334.3	326.1	320.0	342.4	330.6	350.9	368.3	351.2	338.4	325.7	337.1
平成27年度	317.9	346.8	331.9	327.7	321.3	348.9	356.7	364.3	367.6	336.7	350.0	327.7	340.8
平成28年度	337.4	342.6	320.0	336.8	319.8	337.9	345.8	355.9	373.6	347.3	326.2	330.2	338.9
前年度比較	19.5	△ 4.2	△ 11.9	9.1	△ 1.5	△ 11.0	△ 10.9	△ 8.4	6.0	10.6	△ 23.8	2.5	△ 1.9



平均在院日数(1ヶ月) (日)

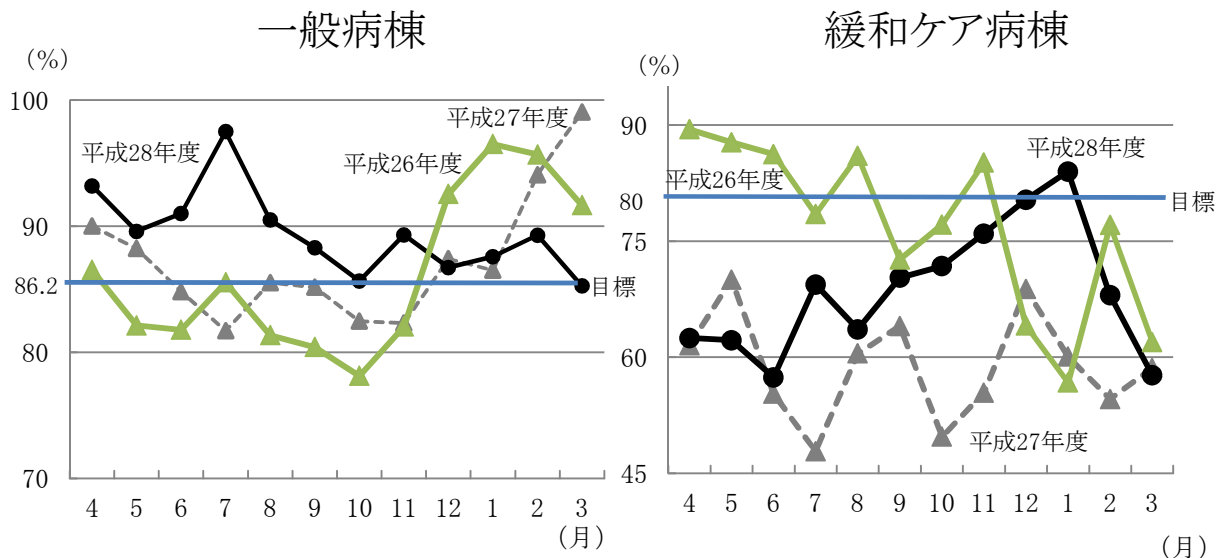
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
平成26年度	14.3	15.0	13.8	14.1	13.7	13.9	13.8	13.4	12.9	15.6	14.6	12.9	14.0
平成27年度	14.4	13.9	12.7	13.2	12.9	13.9	12.3	13.3	13.0	13.5	15.3	13.3	13.4
平成28年度	14.1	14.3	13.1	14.1	13.5	13.8	13.2	12.7	12.9	12.8	12.6	12.5	13.3

平均在院日数(3ヶ月) (日)

平成26年度	14.2	14.3	14.0	13.7	13.4	13.5	14.4	14.1	13.7	14.0	14.5	14.6	-
平成27年度	14.4	14.2	14.0	13.6	13.1	13.1	12.7	12.7	12.9	13.1	14.0	13.9	-
平成28年度	14.5	14.1	14.5	14.1	14.2	14.4	14.0	13.4	13.0	12.9	13.3	13.2	-

※上記平均在院日数(1ヵ月・3ヵ月共に)は緩和ケア病棟患者数は除く

病床稼働率

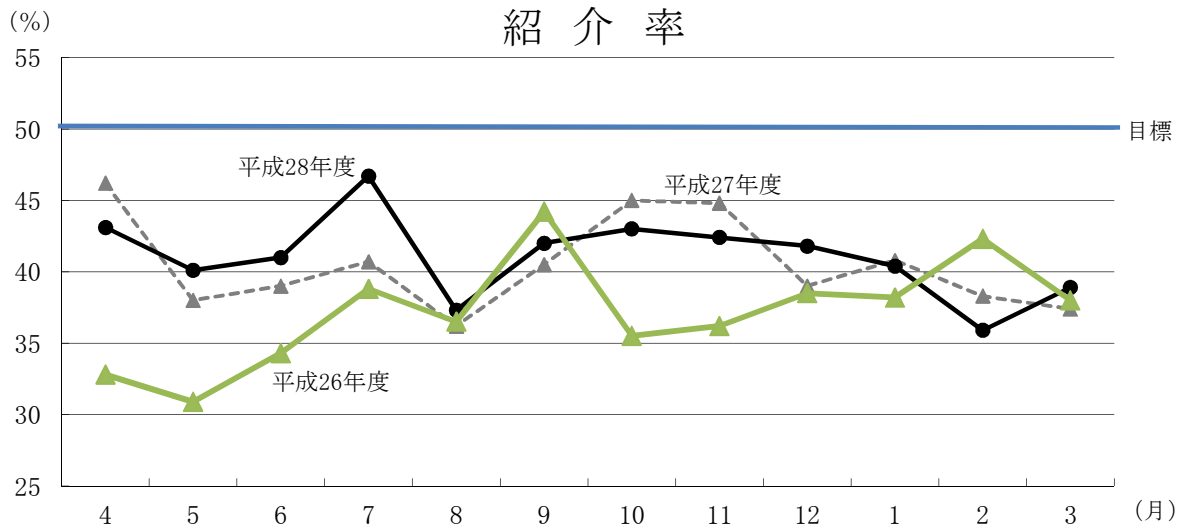


一般病棟 (%)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
平成26年度	86.5	82.1	81.8	85.5	81.4	80.4	78.1	82.0	92.6	96.5	95.7	91.7	86.2
平成27年度	90.0	88.2	84.8	81.7	85.5	85.2	82.5	82.3	87.4	86.5	94.1	99.1	87.3
平成28年度	93.2	89.6	91.0	97.5	90.5	88.3	85.7	89.3	86.7	87.6	89.3	85.3	89.5

緩和ケア病棟 (%)

平成26年度	89.4	87.8	86.3	78.5	86.0	72.6	77.2	85.1	64.1	56.7	77.1	62.0	76.3
平成27年度	61.5	70.0	55.3	47.8	60.5	64.0	49.7	55.4	68.8	60.1	54.6	58.6	58.9
平成28年度	62.5	62.2	57.4	69.4	63.6	70.3	71.8	76.0	80.4	84.0	68.0	57.7	68.6

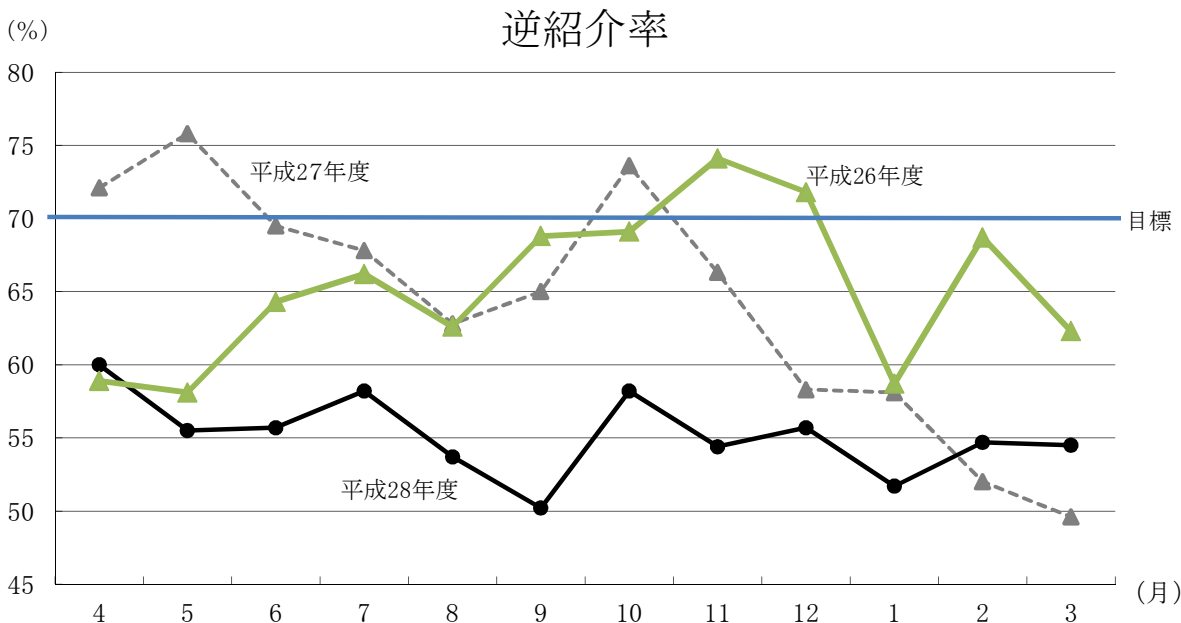


	(%)												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
平成26年度	32.8	30.9	34.3	38.8	36.5	44.2	35.5	36.2	38.5	38.2	42.3	38.0	37.0
平成27年度	46.2	38.0	39.0	40.7	36.2	40.5	45.0	44.8	39.0	40.8	38.3	37.4	40.4
平成28年度	43.1	40.1	41.0	46.7	37.3	42.0	43.0	42.4	41.8	40.4	35.9	38.9	41.0
前年度比較	△ 3.1	2.1	2.0	6.0	1.1	1.5	△ 2.0	△ 2.4	2.8	△ 0.4	△ 2.4	1.5	0.6

(%)

(人)

		(%)												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
分子	(A)紹介患者数	305	294	337	358	317	358	323	372	340	343	311	358	4,016
	(B)初診患者数	877	932	994	979	1,055	997	939	1,060	1,062	1,133	1,045	1,082	12,155
分母	(C)救急患者数	169	199	172	213	206	145	187	183	248	285	179	162	2,348
	(B) - (C)	708	733	822	766	849	852	752	877	814	848	866	920	9,807

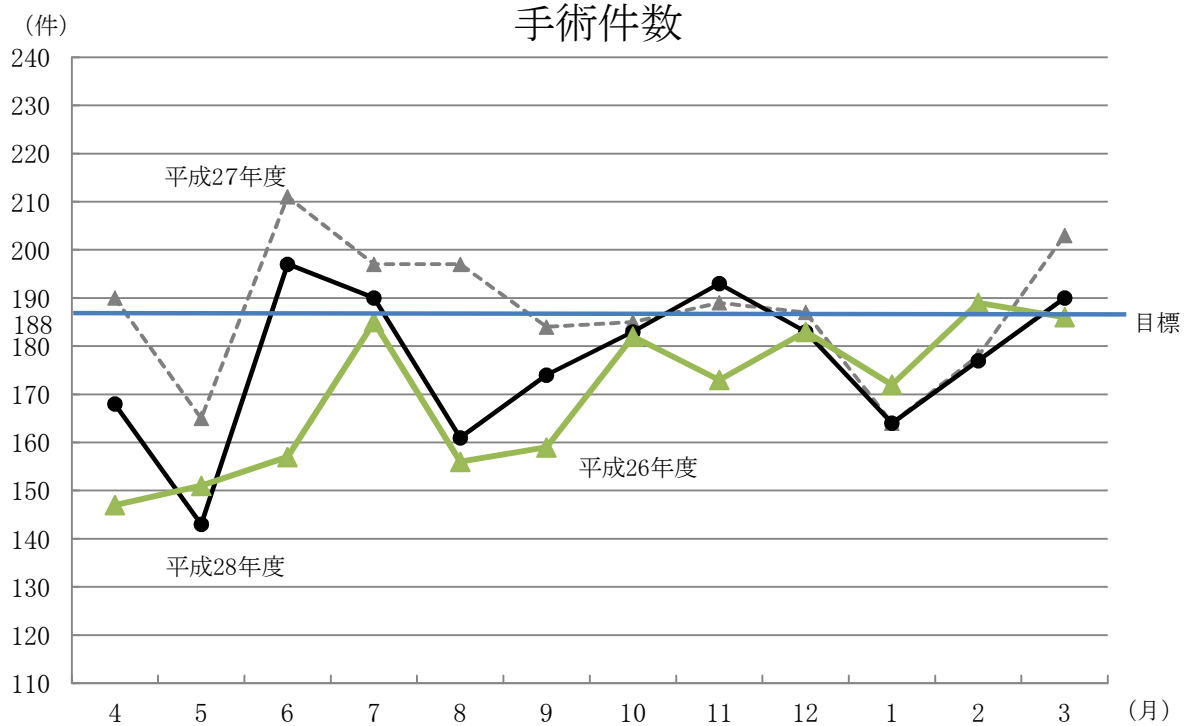


	(%)												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
平成26年度	58.9	58.1	64.3	66.2	62.6	68.8	69.1	74.1	71.8	58.7	68.7	62.3	64.9
平成27年度	72.1	75.8	69.5	67.8	62.8	65.0	73.6	66.3	58.3	58.1	52.0	49.6	63.9
平成28年度	60.0	55.5	55.7	58.2	53.7	50.2	58.2	54.4	55.7	51.7	54.7	54.5	55.1
前年度比較	△ 12.1	△ 20.3	△ 13.8	△ 9.6	△ 9.1	△ 14.8	△ 15.4	△ 11.9	△ 2.6	△ 6.4	2.7	4.9	△ 8.8

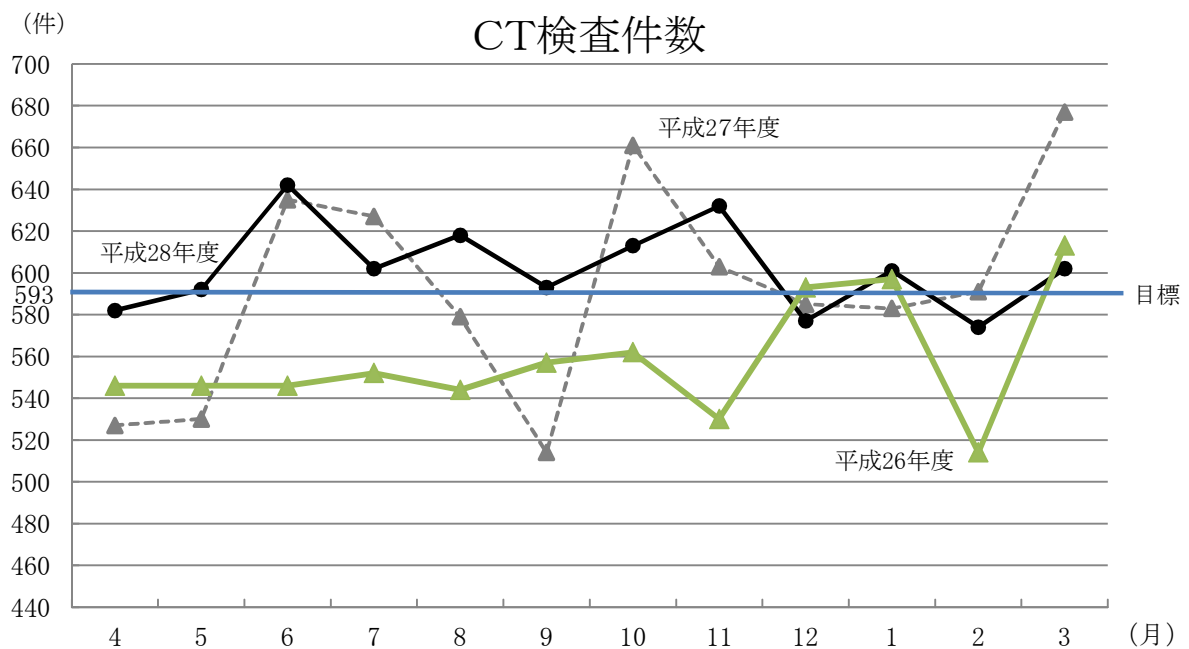
(%)

(人)

		(%)												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
分子	(A)逆紹介患者数	425	407	458	446	456	428	438	477	453	438	474	501	5,401
	(B)初診患者数	877	932	994	979	1,055	997	939	1,060	1,062	1,133	1,045	1,082	12,155
分母	(C)救急患者数	169	199	172	213	206	145	187	183	248	285	179	162	2,348
	(B) - (C)	708	733	822	766	849	852	752	877	814	848	866	920	9,807

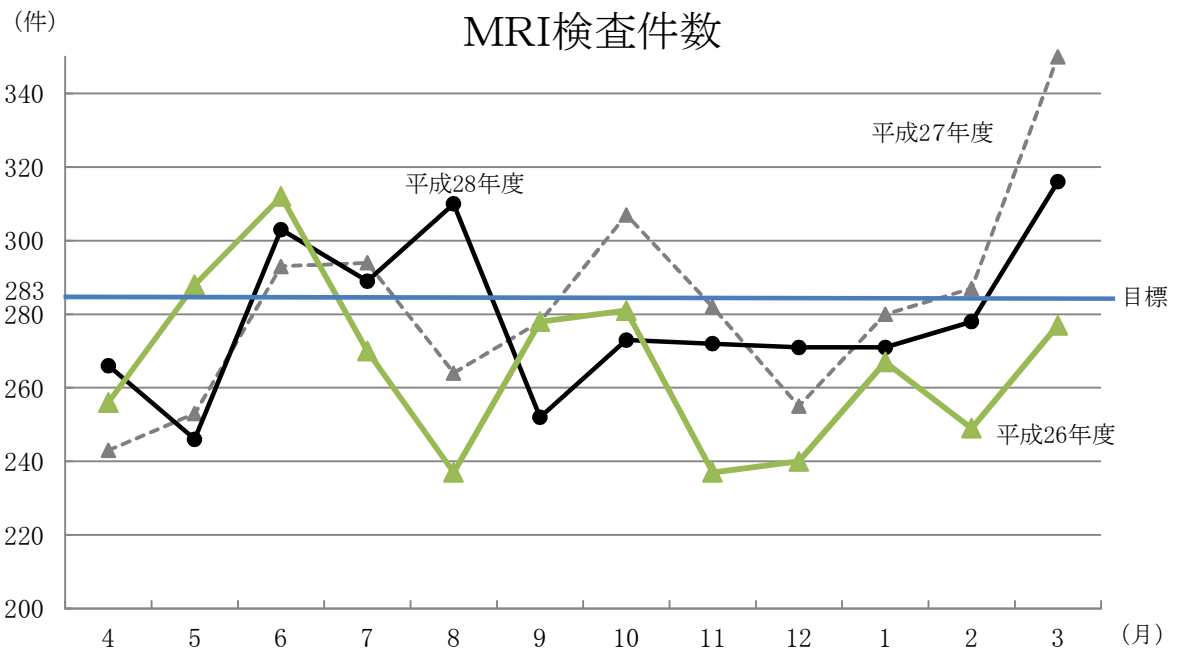


	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
平成26年度	147	151	157	185	156	159	182	173	183	172	189	186	2,040
平成27年度	190	165	211	197	197	184	185	189	187	164	178	203	2,250
平成28年度	168	143	197	190	161	174	183	193	183	164	177	190	2,123
前年度比較	△ 22	△ 22	△ 14	△ 7	△ 36	△ 10	△ 2	4	△ 4	0	△ 1	△ 13	△ 127



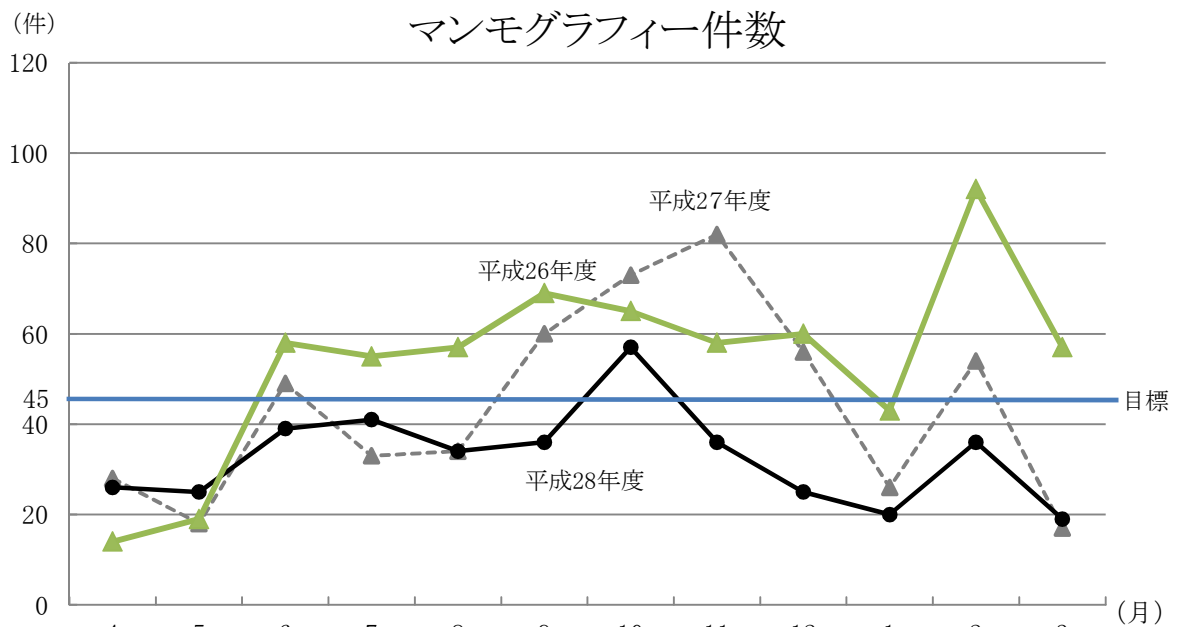
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
平成26年度	546	546	546	552	544	557	562	530	593	597	514	613	6,700
平成27年度	527	530	635	627	579	514	661	603	585	583	591	677	7,112
平成28年度	582	592	642	602	618	593	613	632	577	601	574	602	7,228
前年度比較	55	62	7	△ 25	39	79	△ 48	29	△ 8	18	△ 17	△ 75	116

平成28年度入・外内訳 外来4,582件(前年比34件増) 入院2,646件(前年比82件増)



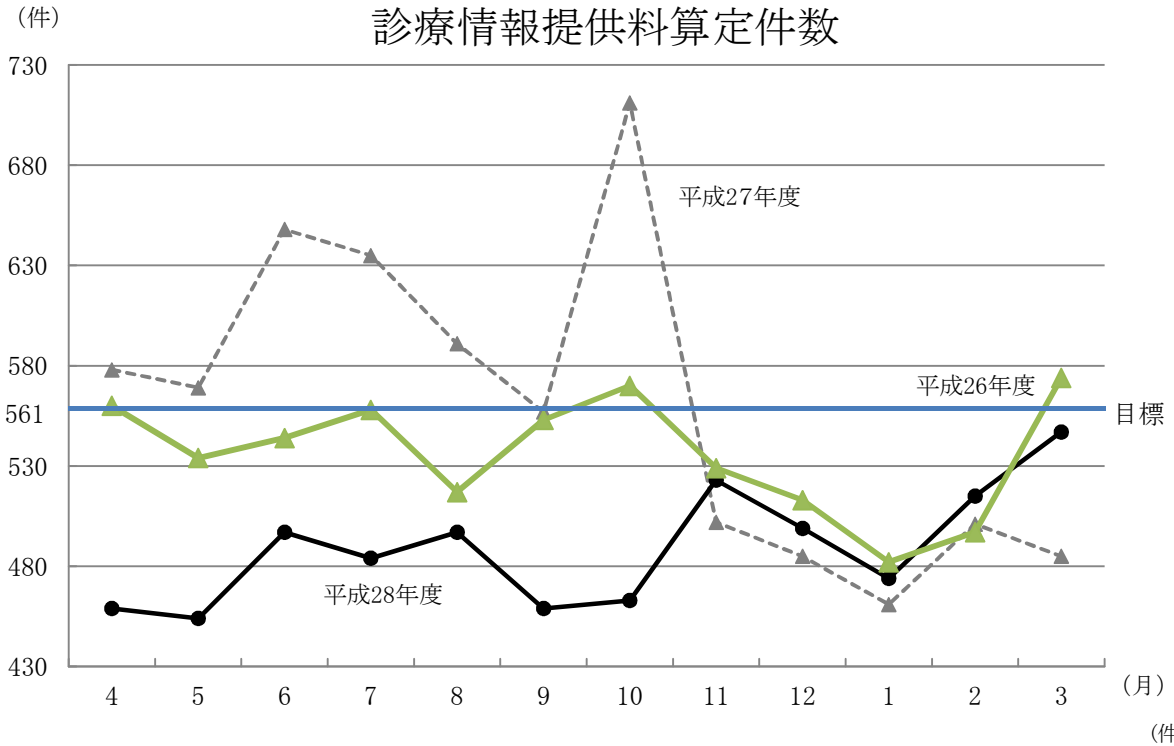
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
平成26年度	256	288	312	270	237	278	281	237	240	267	249	277	3,192
平成27年度	243	253	293	294	264	278	307	282	255	280	287	350	3,386
平成28年度	266	246	303	289	310	252	273	272	271	271	278	316	3,347
前年度比較	△ 23	△ 7	△ 10	△ 5	△ 46	△ 26	△ 34	△ 10	△ 16	△ 9	△ 9	△ 34	△ 39

平成28年度入・外内訳 外来2,868件(前年比77件減) 入院479件(前年比38件増)

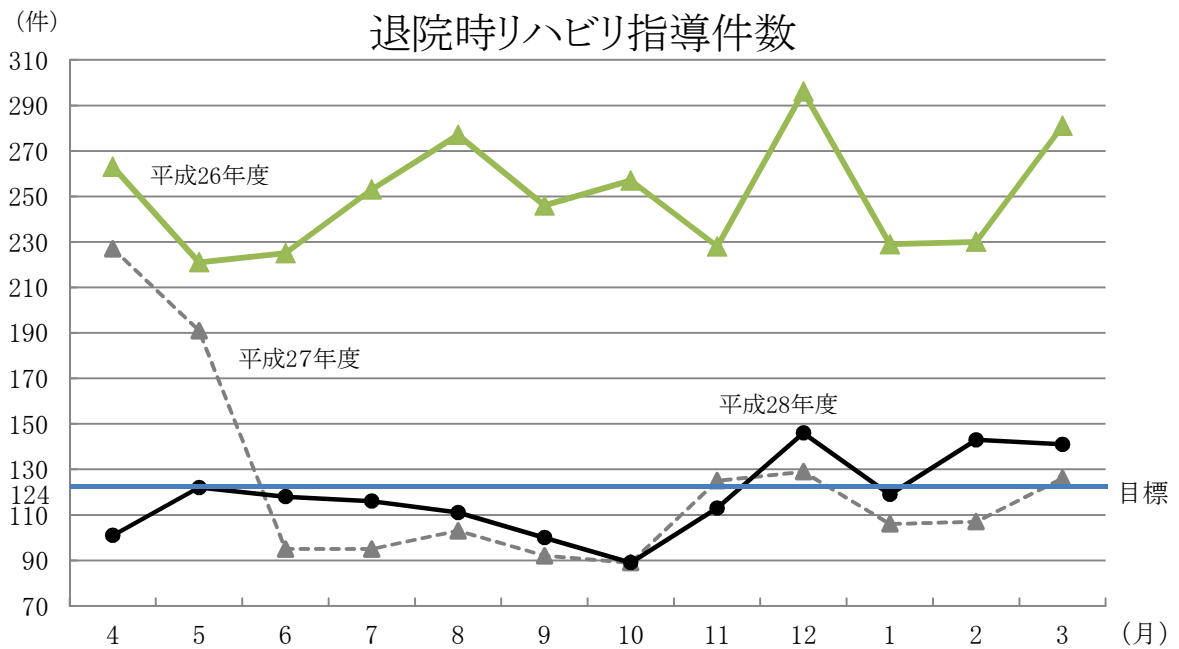


	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
平成26年度	14	19	58	55	57	69	65	58	60	43	92	57	647
平成27年度	28	18	49	33	34	60	73	82	56	26	54	17	530
平成28年度	26	25	39	41	34	36	57	36	25	20	36	19	394
前年度比較	△ 2	7	△ 10	8	0	△ 24	△ 16	△ 46	△ 31	△ 6	△ 18	2	△ 136

※40才以上の乳がん検診で実施したマンモグラフィの件数

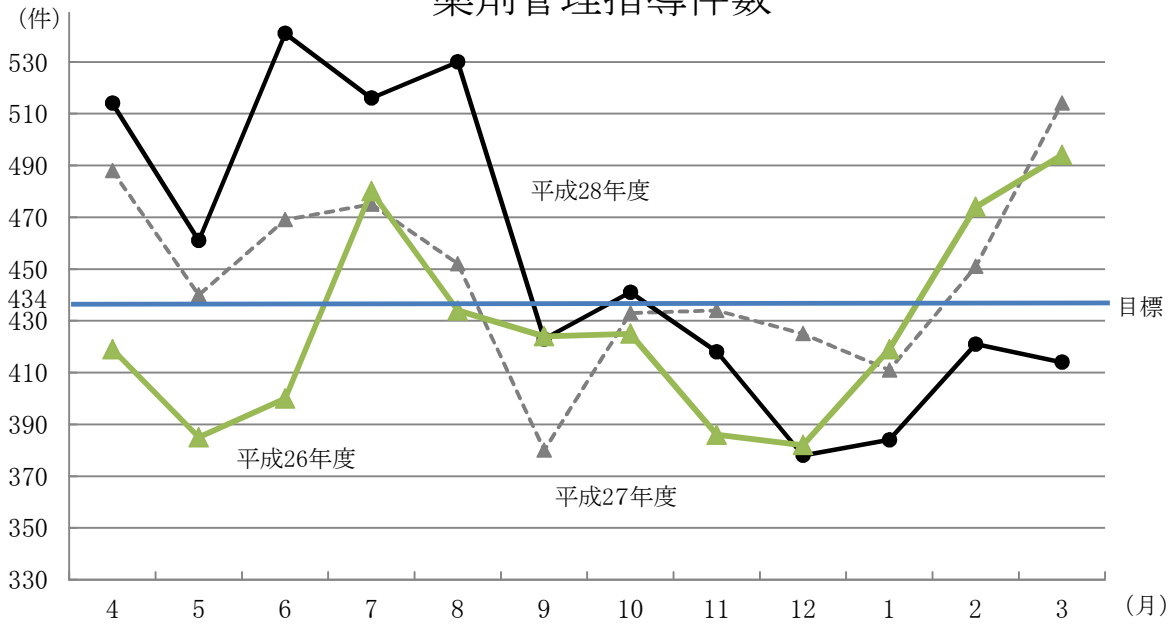


	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
平成26年度	560	534	544	558	517	553	570	529	513	482	497	574	6,431
平成27年度	578	569	648	635	591	557	711	502	485	461	501	485	6,723
平成28年度	459	454	497	484	497	459	463	523	499	474	515	547	5,871
前年度比較	△ 119	△ 115	△ 151	△ 151	△ 94	△ 98	△ 248	21	14	13	14	62	△ 852



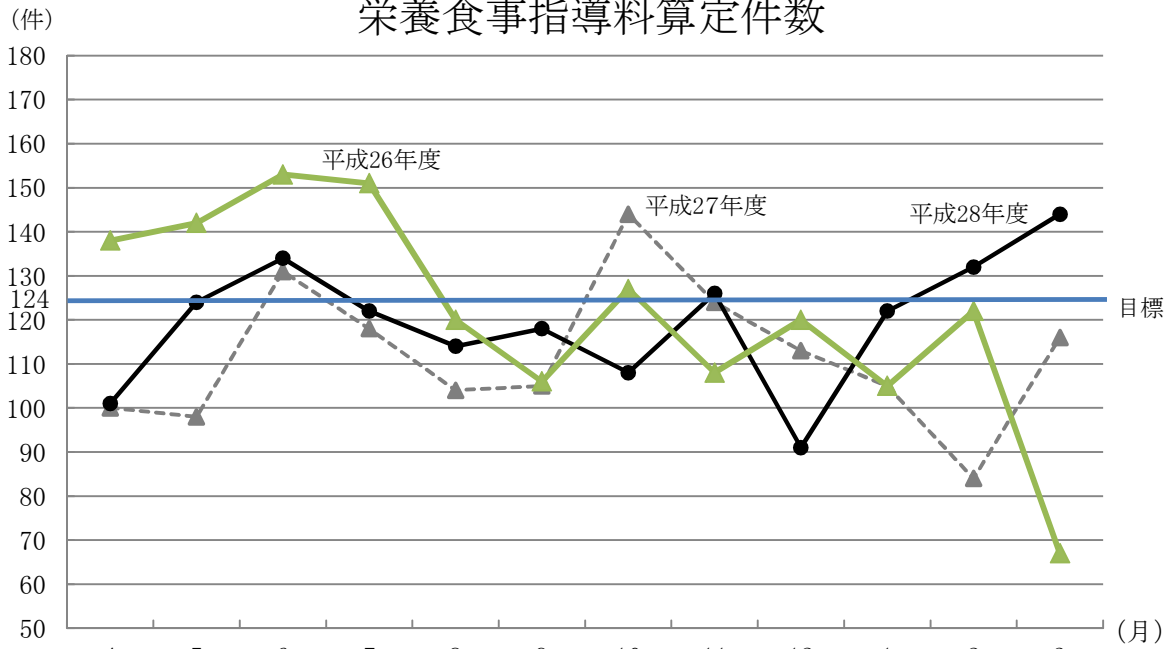
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
平成26年度	263	221	225	253	277	246	257	228	296	229	230	281	3,006
平成27年度	227	191	95	95	103	92	89	125	129	106	107	126	1,485
平成28年度	101	122	118	116	111	100	89	113	146	119	143	141	1,419
前年度比較	△ 126	△ 69	23	21	8	8	0	△ 12	17	13	36	15	△ 66

薬剤管理指導件数



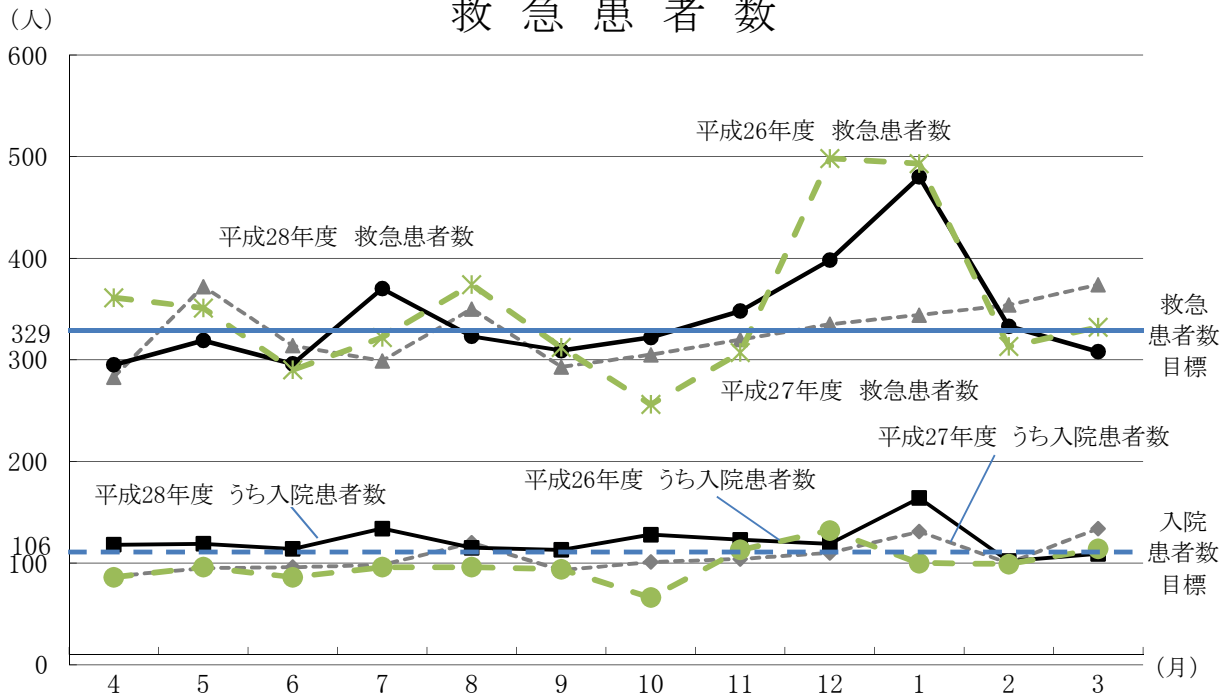
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
平成26年度	419	385	400	480	434	424	425	386	382	419	474	494	5,122
平成27年度	488	440	469	475	452	380	433	434	425	411	451	514	5,372
平成28年度	514	461	541	516	530	423	441	418	378	384	421	414	5,441
前年度比較	26	21	72	41	78	43	8	△ 16	△ 47	△ 27	△ 30	△ 100	69

栄養食事指導料算定件数



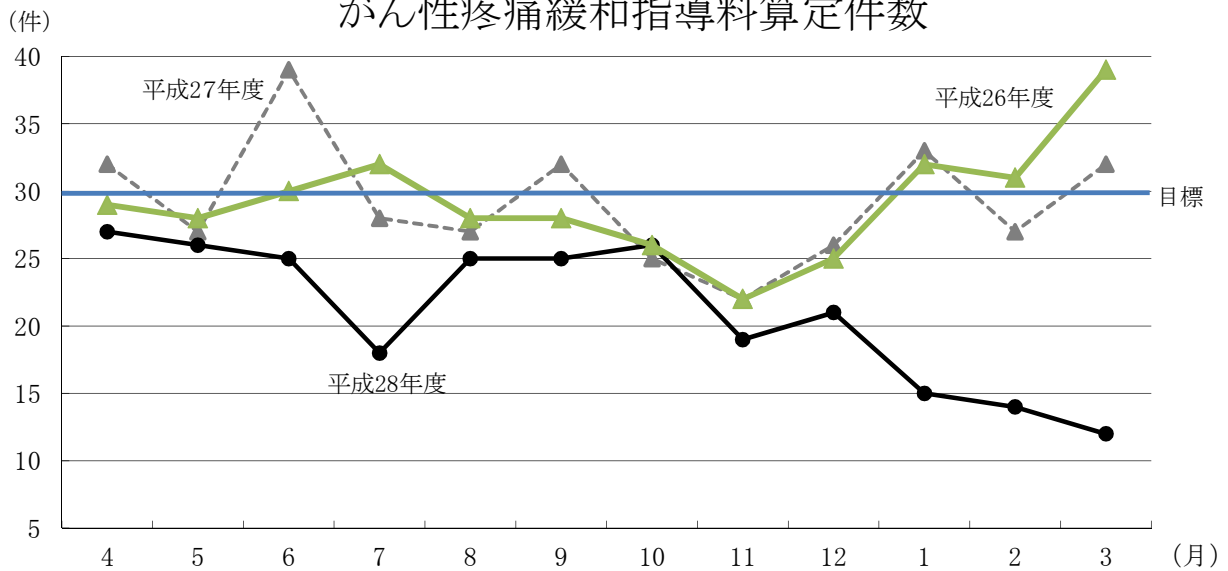
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
平成26年度	138	142	153	151	120	106	127	108	120	105	122	67	1,459
平成27年度	100	98	131	118	104	105	144	124	113	105	84	116	1,342
平成28年度	101	124	134	122	114	118	108	126	91	122	132	144	1,436
前年度比較	1	26	3	4	10	13	△ 36	2	△ 22	17	48	28	94

救急患者数



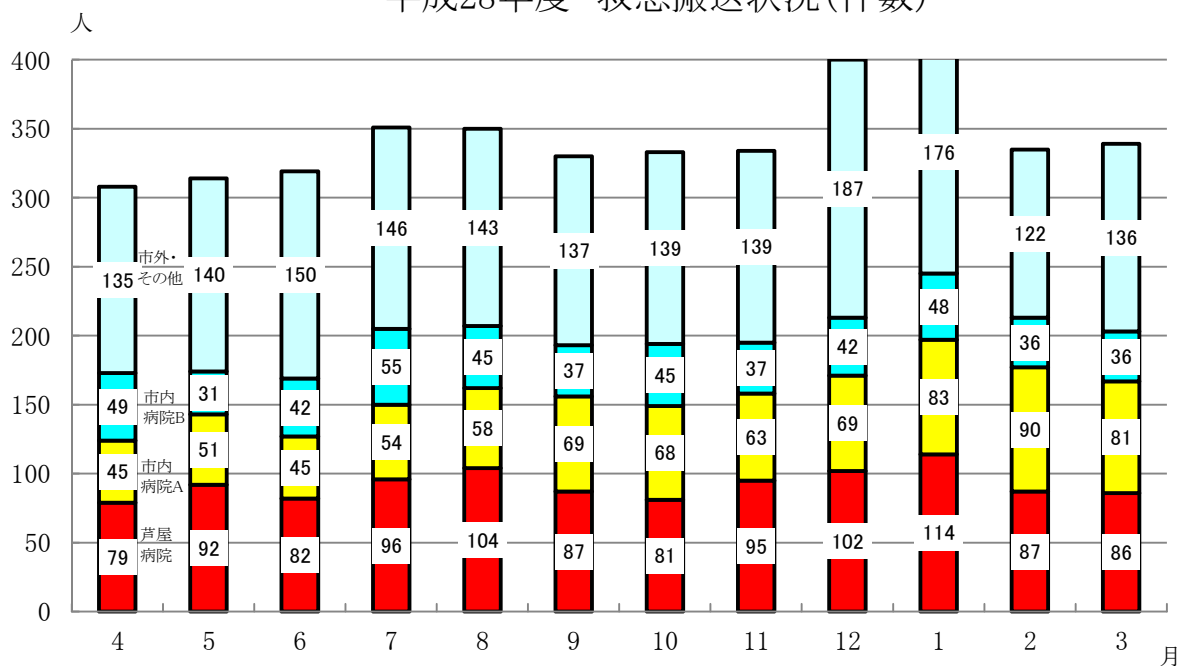
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
平成26年度救急患者数	361	351	290	322	374	312	256	307	498	493	313	332	4,209
うち入院患者数	86	96	86	96	96	94	66	113	132	100	99	114	1,178
平成27年度救急患者数	283	372	314	299	350	293	305	320	335	344	354	374	3,943
うち入院患者数	87	95	96	98	120	93	101	104	110	131	100	134	1,269
平成28年度救急患者数	295	319	296	370	323	309	322	348	398	480	333	308	4,101
うち入院患者数	118	119	114	134	115	113	128	123	119	164	102	109	1,458

がん性疼痛緩和指導料算定件数



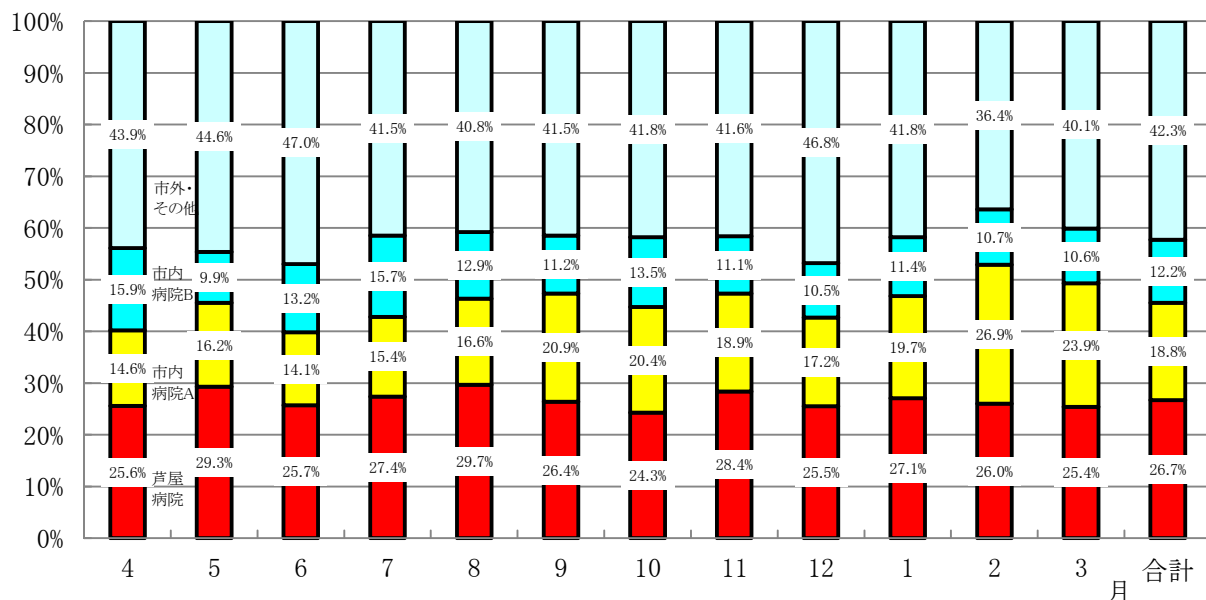
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
平成26年度	29	28	30	32	28	28	26	22	25	32	31	39	350
平成27年度	32	27	39	28	27	32	25	22	26	33	27	32	350
平成28年度	27	26	25	18	25	25	26	19	21	15	14	12	253
前年度比較	△ 5	△ 1	△ 14	△ 10	△ 2	△ 7	1	△ 3	△ 5	△ 18	△ 13	△ 20	△ 97

平成28年度 救急搬送状況(件数)



※市外・その他に市内診療所分を含む

平成28年度 救急搬送状況(比率)



※市外・その他に市内診療所分を含む

職 種 別 職 員 数 推 移

	平成25年3月31日			平成26年3月31日			平成27年3月31日			平成28年3月31日			平成29年3月31日		
	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計
医 師	27	5	32	29	6	35	29	7	36	32	5	37	34	7	41
事業管理者	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
内 科	13		13	16	1	17	15	3	18	16	2	18	17	3	20
消化器内科	4		4	4	1	5	5	1	6	5		5	4		4
血液・腫瘍内科	4		4	4		4	4		4	4		4	4		4
糖尿病・内分泌内科	3		3	3		3	2	1	3	4	1	5	3	2	5
循環器内科	1		1	2		2	2		2	2		2	2		2
呼吸器内科								1	1		1	1		1	1
緩和ケア内科	1		1	3		3	2		2	1		1	2		2
総合内科													1		1
人間ドックセンター													1		1
小 児 科	3		3	1		1	2		2	2		2	2		2
外 科	6		6	6	1	7	5	1	6	7		7	6		6
産 婦 人 科	1		1	1		1	2		2	2		2	2		2
眼 科		1	1												
整 形 外 科	2		2	2		2	2		2	2		2	3		3
放 射 線 科	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
麻 酔 科				1		1	1		1	1		1	2		2
研 修 医		4	4		4	4		3	3		3	3		4	4
看 護 師	129	35	164	139	40	179	151	38	189	155	37	192	148	38	186
薬 剤 師	7	2	9	8	2	10	8	3	11	8	3	11	9	3	12
診療放射線技師	6		6	6	1	7	7	1	8	7		7	7		7
臨床検査技師	7	2	9	8	3	11	7	3	10	8	2	10	8	2	10
理学療法士	3		3	3		3	4		4	4		4	4		4
言語聴覚士	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
作業療法士				1		1	1		1	1		1	1		1
視能訓練士	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
管理栄養士	2	1	3	2	1	3	2		2	2		2	2		2
臨床工学技士	1		1	1		1	1		1	1		1	1		1
臨床心理士										1		1	1		1
診療情報管理士		1	1							1		1	2	1	3
電気技師	1		1	1		1	1		1						
事務職員	13	27	40	12	33	45	14	36	50	14	32	46	12	37	49
看護助手・リネン					15	15		17	17		17	17		17	17
そ の 他		3	3		3	3		4	4		4	4		4	4
計	198	76	274	212	104	316	227	109	336	236	100	336	231	109	340

- 条件1 : 事業管理者は医師に含める
- 条件2 : 再任用職員は非常勤に含める
- 条件3 : その他にはOMA, MSW, 音楽療法士を入れる
- 条件4 : 派遣職員は除く

施設基準 届出一覧

平成29年3月時点

基本診療料		
名称	届出日	備考
一般病棟入院基本料（7対1）	平成20年09月	
臨床研修病院入院診療加算1（基幹型）	平成16年07月	
救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算	平成22年04月	
診療録管理体制加算1	平成26年04月	
医師事務作業補助体制加算1（2.5対1）	平成29年02月	変更
急性期看護補助体制加算（5.0対1）	平成23年01月	
療養環境加算	平成27年07月	
重症者等療養環境特別加算	平成22年07月	
無菌治療室管理加算	平成24年08月	
栄養サポートチーム加算	平成23年06月	
医療安全対策加算1	平成20年04月	
感染防止対策加算1	平成24年05月	
感染防止対策地域連携加算	平成26年04月	
患者サポート体制充実加算	平成24年04月	
呼吸ケアチーム加算	平成26年04月	
病棟薬剤業務実施加算1	平成24年04月	
データ提出加算2 ロ	平成24年10月	
退院支援加算2	平成28年11月	新規 加算1辞退の為
小児入院医療管理料5	平成26年12月	
緩和ケア病棟入院料	平成24年08月	
短期滞在手術等基本料2	平成26年04月	

※届出日は当初届出を行った日

<削除項目>

名称	辞退日	備考
退院支援加算1（地域連携診療計画加算）	平成28年11月末	専従要件を満たさない為
認知症ケア加算1	平成28年11月末	専従要件を満たさない為

施設基準 届出一覧

平成29年3月時点

特掲診療料		
名称	届出日	備考
糖尿病合併症管理料	平成26年08月	
がん性疼痛緩和指導管理料	平成22年04月	
がん患者指導管理料1, 2	平成26年04月	
がん患者指導管理料3	平成28年04月	
糖尿病透析予防指導管理料	平成29年02月	新規
夜間休日救急搬送医学管理料	平成24年04月	
ニコチン依存症管理料	平成28年11月	新規
開放型病院共同指導料	平成16年07月	
がん治療連携計画策定料	平成27年07月	
肝炎インターフェロン治療計画料	平成22年04月	
薬剤管理指導料	平成22年04月	
地域連携診療計画加算	平成28年04月	
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	平成28年04月	
医療機器安全管理料 1	平成22年07月	
在宅患者訪問看護・指導料	平成24年12月	
持続血糖測定器加算	平成26年04月	
造血器腫瘍遺伝子検査	平成24年11月	
HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）	平成26年04月	
検体検査管理加算（Ⅱ）	平成20年04月	
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	平成24年09月	
胎児心エコー法	平成22年04月	
皮下連続式グルコース測定	平成26年10月	
小児食物アレルギー負荷検査	平成24年05月	
センチネルリンパ節生検（片側）	平成22年04月	
画像診断管理加算 2	平成22年08月	
C T撮影及びMR I撮影	平成24年04月	
冠動脈C T撮影加算	平成20年04月	
大腸C T撮影加算	平成24年04月	
心臓MR I撮影加算	平成21年09月	
外来化学療法加算 1	平成20年04月	
無菌製剤処理料	平成20年05月	

施設基準 届出一覧

平成29年3月時点

特掲診療料		
名称	届出日	備考
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）	平成26年01月	
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）	平成26年01月	
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）	平成25年02月	
がん患者リハビリテーション料	平成25年03月	
認知療法・認知行動療法	平成24年10月	
処置の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1	平成26年04月	
乳腺悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルリンパ節加算 1 又は乳がんセンチネルリンパ節加算 2 を算定する場合に限る。）	平成22年04月	
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	平成18年04月	
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	平成24年04月	
医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6（歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。）に掲げる手術	平成20年04月	
手術の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1	平成26年04月	
胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）	平成26年04月	
輸血管理料Ⅱ	平成19年05月	
輸血適正使用加算	平成24年04月	
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	平成24年09月	
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	平成26年04月	
麻酔管理料（Ⅰ）	平成27年03月	
保険医療機関間の連携による病理診断	平成26年11月	
テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製	平成23年04月	
テレパソロジーによる術中迅速細胞診	平成23年04月	

各種委員会活動状況

がん委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 5. 25	・がん患者指導管理料について

診療局部長会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 10. 14	・地域医療支援病院について ・紹介率・逆紹介率の計算式について ・紹介件数の増加に向けて
2	H28. 10. 27	・断診状況について ・各診療科より提案された紹介件数増加策について
3	H28. 11. 24	・10月の断診状況について ・紹介率・逆紹介率の状況について ・各診療科より提案された紹介件数増加策について ・平成28年度開業医向けアンケートについて ・東灘区医師会病診連携学術集団会の演題募集について
4	H29. 3. 23	・紹介率・逆紹介率の状況について ・直近の断診状況について ・困難事例について ・返書について

リスクマネジメント委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 4. 8	・各部署報告 ・平成28年度医療安全管理委員会担当
2	H28. 5. 6	・各部署報告 ・医療安全ラウンドについて ・今後の予定
3	H28. 6. 3	・各部署報告 ・開封後の薬剤の使用期限について ・今後の予定
4	H28. 7. 1	・各部署報告
5	H28. 8. 5	・各部署報告
6	H28. 9. 2	・各部署報告
7	H28. 10. 7	・各部署報告
8	H28. 11. 4	・各部署報告
9	H28. 12. 2	・各部署報告 ・医療安全推進室より
10	H29. 1. 6	・各部署報告 ・医療安全推進室より
11	H29. 2. 3	・各部署報告 ・医療安全推進室より
12	H29. 3. 2	・各部署報告 ・医療安全推進室より

感染対策委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 4. 21	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策ニュースについて ・小児ウイルス疾患の職員ワクチン接種について ・感染対策委員会開催日程について
2	H28. 5. 19	<ul style="list-style-type: none"> ・各部署での問題について ・感染対策ニュースについて ・小児ウイルス疾患の職員ワクチン接種について ・手指衛生洗い残しチェックについて
3	H28. 6. 16	<ul style="list-style-type: none"> ・各部署での問題について ・感染対策ニュースについて ・手指衛生洗い残しチェックについて
4	H28. 7. 21	<ul style="list-style-type: none"> ・各部署での問題について ・感染対策ニュースについて ・手指衛生洗い残しチェックについて ・相互評価受入れについて ・ワクチン接種について
5	H28. 8. 18	<ul style="list-style-type: none"> ・各部署での問題について ・感染対策ニュースについて ・手指衛生洗い残しチェック ・相互評価受入れについて ・ワクチン接種について ・7月細菌動向報告 ・7月抗菌剤使用動向報告 ・7月の感染動向報告
6	H28. 9. 15	<ul style="list-style-type: none"> ・各部署での問題について ・感染対策ニュースについて ・感染防止対策1-1加算相互評価結果報告について ・インフルエンザワクチン接種について
7	H28. 10. 20	<ul style="list-style-type: none"> ・各部署での協議事項・問題点 ・感染対策ニュース ・11月開催の感染対策研修会について
8	H28. 11. 17	<ul style="list-style-type: none"> ・各部署での協議事項・問題点について ・感染対策ニュースについて ・相互評価・指摘事項について
9	H28. 12. 15	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策ニュースについて ・相互評価の指摘事項について
10	H29. 1. 20	<ul style="list-style-type: none"> ・各部署での協議事項、問題点について ・感染対策ニュースについて
11	H29. 2. 17	<ul style="list-style-type: none"> ・各部署での協議事項、問題点について ・感染対策ニュースについて
12	H29. 3. 16	<ul style="list-style-type: none"> ・各部署での協議事項・問題点について ・感染対策ニュースについて

化学療法運営委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 5. 17	<ul style="list-style-type: none"> ・GD療法のレジメン承認について ・閉鎖式システム使用範囲の拡大について
2	H28. 6. 21	<ul style="list-style-type: none"> ・閉鎖式システム使用範囲の拡大について
3	H28. 7. 19	<ul style="list-style-type: none"> ・Ph+213地固め両方C2のレジメン承認について
4	H28. 8. 16	<ul style="list-style-type: none"> ・アリムタ+CBDCA+Bv療法のレジメン承認について
5	H28. 9. 20	<ul style="list-style-type: none"> ・MMC+5-FUのレジメン承認について

化学療法運営委員会

	開催日	報告・協議事項
6	H28. 10. 18	・ low doseFP療法およびパージェタ+ハーセプチン+PTX療法のレジメン承認について ・ 副作用予防の強化について
7	H28. 11. 15	・ アービタックス+mFOLFOX6療法、アービタックス+FOLFIRI療法、アービタックス+SOX療法、サイラムザ+FOLFIRI療法のレジメン承認について ・ 副作用予防の強化
8	H28. 12. 20	・ 外来におけるTC療法について ・ トレアキシン投与について
9	H29. 1. 17	・ 外来にてインフューザーを使用後、Vポート針の自己抜針を希望される患者へのマニュアル改訂およびパンフレット作成について
10	H29. 2. 21	・ CHASER、Devic療法のレジメン承認について ・ 患者向けインフューザーポンプの使用法パンフレット作成について
11	H29. 3. 21	・ GCD療法、E-Rd療法のレジメン承認について ・ 患者向けインフューザーポンプの使用法パンフレット作成について

緩和ケア病棟運営委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 4. 26	・ 病棟の状況について ・ 今年度の方針について ・ 遺族会について
2	H28. 9. 6	・ 病棟の状況について ・ 医師の増員について ・ 緩和ケア病棟に病棟担当のMSW、クラークの設置について ・ 遺族会について
3	H28. 11. 14	・ 病棟の状況について ・ 緩和ケア病棟に病棟担当のMSW、クラークの設置について ・ 遺族会について

褥瘡対策委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 6. 29	・ 平成27年度年間評価報告 ・ 平成28年度目標と活動計画 ・ 褥瘡回診方法について ・ 褥瘡対策不足物品について
2	H29. 2. 1	・ 平成28年度上半期評価 ・ 平成28年度下半期目標 ・ 褥瘡回診方法について ・ 褥瘡対策不足物品について

救急医療推進委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 4. 15	・ 芦屋消防報告 ・ 芦屋病院報告
2	H28. 5. 20	・ 芦屋消防報告 ・ 芦屋病院報告
3	H28. 6. 17	・ 芦屋消防報告 ・ 芦屋病院報告
4	H28. 7. 15	・ 芦屋消防報告 ・ 芦屋病院報告

救急医療推進委員会

	開催日	報告・協議事項
5	H28. 8. 19	・ 芦屋消防報告 ・ 芦屋病院報告
6	H28. 9. 16	・ 芦屋消防報告 ・ 芦屋病院報告
7	H28. 10. 21	・ 芦屋消防報告 ・ 芦屋病院報告
8	H28. 11. 18	・ 芦屋消防報告 ・ 芦屋病院報告
9	H28. 12. 16	・ 芦屋消防報告 ・ 芦屋病院報告
10	H29. 1. 20	・ 芦屋消防報告 ・ 芦屋病院報告
11	H29. 2. 17	・ 芦屋消防報告 ・ 芦屋病院報告
12	H29. 3. 17	・ 芦屋消防報告 ・ 芦屋病院報告

チーム医療推進委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 7. 21	・ 平成28年度の活動計画について ・ チーム作成のマニュアルなどの病院承認について ・ 委員会要綱について

チーム医療推進委員会 (NST：栄養サポートチーム)

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 5. 26	・ 診療報酬加算状況 ・ 経腸栄養開始時の流れについて ・ NST研修会について ・ 経腸栄養プランについて ・ 嚥下栄養外来について

チーム医療推進委員会 (緩和ケアチーム)

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 4 毎週水曜日	・ 平成28年4月緩和ケアチーム入院患者対象コンサルテーション実績 ・ 平成27年度のチーム評価について ・ 外来患者の緩和ケア依頼について
2	H28. 5 毎週水曜日	・ 平成28年5月緩和ケアチーム入院患者対象コンサルテーション実績 ・ 病棟リンクナースの参加について ・ 緩和ケアサマリーの記載漏れについて
3	H28. 6 毎週水曜日	・ 平成28年6月緩和ケアチーム入院患者対象コンサルテーション実績 ・ 緩和医療学会のシンポジウムニストについて
4	H28. 7 毎週水曜日	・ 平成28年7月緩和ケアチーム入院患者対象コンサルテーション実績 ・ DVD学習「レスキューの使い方」について
5	H28. 8 毎週水曜日	・ 平成28年8月緩和ケアチーム入院患者対象コンサルテーション実績 ・ 緩和ケアセルフチェックプログラムノ実施について
6	H28. 9 毎週水曜日	・ 平成28年9月緩和ケアチーム入院患者対象コンサルテーション実績 ・ PCTセルフチェックプログラムの課題について

チーム医療推進委員会（緩和ケアチーム）

	開催日	報告・協議事項
7	H28. 10 毎週水曜日	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年10月緩和ケアチーム入院患者対象コンサルテーション実績 平成29年1月開催の「兵庫県がん診療連携協議会主催第7回緩和ケアチーム研修会」について
8	H28. 11 毎週水曜日	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年11月緩和ケアチーム入院患者対象コンサルテーション実績 2階病棟スクリーニングの評価施行 2階病棟からの症例の検討
9	H28. 12 毎週水曜日	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年12月緩和ケアチーム入院患者対象コンサルテーション実績 4階西病棟のスクリーニング導入について 年末年始の対応について
10	H29. 1 毎週水曜日	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年1月緩和ケアチーム入院患者対象コンサルテーション実績 4階西病棟スクリーニング結果について
11	H29. 2 毎週水曜日	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年2月緩和ケアチーム入院患者対象コンサルテーション実績 兵庫県緩和ケアチーム研修参加の報告について
12	H29. 3 毎週水曜日	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年3月緩和ケアチーム入院患者対象コンサルテーション実績 西2階スクリーニングについて

チーム医療推進委員会（足チーム）

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 6. 29	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度活動目標と活動計画 DVT予防フローチャートについて
2	H28. 10. 4	<ul style="list-style-type: none"> 7～9月の各科報告 DVT予防フローチャートについて
3	H28. 12. 21	<ul style="list-style-type: none"> 10～11月の各科報告 DVT予防調査実施率 DVT予防調査開始後の問題点と対策
4	H29. 3. 22	<ul style="list-style-type: none"> 12～2月の各科報告 DVT予防調査実施率 DVT予防調査開始後の問題点と対策 年間まとめと今後の対策

広報推進委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 4. 22	<ul style="list-style-type: none"> 広報あしや臨時号について 病院誌の作成について
2	H28. 5. 27	<ul style="list-style-type: none"> 病院誌の作成について
3	H28. 6. 24	<ul style="list-style-type: none"> 病院誌の進捗状況について ホームページについて
4	H28. 9. 14	<ul style="list-style-type: none"> 病院誌の進捗状況について
5	H28. 11. 25	<ul style="list-style-type: none"> 病院誌の進捗状況について あしやトライあぐる「芦屋病院特集」について
6	H29. 2. 10	<ul style="list-style-type: none"> あしやトライあぐる「人間ドック特集」について 平成29年度広報年間計画について

予防医療推進委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 7. 26	<ul style="list-style-type: none"> ・休日がん検診について ・ふるさと寄附金の返礼について ・健康診断書（当院様式）作成について
2	H28. 12. 22	<ul style="list-style-type: none"> ・休日がん検診について ・協会けんぽ検診実施機関の申請について

地域医療推進委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 4. 25	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度の紹介患者数について ・日常の運用について
2	H28. 5. 23	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の紹介患者数について ・地域医療支援病院の認定に向けて
3	H28. 9. 27	<ul style="list-style-type: none"> ・8月の紹介患者数について ・地域医療支援病院の認定に向けて ・日常の紹介事例 ・入許時の予約変更について

診療報酬・DPC対策委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 4. 25	<ul style="list-style-type: none"> ・査定状況について ・DPCコーディングについての検討 ・算定実績について
2	H28. 5. 23	<ul style="list-style-type: none"> ・査定状況について ・DPCコーディングについての検討 ・算定実績について
3	H28. 6. 27	<ul style="list-style-type: none"> ・査定状況について ・DPCコーディングについての検討 ・算定実績について
4	H28. 7. 25	<ul style="list-style-type: none"> ・査定状況について ・DPCコーディングについての検討 ・算定実績について
5	H28. 8. 22	<ul style="list-style-type: none"> ・査定状況について ・DPCコーディングについての検討 ・算定実績について
6	H28. 9. 26	<ul style="list-style-type: none"> ・査定状況について ・DPCコーディングについての検討 ・算定実績について
7	H28. 10. 24	<ul style="list-style-type: none"> ・査定状況について ・DPCコーディングについての検討 ・算定実績について
8	H28. 11. 28	<ul style="list-style-type: none"> ・査定状況について ・DPCコーディングについての検討 ・算定実績について
9	H28. 12. 26	<ul style="list-style-type: none"> ・査定状況について ・DPCコーディングについての検討 ・算定実績について
10	H29. 1. 23	<ul style="list-style-type: none"> ・査定状況について ・DPCコーディングについての検討 ・算定実績について

診療報酬・DPC対策委員会

	開催日	報告・協議事項
11	H29. 2. 27	<ul style="list-style-type: none"> ・査定状況について ・DPCコーディングについての検討 ・算定実績について
12	H29. 3. 27	<ul style="list-style-type: none"> ・査定状況について ・DPCコーディングについての検討 ・算定実績について

薬事委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 4. 12	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急購入薬 ・院内、院外の新規採用薬の検討 ・院内削除薬の検討 ・ジェネリック薬への変更を検討する薬品 ・期限切れの薬剤の報告
2	H28. 6. 14	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急購入薬の報告 ・院内、院外の新規採用薬の検討 ・ジェネリック薬品の検討 ・院内削除薬の検討 ・期限切れ薬剤の報告
3	H28. 8. 9	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急購入薬の報告 ・院内、院外の新規採用薬の検討 ・ジェネリック薬品の検討 ・院内削除薬の検討 ・期限切れ薬剤の報告
4	H28. 10. 11	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急購入薬の報告 ・院内、院外の新規採用薬の検討 ・ジェネリック薬品の検討 ・院内削除薬の検討 ・期限切れ薬剤の報告
5	H28. 12. 13	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急購入薬の報告 ・院内、院外の新規採用薬の検討 ・ジェネリック薬品の検討 ・院内削除薬の検討 ・期限切れ薬剤の報告 ・20,000円以上の薬剤の取り扱いについて
6	H29. 2. 14	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急購入薬の報告 ・緊急に院外専用登録した薬剤の報告 ・院内、院外の新規採用薬の検討 ・ジェネリック薬品の検討 ・院内削除薬の検討 ・期限切れ薬剤の報告 ・後発医薬品の採用拡大について

診療材料適正化委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 6. 10	<ul style="list-style-type: none"> ・登録材料の定数増及び定数削減について ・新規購入について
2	H28. 3. 15	<ul style="list-style-type: none"> ・SPD物品について

クリニカルパス推進委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 5. 16	<ul style="list-style-type: none"> ・パス適応患者集計 ・改訂、修正パスについて ・血液・腫瘍内科 TC療法とR-CHOP療法パスの看護計画修正について ・産婦人科パスについて ・今年度の目標
2	H28. 7. 25	<ul style="list-style-type: none"> ・パス適応患者集計 ・改訂、修正パスについて ・アウトカムの設定について ・バリエーションの基準について
3	H28. 9. 26	<ul style="list-style-type: none"> ・パス適応患者集計 ・パス中止件数と中止理由の現状 ・アウトカム未評価件数 ・改訂、修正パスについて ・アウトカムが未評価であることへの対策について ・バリエーションの基準について ・2017NANDA看護診断について ・事例報告
4	H28. 11. 21	<ul style="list-style-type: none"> ・パス適応患者集計 ・パス中止件数と中止理由の現状 ・アウトカム未評価件数 ・改訂、修正パスについて ・中止パスの詳細について記入するファイルについて
5	H29. 1. 23	<ul style="list-style-type: none"> ・パス適応患者集計 ・パス中止件数と中止理由の現状の確認 ・アウトカム未評価件数 ・改訂、修正パスについて ・今年度の目標における未達成部分の確認
6	H29. 3. 27	<ul style="list-style-type: none"> ・パス適応患者集計 ・パス中止件数 ・アウトカム未評価件数 ・改訂、修正パスについて ・患者用パスについて ・パス作成の権限が終了する職員について

診療システム化推進委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 4. 22	<ul style="list-style-type: none"> ・サマリー記載率、完成率について
2	H28. 5. 27	<ul style="list-style-type: none"> ・サマリー記載率、完成率について ・同意書について ・システムバージョンアップについて
3	H28. 6. 24	<ul style="list-style-type: none"> ・サマリー記載率、完成率について
4	H28. 7. 22	<ul style="list-style-type: none"> ・サマリー記載率、完成率について ・メディパピルスに表示される死亡診断書の様式について ・院内ホームページについて ・部門システムのサーバー更新について
5	H28. 9. 23	<ul style="list-style-type: none"> ・サマリーの記載率、完成率について ・EFファイルの持参薬に関する入力機能について ・電子カルテシステム等の更新について
6	H28. 11. 25	<ul style="list-style-type: none"> ・サマリーの記載率、完成率について ・緊急時対応シミュレーションについて
7	H29. 1. 27	<ul style="list-style-type: none"> ・サマリーの記載率、完成率について ・緊急時対応シミュレーションについて ・電子カルテシステム定期更新について ・DPC入院情報入力画面変更について

診療システム化推進委員会

	開催日	報告・協議事項
8	H29. 2. 24	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応シミュレーションについて ・電子カルテへのスキャンについて
9	H29. 3. 24	<ul style="list-style-type: none"> ・サマリーの記載率・完成率について ・緊急時対応シミュレーションについて

手術室・中材運営委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 4. 18	<ul style="list-style-type: none"> ・術直後の家族説明のタイミングについて ・手術・輸血同意書について
2	H28. 5. 16	<ul style="list-style-type: none"> ・術後の病棟お迎えと申し送りの検討について ・手術室枠について
3	H28. 6. 20	<ul style="list-style-type: none"> ・火曜日の手術室枠について ・災害対策について
4	H28. 7. 25	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策について ・手術画像の録画、保管について ・術前後の抗凝固剤の投与状況について ・オンコール手術の入室時間決定について
5	H28. 8. 15	<ul style="list-style-type: none"> ・10月からの手術枠について ・時間外手術における院内対応の基本帳-チャート作成について
6	H28. 9. 26	<ul style="list-style-type: none"> ・麻酔覚醒後の体動による手術台からの店頭リスクについて ・手術目的の患者の入院時間について ・ゲプリールの当日依頼とキャンセルについて ・整形外科TKA症例のブロック注射及び硬膜外麻酔について ・外来で手術決定後の持参薬の確認について ・下肢動脈静脈血栓塞栓マニュアルの改訂について
7	H28. 10. 17	<ul style="list-style-type: none"> ・麻酔申込書の運用について ・CVポート、Vポートの依頼用紙の運用について ・下肢動脈静脈血栓塞栓マニュアルの改訂、予防調査票の運用について
8	H28. 11. 21	<ul style="list-style-type: none"> ・開業医依頼の手術における麻酔、手術同意書について ・手術室運用に関するルールについて ・手術、麻酔、CVなど手術に関する同意書の確認について
9	H28. 12. 19	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練について ・手術室枠の運用について ・CVポート、Vポートの依頼書の運用について ・同意書のチェックボックスについて ・手術室マニュアル診療局用の作成について
10	H29. 1. 16	<ul style="list-style-type: none"> ・手術当日の中止薬について ・婦人科手術枠変更について ・地震災害避難訓練実施結果報告および今後の課題について ・手術室看護記録アンケート結果報告について ・手術室患者満足度調査結果報告について
11	H29. 2. 20	<ul style="list-style-type: none"> ・手術当日に入院した患者の同意書について ・4月からの手術枠について ・手術室マニュアルについて
12	H29. 3. 27	<ul style="list-style-type: none"> ・手術当日に入院した患者の同意書について ・縫製ガーゼX導入について ・ラパロ下手術で使用する吸引洗浄システムについて ・ハイポアルコールの使用中止について

給食業務調整委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 5. 11	<ul style="list-style-type: none"> ・非日常報告 ・給食委員会の年間計画について ・移動食事画面について ・選択食拡大について
2	H28. 7. 6	<ul style="list-style-type: none"> ・非日常報告、年間計画現況報告 ・嚥下困難者へのお茶の形状の変更、試食について ・食事体験会の報告とつつじメニューの入れ替えについて ・災害時における炊き出し訓練の提案と各科応援依頼について
3	H28. 9. 7	<ul style="list-style-type: none"> ・非日常報告、年間計画現況報告 ・つつじメニューの入れ替えについて ・災害時における炊き出し訓練の提案と各科応援依頼について
4	H28. 12. 7	<ul style="list-style-type: none"> ・非日常報告、年間計画現況報告 ・つつじメニューの導入について ・災害時における炊き出し訓練の報告と試食について
5	H29. 2. 1	<ul style="list-style-type: none"> ・非日常報告、年間計画現況報告 ・医療監視の結果について ・次年度の目標について

学術研修委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 6. 29	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度実習生の受入れについて ・研究研修費の内訳について
2	H28. 12. 1	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時購入図書について ・年間購読の図書の購入について

質・環境向上委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 4. 28	<ul style="list-style-type: none"> ・機能評価指摘事項への回答回収状況について ・年間スケジュールについて
2	H28. 5. 26	<ul style="list-style-type: none"> ・患者満足度調査について
3	H28. 6. 23	<ul style="list-style-type: none"> ・患者満足度調査について
4	H28. 8. 25	<ul style="list-style-type: none"> ・患者満足度調査の途中経過について
5	H28. 10. 27	<ul style="list-style-type: none"> ・患者満足度調査の結果、比較、分析について

放射線科運営委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 4. 11	<ul style="list-style-type: none"> ・ペースメーカー埋込み患者さんのCT撮影（ICDを除く）について ・条件付MRI対応ペースメーカーの埋込患者の実施報告 ・検診業務のCDR作成依頼について ・MRI吸着事故について
2	H28. 5. 23	<ul style="list-style-type: none"> ・循環器内科のドック検診（心臓冠動脈CT）枠の増設について ・3D画像処理装置（ワークステーション）の更新に伴う診療科の要望について ・ペースメーカーの機種確認事項に関する電子カルテへの扱いについて

放射線科運営委員会

	開催日	報告・協議事項
3	H28. 6. 20	<ul style="list-style-type: none"> ・体幹部CTから椎体Saggital（矢状断）画像の再構成処理の追加について ・3D画像処理装置（ワークステーション）の4社の状況報告 ・造影CT、MRI検査の絶食の取り決め事項について ・胸部検診（X線単純撮影）の注意事項に関するパンフレットについて ・ペースメーカーの機種確認に関する電子カルテへの記録方法について ・CD-Rのコピー依頼に関する手段と実施について ・「他病院のフィルムをPACSへ取り込む依頼」についての取り決め事項について
4	H28. 7. 11	<ul style="list-style-type: none"> ・3Dワークステーションの4社の状況報告 ・造影時の問診票の有効期限と予約可能期間について
5	H28. 8. 22	<ul style="list-style-type: none"> ・3Dワークステーションの4社の状況報告 ・DIC-CT検査（外来患者）の説明書とオーダ時の指示の変更について ・バリウム製剤、発泡剤の在庫管理の変更について ・CD-R受け取り手順について ・PACSサーバのHDD容量増設スケジュールについて
6	H28. 9. 26	<ul style="list-style-type: none"> ・3Dワークステーションの運用方法の方針 ・PACSサーバのHDD容量増設スケジュールの最終確認とCT定期点検について ・CD-R受け取りの手順について ・造影CT、MRIの問診票、同意書の有効期限について ・単純CT、MRIの予約可能期間について
7	H28. 10. 26	<ul style="list-style-type: none"> ・造影CT、MRのI予約可能期間について ・透視・造影検査の予約締め切り時間について ・CD-R受け取り用紙について
8	H28. 11. 28	<ul style="list-style-type: none"> ・3Dワークステーションの見積もりについて ・平成29年度医療機器更新要求について
9	H28. 12. 21	<ul style="list-style-type: none"> ・3Dワークステーションの4社の最終比較 ・平成29年度医療機器更新要求について ・患者アンケート調査を受けて ・当日患者が持参したCD-Rの取り込みについて
10	H29. 1. 30	<ul style="list-style-type: none"> ・3Dワークステーションの更新機器について ・X線TV装置の更新機器について ・当日患者が持参したCD-Rの取り込みについて ・CD-R取り込みオーダーについて ・造影CT、MRI枠の増設について ・ジェネリック造影剤の変更について
11	H29. 2. 27	<ul style="list-style-type: none"> ・日立社製X線TV装置の導入スケジュールについて ・CR装置メンテナンスについて ・CT装置メンテナンスについて
12	H29. 3. 27	<ul style="list-style-type: none"> ・日立社製X線TV装置の導入について ・富士3Dワークステーション（VINCENT）の設置について ・放射線科読影医師の変更に伴う運営の変更について ・Stress撮影用器具（Telos）の運用について

安全衛生委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 4. 18	<ul style="list-style-type: none"> ・抗体価調査、麻疹風疹ワクチン接種、B型肝炎ワクチン平成27年度3回目の接種について ・平成28年度職員定期健康診断について ・医師の当直回数（平成28年3月分）
2	H28. 5. 16	<ul style="list-style-type: none"> ・職場巡視報告 ・抗体価調査・T-SPOT検査および麻疹風疹ワクチン接種について ・B型肝炎ワクチン平成27年度3回目の接種について ・平成28年度職員定期健康診断 ・医師の当直回数（平成28年4月分）

安全衛生委員会

	開催日	報告・協議事項
3	H28. 6. 20	<ul style="list-style-type: none"> ・職場巡視報告 ・麻疹、風疹ワクチン接種について ・平成28年度職員定期健康診断について ・医師の当直回数（平成28年5月分）
4	H28. 7. 11	<ul style="list-style-type: none"> ・麻疹、風疹ワクチン接種について ・平成28年度職員定期健康診断の進捗状況について
5	H28. 8. 15	<ul style="list-style-type: none"> ・職場巡視報告（2階病棟、リハビリテーション科） ・麻疹・風疹ワクチン接種について ・平成28年度職員定期健康診断の進捗状況について
6	H28. 9. 12	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスチェックアンケート実施について ・今後のワクチン接種について ・平成28年度職員定期健康診断の進捗状況について ・特殊健康診断につて
7	H28. 10. 17	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスチェックアンケート実施について ・今後のワクチン接種について ・平成28年度職員定期健康診断の進捗状況について ・特殊健康診断について
8	H28. 11. 21	<ul style="list-style-type: none"> ・職場巡視報告（3階東病棟、3階西病棟、医事課） ・今後のワクチン接種について ・平成28年度職員定期健康診断 進捗状況
9	H28. 12. 12	<ul style="list-style-type: none"> ・職場巡視報告（総務課、4階東病棟、4階西病棟） ・ストレスチェックアンケート結果返却について ・超勤時間過多の職員への対応について ・医師の当直回数（11月分）について
10	H29. 1. 16	<ul style="list-style-type: none"> ・深夜業務従事者健診について ・二次健診の受診状況について ・医師の当直回数（12月分）について
11	H29. 2. 20	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度ストレスチェック組織診断結果について ・医師の当直回数（1月分）について
12	H29. 3. 13	<ul style="list-style-type: none"> ・職場巡視報告（臨床検査科、薬剤科）について ・特定健康診断の実施について ・平成29年度職員定期健康診断の実施について ・医師の当直回数（2月分）について

医療ガス安全管理委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H29. 1. 23	<ul style="list-style-type: none"> ・点検結果報告 ・ボンベ所在報告 ・責任者選出について

医療廃棄物管理委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 6. 17	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理量について ・感染性廃棄物処理計画書（平成28年度版）の確認について ・感染性・非感染性廃棄物分別方法について

輸血療法委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 5. 19	<ul style="list-style-type: none"> ・3月、4月の製材使用状況（RBC, PC, ALB/RBC, 廃棄率など） ・副作用報告 ・検査科より
2	H28. 7. 21	<ul style="list-style-type: none"> ・5月、6月の製材使用状況（RBC, PC, ALB/RBC廃棄率など） ・副作用報告 ・検査科より
3	H28. 9. 15	<ul style="list-style-type: none"> ・7月、8月の製材使用状況（RBC, PC, ALB/RBC廃棄率など） ・副作用報告 ・検査科より
4	H28. 11. 17	<ul style="list-style-type: none"> ・9月、10月の製材使用状況（RBC, PC, ALB/RBC廃棄率など） ・副作用報告 ・検査科より
5	H29. 1. 19	<ul style="list-style-type: none"> ・11月、12月の製材使用状況（RBC, PC, ALB/RBC廃棄率など） ・副作用報告 ・検査科より
6	H29. 3. 16	<ul style="list-style-type: none"> ・1月、2月の製材使用状況（RBC, PC, ALB/RBC廃棄率など） ・副作用報告 ・検査科より

臨床研修管理委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 7. 29	<ul style="list-style-type: none"> ・初期臨床研修医採用試験について ・プログラム内容変更について ・レポート提出状況について

臨床検査適正化委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 6. 9	<ul style="list-style-type: none"> ・検体検査管理加算請求状況について ・内部精度管理について
2	H28. 12. 22	<ul style="list-style-type: none"> ・検体検査管理加算請求状況について ・内部精度管理、外部精度管理報告書について

医師職等処遇改善検討委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H29. 4. 25	<ul style="list-style-type: none"> ・医師職負担軽減の平成28年度計画達成状況および平成29年度目標について ・看護職負担軽減の平成28年度計画達成状況および平成29年度目標について

糖尿病教室

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 4. 8	<ul style="list-style-type: none"> ・4月以降の教室について ・CGM成績報告書について
2	H28. 5. 12	<ul style="list-style-type: none"> ・5月以降の教室について ・CGM成績報告書について
3	H28. 6. 10	<ul style="list-style-type: none"> ・7月以降の教室について

糖尿病教室

	開催日	報告・協議事項
4	H28. 9. 9	<ul style="list-style-type: none"> ・7月、9月の教室の報告 ・10月以降の教室について ・療養講座、患者会について
5	H28. 10. 14	<ul style="list-style-type: none"> ・10月の教室の報告 ・11月以降の教室について ・療養講座、患者会について
6	H28. 11. 11	<ul style="list-style-type: none"> ・11月の教室の報告 ・12月以降の教室について ・療養講座、患者会について
7	H28. 12. 9	<ul style="list-style-type: none"> ・12月の教室の報告 ・1月以降の教室について ・平成29年度計画について
8	H29. 1. 13	<ul style="list-style-type: none"> ・1月の教室の報告 ・2月以降の教室について ・平成29年度計画について
9	H29. 2. 10	<ul style="list-style-type: none"> ・2月の教室の報告 ・3月以降の教室について ・平成29年度計画について ・臨床検査科より
10	H29. 3. 10	<ul style="list-style-type: none"> ・3月の教室の報告 ・4月以降の教室について ・透析予防指導管理について

院内開業調整委員会

	開催日	報告・協議事項
1	H28. 6. 6	<ul style="list-style-type: none"> ・入院患者の導尿について ・周術期の口腔ケアに関する紹介の時期について ・院内と院内開業診療所を繋ぐドアについて
2	H28. 9. 5	<ul style="list-style-type: none"> ・山内歯科の講堂使用について ・自動ドアの閉める時間と休日の院内開業までの導線について
3	H28. 12. 5	<ul style="list-style-type: none"> ・検査データの違いについて ・休日の院内開業までの導線について

講座等活動実績

【市民向け講座等】

がんフォーラム

項 目	開催日	開催場所	参加人数
がんフォーラム2016 「がんと共存 よりよく生きる ～がん患者のQOL（生活の質）向上を目指して～」	9月17日	ルナ・ホール	400名

ホスピタルフェスタ

項 目	開催日	開催場所	参加人数
あしやホスピタルフェスタ2016	11月6日	市立芦屋病院	700名

公開講座

項 目	開催日	開催場所	参加人数
これからのがん治療～芦屋病院の役割～	4月9日	芦屋市民センター	69名
これからの歯科治療について～開業10周年を迎えて～	5月7日		59名
飲み込みにくいと感じたら	6月4日		38名
出張！糖尿病教室～糖尿病と神経障害～	7月2日		46名
中高年における排尿障害～院内開業10周年企画～	8月6日		75名
心不全と食事～おいしく節塩～	9月3日		52名
人間ドックについて～健やかに生きるために～	10月8日		39名
あなたの骨は大丈夫？～コツコツと学ぶ骨粗鬆症のお話～	11月5日		64名
骨盤臓器脱のお話～子宮・膀胱が下がる病気～	12月3日		56名
認知症の症状と治療 認知症～その人の視点に立って～	1月7日		73名
消化器内視鏡検査のお話	2月4日		73名
今、増え続けている大腸癌～その現状と治療法～	3月4日	47名	

糖尿病教室

項 目	開催日	開催場所	参加人数
糖尿病治療・療養について	4月8日	市立芦屋病院	24名
食事療法～はじめの一步～ 薬物療法	5月13日		31名
臨床検査 食事療法～水分～	6月10日		29名
出張！糖尿病教室～糖尿病と神経障害～	7月2日	芦屋市民センター	46名
食事療法～糖質に注目したカーボカウント法とは？～ 糖尿病と眼の病気	9月9日	市立芦屋病院	22名
運動療法 食事療法～間食・外食も怖くない！～	10月14日		25名

糖尿病教室

項 目	開催日	開催場所	参加人数
世界糖尿病デー記念ミニイベント 糖尿病の最新治療他	11月11日	市立芦屋病院	23名
シックデイ 糖尿病の検査2	12月9日		23名
糖尿病合併症 食事療法～糖尿病性腎症の食事～	1月13日		41名
運動療法 外来看護師おすすめ、上手な受診のすすめ 薬物療法	2月10日		33名
糖尿病総まとめ	3月10日		43名

院内コンサート

項 目	開催日	開催場所
ほのぼのコンサート	月1回	市立芦屋病院
マチネーコンサート	月1回	
講堂コンサート	6月12日 12月18日 3月5日	

その他

項 目	開催日	開催場所
芦屋さくらまつり	4月2日 4月3日	芦屋川付近
休日がん検診	10月2日 2月19日	市立芦屋病院
子育て支援活動「あいあい」「カンガルー」	月1回	市立芦屋病院

【医療従事者向け講座等（地域医療機関含む）】

芦屋緩和ケア研修会

項 目	開催日	開催場所	参加人数
第11回芦屋緩和ケア研修会 ～芦屋を緩和ケアの中心に～	4月21日	市立芦屋病院	174名
ベッドサイドで発痛メカニズムを見抜いて鎮痛計画を立てる	2月16日		91名

医療安全研修会

項 目	開催日	開催場所	参加人数
薬剤から学ぶ薬物相互作用と医療倫理	7月5日 7月19日	市立芦屋病院	282名
元吉本芸人から学ぶ！ 最強の医療コミュニケーション「なんでやねん力！」	8月2日		135名
医療紛争を回避する為の説明と同意	11月25日		138名

医療安全研修会

項 目	開催日	開催場所	参加人数
資質管理の重要性 医療事故の裁判例-看護師の注意義務を中心に-	1月26日	市立芦屋病院	127名
情報セキュリティについて	2月28日		30名
医療紛争を回避する為の説明と同意	3月17日		11名

院内感染対策研修会

項 目	開催日	開催場所	参加人数
病院感染対策のいろは	6月7日 6月13日	市立芦屋病院	278名
職業感染対策～針刺し切創・血液曝露を中心に～ 業務災害について	9月8日 1月17日		218名
基本から考える感染症診療	11月22日		129名
感染予防について考えよう	12月16日		74名
感染対策の現状と看護師ができる改善点	2月9日		29名

地域連携研修会

項 目	開催日	開催場所
心不全フォーラム	12月15日	ホテル竹園
第1回CPC「2型糖尿病、心不全の治療経過中に胸水貯留、呼吸困難を認めた1例」	3月16日	市立芦屋病院
第17回東灘区病診連携学術集談会	2月18日	東灘区医師会
第18回芦屋市地域医療連絡会	3月25日	ホテル竹園

その他

項 目	開催日	開催場所	参加人数
保険診療に関する講習 保険診療の理解のために	9月27日 10月25日	市立芦屋病院	85名
消防訓練	12月14日		47名
管理職研修（勤務条件等）	1月24日 1月31日		24名
ハラスメント研修	1月30日		37名

【各種広報活動】

広報あしや 掲載コラム

内 容	掲載日
人間ドックについて	4月15日
6月に体組成分析装置が導入されます！	5月15日
臨時号「芦屋病院特集」病気と共存 他	6月15日
外科の特色と専門外来	9月15日
リハビリテーション外来について	11月15日

広報あしや 掲載コラム

内 容	掲載日
睡眠時無呼吸症候群かどうか調べてみませんか？	1月15日
眼の健康を調べませんか	3月15日

芦屋市広報番組「あしやトライアングル」(J-COMケーブルテレビ)

内 容	放送日
お知らせ「がんフォーラム2016」	9月前半
特集「姉妹都市交流55周年記念事業 (モンテペロ市ビバリー病院へ看護師派遣インタビュー)」	9月後半
お知らせ「あしやホスピタルフェスタ2016」	10月前半
特集「芦屋病院 人工関節センターの開設」	11月後半
特集「受けてみませんか 人間ドック」	2月前半

市立芦屋病院だより 「HOPE plus」

内 容	掲載日
<ul style="list-style-type: none"> ・新病院長 ごあいさつ ・新任Drのご紹介 ・教えてDr！「生理の量は多いですか？」 ・「転倒しない・させない」をモットーに 	4月1日
<ul style="list-style-type: none"> ・人工関節で歩こう！ ～ひざ痛で寝たきりにならないために～ ・教えてDr！「乳腺専門外来について」 ・体組成分析装置（InBody）で自分のからだを知りましょう！ 	7月1日
<ul style="list-style-type: none"> ・新任Drのご紹介 ・整形外科よりお知らせ ～人工関節センターがスタートします～ ・認定Nsのご紹介 ・市立芦屋病院・県立西宮病院「周産期ネットワークシステム」について 	10月1日
<ul style="list-style-type: none"> ・事業管理者新年あいさつ「ゆらぐグローバルズム」 ・教えてDr！ 「禁煙外来へようこそ！～一緒に治療を始めませんか？～」 ・1.17を忘れない～市立芦屋病院の災害備蓄食について～ ・インターネットを活用した地域連携が始まっています ～病診連携システムのご紹介～ 	1月4日

市立芦屋病院 地域連携室だより 「UP TO DATE」

内 容	掲載日
特別号「医師・病棟・コメディカルスタッフ紹介」	6月発行
・診療科紹介：整形外科～人工関節センターについて～	8月発行
<ul style="list-style-type: none"> ・診療科紹介：糖尿病内科～糖尿病治療について～ ・骨密度測定（DEXA検査）の紹介 ・H28.9月より緩和ケア内科医師が1名増員しました！ 	10月発行

研究発表・論文等

芦屋クリニカルカンファレンス

開催日時	座長	発表者	演題	会場
2016. 4. 26	竹田 晃	竹田 晃	ピロリ除菌2016	芦屋市医師会館
		中嶋真一郎	がんを持ち人を見るースピリチュアルペインを中心にー	
2016. 5. 31	水谷 伸	田守登茂治	術前診断困難であった空腸間膜動脈瘤の一例	
		加来聡一郎	真性多血症による二次性骨髄線維症の経過中、進行性肝萎縮および門脈圧亢進症をきたした一例	
2016. 6. 28	松梨達郎	佐々木絢子	急性転化にて発症した慢性骨髄性白血病の一例	
		河本 悠 西岡 彩 松谷 聡 神崎暁慶 角田 拓 片岡政子 紺屋浩之	認知症を合併した高齢糖尿病症例の治療について	
2016. 7. 26	紺屋浩之	高橋典子	TAPP法にて修復し得た陰のうまで達する膀胱ヘルニアの1例	
		佐々木絢子 神崎暁慶 間瀬浩史 西岡 彩 松谷 聡 片岡政子 紺屋浩之	高齢者の低ナトリウム血症の原因と対処法	
2016. 9. 27	白鹿正通	大舘たかえ	癌性髄膜炎で発症し、エルロチニブが奏功した肺腺癌の1例	
		清水憲政 名和 巖	当院での骨粗鬆症治療	
2016. 10. 25	木村俊夫	池田公一郎	大腸悪性狭窄に対する大腸ステント療法	
		木村俊夫 銭 鴻武	骨盤臓器脱ー最近の流れと当院の治療成績ー	
2016. 11. 29	森田 拓	佐々木絢子	EST不可能であった総胆管結石に対する腹腔鏡下総胆管切開切石術の一例	
		森田 拓	学習障害への対応ー当院学習支援外来を通してー	
2017. 1. 31	北川泰生	木俵米一 神崎暁慶 間瀬浩史 西岡 彩 松谷 聡 片岡政子 紺屋浩之	糖尿病ケトアシドーシスに乳酸アシドーシスが合併した1例	

開催日時	座 長	発表者	演 題	会 場
2017. 1. 31	北川泰生	高橋典子 伊阪大二 北川泰生	巨大卵巣癌の摘出後にショックをきたした一例	芦屋市医師会館
2017. 2. 28	三方彰喜	佐々木亨	当院における開腹歴のない小腸イレウス7症例の検討	
		今井教仁	水痘帯状疱疹ウイルスにより嚥下障害を呈した症例－VFを用いた嚥下機能の観察－	
2017. 3. 28	西浦哲雄	谷畑桃李	急性骨髄性白血病 (MDS overt AML) の治療中に大量の喀血にて死亡した1例	
		池田譲太	骨密度測定・DXA法の紹介－市立芦屋病院の実情・実績も踏まえて－	

医局論文発表
内科

著者	題名	雑誌名	巻号
松谷 聡 矢野雄三 片岡政子 紺屋浩之	意識障害を契機に発見され、一度安定するも敗血症による死亡の転帰を辿った汎下垂体機能不全症の1例	日本内分泌学会雑誌	92巻1号 Page299、2016
西岡 彩 松谷 聡 矢野雄三 片岡政子 紺屋浩之	食欲旺盛な高齢2型糖尿病患者におけるGLP-1受容体作動薬の有用性について	芦屋市医師会会報	225号Page15-16、2016
田村 宏 矢野雄三 松谷 聡 片岡政子 上田一仁 倉留久隆 澤田かおる 上山涼子 紺屋浩之	高齢期のサルコペニア症例に対してレジスタンス運動が効果的であった一経験	糖尿病	59巻Suppl. 1 PageS-269、2016
西岡 彩 松谷 聡 矢野雄三 加隈愛子 澤田かおる 角田 拓 松尾俊宏 倉留久隆 上田一仁 森田美治代 番田由紀子 三村 恵 松若昌代 田村 宏 上山涼子 富島智子 臼井健郎 片岡政子 紺屋浩之	当院におけるSGLT2阻害薬の臨床的効果、安全性、栄養指導の効果についての検討	糖尿病	59巻Suppl. 1 PageS-365、2016
片岡政子 三村 恵 松若昌代 森田美治代 番田由紀子 西岡 彩 松谷 聡 矢野雄三 角田 拓 松尾俊宏 倉留久隆 上田一仁 田村 宏 上山涼子 富島智子 加隈愛子 澤田かおる 臼井健郎 紺屋浩之	当院における糖尿病患者の足病変の特徴とフットケア外来でのアセスメントについての検討	糖尿病	糖尿病59巻Suppl. 1 PageS-410、2016

著 者	題 名	雑 誌 名	巻 号
澤田かおる 加隈愛子 倉留久隆 上田一仁 番田由紀子 三村 恵 松若昌代 西岡 彩 松谷 聡 矢野雄三 片岡政子 紺屋浩之	1型糖尿病患者の活動量が血糖変動に与える影響について	糖尿病	59巻Suppl. 1 PageS-424、2016
片岡政子 加来聡一朗 松谷 聡 矢野雄三 紺屋浩之	様々な病態を示唆する非若年発症1型糖尿病の症例	糖尿病	59巻7号 Page498、2016
澤田かおる 加隈愛子 番田由紀子 西岡 彩 間瀬浩史 神崎暁慶 松谷 聡 片岡政子 紺屋浩之	SAP 療法導入目的で入院した 1 型糖尿病患者の栄養管理	日本病態栄養学会誌	20巻Suppl. PageS-226、2016

産婦人科

著 者	題 名	雑 誌 名	巻 号
木村俊夫 錢 鴻武	女性骨盤内臓器の支持組織の再検討 (前腔壁の支持と靭帯について)	日本女性骨盤底医学会誌	VOL. 13 2016

医局学会発表

内科

発表者	演題	学会名	月日
松谷 聡 矢野雄三 片岡政子 紺屋浩之	意識障害を契機に発見され、一度安定するも敗血症による死亡の転帰を辿った汎下垂体機能不全症の1例	第89回日本内分泌学会学術総会	2016. 4. 21-23
田村 宏 矢野雄三 松谷 聡 片岡政子 上田一仁 倉留久隆 澤田かおる 上山涼子 紺屋浩之	高齢期のサルコペニア症例に対してレジスタンス運動が効果的であった一経験	第59回日本糖尿病学会年次学術集会	2016. 5. 19-21
西岡 彩 松谷 聡 矢野雄三 加隈愛子 澤田かおる 角田 拓 松尾俊宏 倉留久隆 上田一仁 森田美治代 番田由紀子 三村 恵 松若昌代 田村 宏 上山涼子 富島智子 臼井健郎 片岡政子 紺屋浩之	当院におけるSGLT2阻害薬の臨床的効果, 安全性, 栄養指導の効果についての検討	第59回日本糖尿病学会年次学術集会	2016. 5. 19-21
片岡政子 三村 恵 松若昌代 森田美治代 番田由紀子 西岡 彩 松谷 聡 矢野雄三 角田 拓 松尾俊宏 倉留久隆 上田一仁 田村 宏 上山涼子 富島智子 加隈愛子 澤田かおる 臼井健郎 紺屋浩之	当院における糖尿病患者の足病変の特徴とフットケア外来でのアセスメントについての検討	第59回日本糖尿病学会年次学術集会	2016. 5. 19-21
西本哲郎	緩和ケアチームセルフチェックプログラムを試行して	第21回日本緩和医療学会学術大会 専門的・横断的緩和ケア推進委員会企画 緩和ケアチームフォーラム	2016. 6. 18

発表者	演題	学会名	月日
加来聡一郎 臼井健郎 池田公一郎 竹村忠晴 竹田 晃	真性多血症による二次性骨繊維症の経過中進行性肝萎縮および門脈圧亢進症を来した一例	日本内科学会第213回近畿地方会	2016. 6. 25
澤田かおる 加隈愛子 倉留久隆 上田一仁 番田由紀子 三村 恵 松若昌代 西岡 彩 松谷 聡 矢野雄三 片岡政子 紺屋浩之	1型糖尿病患者の活動量が血糖変動に与える影響について	第59回日本糖尿病学会年次学術集会	2016. 5. 19-21
加隈愛子 澤田かおる 今井教仁 小嶋和絵 紺屋浩之	重度嚥下障害を急性発症した患者に自己挿入OE法を導入し栄養指導を行った一症例	第8回日本静脈経腸栄養学会近畿支部学術集会	2016. 7. 2
高橋典子 臼井健郎 池田公一郎 竹村忠晴 竹田 晃	自然退縮したと考えられる肝細胞癌の一例	日本消化器病学会第105回近畿支部例会	2016. 9. 17
加来聡一郎 臼井健郎 池田公一郎 竹村忠晴 竹田 晃	有効な化学療法後に内瘻化・経口摂取可能となった原発性胆嚢癌による十二指腸および総胆管閉塞の一例	日本消化器病学会第105回近畿支部例会	2016. 9. 17
今井教仁 杉下周平 小嶋和絵 片岡政子 竹田 晃	水痘帯状疱疹ウイルスにより嚥下障害を呈した症例 - VFを用いた嚥下機能の観察	第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	2016. 9. 24
杉下周平 今井教仁 小嶋和絵 松井利浩	直接訓練に干渉波電気治療器（ジェントルスティム）を併用したことで訓練効果が得られた症例	第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	2016. 9. 24
神崎曉慶 河本 悠 西岡 彩 松谷 聡 角田 拓 金井菜穂子 片岡政子 紺屋浩之	認知症を併発した高齢糖尿病患者への全人的医療介入を試みた1例	第53回日本糖尿病学会近畿地方会	2016. 11. 12
神崎曉慶 佐々木絢子 西岡 彩 間瀬浩史 松谷 聡 片岡政子 紺屋浩之	高齢女性における低Na血症が重症化した1例	第214回日本内科学会近畿地方会	2016. 12. 3

発表者	演題	学会名	月日
澤田かおる 加隈愛子 番田由紀子 西岡 彩 間瀬浩史 神崎暁慶 松谷 聡 片岡政子 紺屋浩之	SAP 療法導入目的で入院した 1 型糖尿病患者の栄養管理	第20回日本病態栄養学会 年次学術集会	2017. 1. 13-15
木俵米一 神崎暁慶 間瀬浩史 西岡 彩 松谷 聡 片岡政子 紺屋浩之	DKAに乳酸アシドーシスを合併した1例	第215回日本内科学会近畿 地方会	2017. 3. 25
高橋典子 松谷 聡 間瀬浩史 西岡 彩 神崎暁慶 片岡政子 紺屋浩之	造影CTで診断できず、MRIで診断した化膿性脊椎炎の1例	第215回日本内科学会近畿 地方会	2017. 3. 25

外科

発表者	演題	学会名	月日
田守登茂治 三方彰喜 浦野尚美 村上雅一 水谷 伸	巨大食道裂孔ヘルニアに対する腹腔鏡下ヘルニア修復術の一例	第29回近畿内視鏡外科学会	2016. 9. 10
浦野尚美 佐々木亨 田守登茂治 三方彰喜 水谷 伸	TAPP法にて修復した陰嚢まで達する膀胱ヘルニアの1例	第29回日本内視鏡外科学会	2016. 12. 8- 12. 10
佐々木亨 田守登茂治 浦野尚美 村上雅一 三方彰喜 水谷 伸	腸重積症を合併した回腸Inflammatory fibroid polypの一例	第53回日本腹部救急医学会 総会	2017. 3. 2-3. 3

産婦人科

発表者	演題	学会名	月日
木村俊夫 銭 鴻武 天満久美子 宮本愛子 佐治文隆	骨盤臓器脱に対する前腔壁切開から仙棘靭帯へのアプローチの解剖（前方アプローチによる仙棘靭帯固定術の解剖）	第104回日本泌尿器科学会	2016. 4. 23-25
銭 鴻武	子宮内膜症性疼痛に対する腹腔鏡下手術の実際～拡大視野を活かして骨盤深部に迫る～	阪神エリア子宮内膜症研究会	2016. 6. 1

発表者	演題	学会名	月日
木村俊夫 錢 鴻武 天満久美子 宮本愛子 佐治文隆	重症直腸脱を合併した完全骨盤臓器脱に対する経会陰手術 TVM変法とNTRの同時施行	第134回近畿産科婦人科学会総会	2016. 6. 4-5
木村俊夫 錢 鴻武 天満久美子 宮本愛子 佐治文隆	前腔壁切開による仙棘靭帯到達法（前方アプローチ）の解剖	第18回日本女性骨盤底医学会	2016. 11-12
錢 鴻武 木村俊夫	LSCの後壁メッシュはNTRで代用できるか	第18回日本女性骨盤底医学会	2016. 6. 11-12
木村俊夫 錢 鴻武 天満久美子 宮本愛子 佐治文隆	重症直腸脱を合併した完全骨盤臓器脱に経膈手術を行った2症例 TVM変法とNTRの同時施行	第90回兵庫県産科婦人科学会	2016. 7. 3
錢 鴻武 木村俊夫 天満久美子 宮本愛子 佐治文隆	腹腔鏡下子宮内膜症病巣切除術の術式の工夫とその有用性について	第90回兵庫県産科婦人科学会	2016. 7. 3
木村俊夫 錢 鴻武 天満久美子 宮本愛子 佐治文隆	腹腔鏡術後腹壁血腫の診断、治療方針に造影CTが有効であった総腸骨血栓合併卵巣嚢腫	第56回日本産婦人科内視鏡学会	2016. 9. 1-3
錢 鴻武 木村俊夫 天満久美子 宮本愛子 佐治文隆	巨大頸部筋腫に対する腹腔鏡下子宮全摘術の工夫	第56回日本産婦人科内視鏡学会	2016. 9. 1-3
錢 鴻武 木村俊夫	腹腔鏡下仙骨腔固定術（LSC）にNative tissue repair（NTR）を併施することで後壁メッシュは省略できる	第56回日本産婦人科内視鏡学会	2016. 9. 1-3
木村俊夫 錢 鴻武 天満久美子 宮本愛子 佐治文隆	A-TVM施行時の後腔壁縫縮・会陰形成と排便機能	第39回日本産婦人科手術学会	2016. 11. 12-13
錢 鴻武 木村俊夫	腹腔鏡下子宮全摘術（TLH）において膀胱脚と膀胱下腹筋膜の処理を定型化することで尿管損傷を回避する	第29回日本内視鏡外科学会総会	2016. 12. 8-10
木村俊夫 錢 鴻武 天満久美子 宮本愛子 佐治文隆	骨盤臓器脱症例に対し前腔壁メッシュと後腔壁縫縮・会陰形成術を行った症例の術後成績	第11回日本骨盤臓器脱手術学会	2017. 3. 11-12

研究会および院外講演会

内科

発表者	演題	学会名	月日
西岡 彩	当院におけるSGLT2阻害薬の臨床的効果, 安全性, 栄養指導の効果についての検討	第7回Research Brush Up Conference	2016. 5. 14
中嶋真一郎	緩和ケア研修会講演	第8回近畿大学PEACE緩和ケア研修会	2016. 5. 15
加来聡一朗 臼井健郎 池田公一郎 竹村忠晴 竹田 晃	真性多血症による二次性骨繊維症の経過中進行性肝萎縮および門脈圧亢進症を来した一例	阪神メディカルオンコロジー研究会	2016. 5. 19
中嶋真一郎	緩和ケア研修会講演	高槻赤十字病院 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会	2016. 5. 22
紺屋浩之	今日からできる認知症予防～認知症と生活習慣病の関係って!?!～	平成28年度一般財団法人 芦屋ハートフル福祉公社 福祉講演会	2016. 5. 28
中嶋真一郎	緩和ケア研修会講演	泉大津市立病院 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会	2016. 6. 30
片岡政子	出張! 糖尿病教室～糖尿病と神経障害	芦屋病院公開講座	2016. 7. 2
紺屋浩之	最新の糖尿病治療	(株)三和科学研究所 社内勉強会	2016. 7. 14
紺屋浩之	糖尿病合併高血圧管理について	芦屋高血圧治療研究会	2016. 7. 28
紺屋浩之	糖尿病治療のリノベーション	興和創薬株式会社社内講演会	2016. 8. 5
西本哲郎	緩和ケア医が知っておくべき新規抗がん剤について	第72回兵庫緩和ケア研究会	2016. 8. 24
片岡政子	当院における脳卒中の治療	オープンセミナー in ASHIYA	2016. 9. 10
西本哲郎	がんとの向き合い方を考える ～これからの抗がん剤治療のあり方～	2016がんフォーラム がん と共存 よりよく生きる～ がん患者のQOL (生活の 質) 向上を目指して～	2016. 9. 17
中嶋真一郎	地域で支える緩和ケア～早期からの介入～	2016がんフォーラム がん と共存 よりよく生きる～ がん患者のQOL (生活の 質) 向上を目指して～	2016. 9. 17
西本哲郎	多発性骨髄腫について～市立芦屋病院での経験～	セルジーン社 社内研修会	2016. 9. 29
中嶋真一郎	グリーフケアを考える	芦屋病院第1回グリーフケアを考える会	2016. 10. 29
神崎暁慶	認知症を併発した高齢糖尿病患者への全人的医療介入を試みた1例	第8回Research Brush Up Conference	2016. 11. 5
西本哲郎	緩和ケア研修会講演	公立豊岡病院 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会	2016. 11. 26-27

発表者	演 題	学 会 名	月 日
片岡 政子	認知症の症状と治療	芦屋病院公開講座	2017. 1. 7
神崎 暁慶	脂質管理の重要性	芦屋医療安全講演会	2017. 1. 26
西本 哲郎	緩和ケア研修会講師	西宮市立中央病院 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会	2017. 1. 29
西本哲郎	抗がん剤は『敵』か『味方』か ～抗がん剤のやめどきを考える～	第5回港島緩和ケア連携カンファレンス	2017. 2. 9
中嶋真一郎	緩和ケア研修会講師	市立豊中病院 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会	2017. 2. 12
山下由紀子	自家移植後早期に進行をきたしたCD30陽性濾胞性リンパ腫に対しブレントキシマブベドチンが奏功した一例	第3回椿の会	2017. 2. 17
高橋典子 間瀬浩史 松谷 聡 片岡政子 紺屋浩之	化膿性脊椎炎の病勢によりインスリン必要量が大幅に変化した2型糖尿病の一例	糖尿病エキスパートミーティング	2017. 3. 10
片岡政子	当院における認知症診療へのアプローチについて	芦屋市医師会平成28年度認知症・介護保険研修会	2017. 3. 16
松谷 聡	DPP-4阻害薬の特性と臨床疑問	第18回芦屋市地域医療連絡会	2017. 3. 25
間瀬浩史 松谷 聡 神崎暁慶 片岡政子 紺屋浩之 中嶋真一郎	糖尿病診療と緩和ケア医療について	第13回西宮糖尿病フォーラム	2017. 3. 30

外科

発表者	演 題	学 会 名	月 日
村上雅一	「今、増え続ける大腸癌」～その現状と治療法	芦屋病院公開講座	2017. 3. 4

産婦人科

発表者	演 題	学 会 名	月 日
錢 鴻武 木村俊夫	常勤医2名の小規模産婦人科が生き残るためには～顧客のニーズは大型スーパーではなく、専門店街にあり～	東灘医師会病診連携集談会	2017. 2. 18

院内講演会

内科

発表者	演 題	学 会 名	月 日
神崎暁慶	糖尿病ことはじめ	糖尿病教室	2016. 4. 8
紺屋浩之	栄養管理の重要性と投与経路の選択	NST院内研修会	2016. 6. 16
神崎暁慶	サルコペニアについて 総論	NST院内研修会	2016. 10. 20

発 表 者	演 題	学 会 名	月 日
紺屋浩之	糖尿病の新しい治療について	糖尿病教室	2016. 11. 11
紺屋浩之	当院での糖尿病治療方針	市立芦屋病院 糖尿病治療 における病薬連携の会	2016. 12. 12
間瀬浩史	糖尿病の合併症について	糖尿病教室	2017. 1. 13
紺屋浩之	インスリン治療の注意点	医療安全委員会	2016. 1. 24
佐々木絢子 高橋典子 高尾 幸 紺屋浩之 渡邊隆弘	2型糖尿病, 心不全の経過中に胸水貯留, 呼吸困難を認めた1例	市立芦屋病院CPC(臨床病理 検討会)	2017. 3. 16

薬剤科 論文発表等

著 者	題 名	雑 誌 名	巻 号
Miyashita M Aoyama M Nakahata M Yamada Y Abe M Yanagihara K Shirado A Shutoh M Okamoto Y Hamano J Miyamoto A Yoshida S Sato K Hirai K Morita T	Development the Care Evaluation Scale Version 2.0: a modified version of a measure for bereaved family members to evaluate the structure and process of palliative care for cancer patient.	BMC Palliat Care	2017 Jan 23;16(1):8
高橋理智 森田達也 服部政治 上野博司 岡本禎晃 伊勢雄也 宮下光令 細川豊史	世界各国と日本のオピオイド消費量に関する研究	緩和ケア	Vol. 26 No. 6 NOV. 445-451 (2016)
高橋理智 森田達也 服部政治 上野博司 岡本禎晃 伊勢雄也 宮下光令 細川豊史	日本と世界のオピオイド消費量	緩和ケア	Vol. 26 No. 5 SEP. 367-374 (2016)
中川左理 岡本禎晃 柴田政彦	ペインクリニック外来患者を対象とした薬剤師外来の現状	医療薬学	第42巻 第8号 558-561 (2016)
中川左理 花城理人 岡本禎晃 久米典昭 田中育子 明石延子 中嶋真一郎 西本哲郎 西浦哲雄	オキシコドン持続皮下投与開始時の有効性および安全性	日本緩和医療薬学雑誌	8:111-116 (2015)
寺岡麗子 中山みずえ 豎ゆりか 上田華世 湯谷玲子 沼田千賀子 岡本禎晃 平野剛 富田猛 平井みどり 北河修治	1日1回貼り替え型フェンタニルクエン酸塩貼付剤（フェントステープ）の薬物残存量に影響を与える要因	日本緩和医療薬学雑誌	9:111-116 (2016)
岡本禎晃	緩和ケアにおける薬剤師の関わり40. スピリチュアルペイン	大阪府薬雑誌	Vol. 67, No. 4 (2016)
岡本禎晃	緩和ケアにおける薬剤師の関わり41. 抑うつ	大阪府薬雑誌	Vol. 67, No. 5 (2016)

著 者	題 名	雑 誌 名	巻 号
岡本禎晃	緩和ケアにおける薬剤師の関わり42. 非薬物療法による鎮痛	大阪府薬雑誌	Vol. 67, No. 6 (2016)
岡本禎晃	緩和ケアにおける薬剤師の関わり43. 口腔内の疼痛への対応	大阪府薬雑誌	Vol. 67, No. 7 (2016)
岡本禎晃	緩和ケアにおける薬剤師の関わり44. 在宅緩和ケア	大阪府薬雑誌	Vol. 67, No. 8 (2016)
岡本禎晃	緩和ケアにおける薬剤師の関わり45. 緩和ケアにおける薬物相互作用	大阪府薬雑誌	Vol. 67, No. 9 (2016)
岡本禎晃	緩和ケアにおける薬剤師の関わり46. 緩和ケアにおける抗精神薬使用の実際	大阪府薬雑誌	Vol. 67, No. 10 (2016)
岡本禎晃	緩和ケアにおける薬剤師の関わり47. 緩和ケアにおける利尿薬使用の実際	大阪府薬雑誌	Vol. 67, No. 11 (2016)
岡本禎晃	緩和ケアにおける薬剤師の関わり48. 緩和ケアにおける抗うつ薬使用の実際	大阪府薬雑誌	Vol. 67, No. 12 (2016)
岡本禎晃	緩和ケアにおける薬剤師の関わり49. 非がんの慢性疼痛 1	大阪府薬雑誌	Vol. 68, No1 (2017)
岡本禎晃	緩和ケアにおける薬剤師の関わり50. 非がんの慢性疼痛 2	大阪府薬雑誌	Vol. 68, No3 (2017)
岡本禎晃	緩和ケアにおける薬剤師の関わり51. 非がんの慢性疼痛 3	大阪府薬雑誌	Vol. 68, No3 (2017)
岡本禎晃	疼痛マネジメントのキホン 1. タイ トレーションとは	調剤と情報 2016. 6	Vol. 22 No. 8
岡本禎晃	元気なうちに緩和ケア。私が後悔し たくない。	緩和ケア増刊号 緩和 ケアの魔法の言葉	Vol. 26 Suppl. JUN. 2016
岡本禎晃	4章 疼痛治療の薬剤ポイント集 3. 各疼痛治療薬のポイント	プロフェッショナルが んナーシング 2017 春季増刊号	
岡本禎晃 (共著)	プロの手の内がわかる！ がん疼痛 の処方さじ加減の極意	南山堂	

放射線科 論文発表等

著 者	題 名	雑 誌 名	巻 号
松月 久穂	GE DXA装置を活用した測定モードの 違いによる測定数値の検討	GE Healthcare ホーム ページ臨床応用、研 究報告	2016. 6
後藤 博	兵庫県立尼崎総合医療センター放射 線部訪問	兵庫県放射線技師会会 誌 12月号	Vol. 76-② Dec 2016

薬剤科 学会発表等

発表者	演題	学会名	月日
Okamoto Y Hirai M Hosoya O Yamada K Suzuki T Kagaya H	Factual Investigation of Undergraduate Education in Palliative Care at Pharmaceutical Colleges and Pharmaceutical Departments around the Country in Japan. 26th FAPA Congress 2016	Bangkok, Thailand	9-13 November 2016
Niki Kazuyuki Okamoto Yoshiaki Tabata Yoshitaka Murata Taizo Matsumura Yasushi Takagi Tatsuya Uejima Etsuko	A New Approach of Determining Short-term Prognostic Predictiv Methods in Terminal Cancer Patients Based on the Change-point in Laboratory Test Values. 9th World Research Congress of the European Association for Palliative Care(EAPC)	Dublin, Ireland	9-11 June 2016
Numata Chikako Yamane Masako Teraoka Reiko Okamoto Yoshiaki Yokoyama Ikuko Yutani Reiko Kitagawa Shuji	Adhesion Levels of Fentanyl Transdermal Products. 9th World Research Congress of the European Association for Palliative Care(EAPC)	Dublin, Ireland	9-11 June 2016
Nishiyama Nanako Okamoto Yoshiaki Abe Kazunari	A Clinical Study on the Hope of Rehabilitation for Advanced Cancer Patients in Palliative Care Setting whose Performance Status was 3-4. 9th World Research Congress of the European Association for Palliative Care(EAPC)	Dublin, Ireland	9-11 June 2016
Teraoka Reiko Miyake Mai Okamoto Yoshiaki Nakayama Mizue Numata Chikako Hirai Midori Yutani Reiko Kitagawa Shuji	Half Dose Administration Using Once-a-Day Fentanyl Patch 12.5 µg/h with Film Dressings. 9th World Research Congress of the European Association for Palliative Care(EAPC)	Dublin, Ireland	9-11 June 2016
上山涼子 中山みずえ 端山明子 田中育子 富島智子 渡部安加 角田延子 見田秋与志 岡本禎晃 大原英明 木戸泰子 佐治文隆	ハイリスク薬の横断的リスク回避システムの現状報告と薬剤師の意識調査	第3回日本医療安全学会総会	2017. 3. 18-19
中川左理 岡本禎晃 柴田政彦	ペインクリニック外来における帯状疱疹後神経痛 (PHN)の実態調査と説明の重要性	第46回日本慢性疼痛学会	2017. 2. 17-18
江頭佐都美 遠藤千栄 加治佐直子 橋野陽子 神谷裕子 金井菜穂子 中嶋真一郎 岡本禎晃	遺族会出欠に及ぼすの因子についての検討	第1回関西緩和医療研究会	2016. 11. 13

発表者	演 題	学 会 名	月 日
仁木一順 岡本禎晃 中嶋真一郎 金井菜穂子 西浦哲雄 上島悦子	終末期がん患者における嗅覚と不安・抑うつ症状との関連性についての臨床試験	第29回日本サイコオンコロジー学会総会	2016. 9. 23-24
武田真伊子 中山加菜恵 寺岡麗子 湯谷玲子 沼田千賀子 岡本禎晃 大槻裕朗 高子優子 平井みどり 北河修治 坂根稔康	フェンタニル3日用テープ剤の先発品と後発品の溶出性、皮膚透過性及び貼付済みテープ剤中のフェンタニル残存率の比較	第26回日本医療薬学会年会	2016. 9. 17
黒岩あゆみ 山崎範子 岡本禎晃 金井菜穂子 松尾圭祐 中嶋真一郎 加治佐直子	入院時より寝かせて欲しいと強く希望する乳癌患者と家族のとの関わり	第29回日本サイコオンコロジー学会総会	2016. 9. 23-24
西本哲郎 中嶋真一郎 宮武佳菜枝 金井菜穂子 西山菜々子 加治佐直子 岡本禎晃	緩和ケアチームセルフチェックプログラムを施行して～市立芦屋病院緩和ケアチームからの報告～	第21回日本緩和医療学会学術大会（シンポジウム）	2016. 6. 17-18
坂下明大 秋月伸哉 安保博文 伊勢雄也 梅津未希子 品田雄市 中澤葉字子 山城亜紀子 加藤雅志 岡本禎晃 小山富美子	緩和ケアチーム自施設評価について～緩和ケアチームセルフチェックプログラム～	第21回日本緩和医療学会学術大会（シンポジウム）	2016. 6. 17-18
宮下光令 青山真帆 佐藤一樹 安部睦美 首藤真理子 岡本禎晃 白土明美 柳原一広 山田祐司 浜野淳 森田達也	遺族調査の回収率の向上を目指した2×2×2ランダム化要因デザイン試験	第21回日本緩和医療学会学術大会	2016. 6. 17-18
岡本禎晃	薬剤師が考えるせん妄の原因検索と対応	第21回日本緩和医療学会学術大会（シンポジウム）	2016. 6. 17-18
田中育子 岡本禎晃 山中ひな子 中嶋真一郎 西本哲郎 沼田千賀子 西浦哲雄	終末期がん患者におけるコルチコステロイドの使用目的と効果・副作用の調査研究	第10回日本緩和医療薬学会年会	2016. 6. 3-5
岡本禎晃	緩和医療の現場で薬剤師が麻酔科医師に求めること	第9回日本蘇生科学(シンポジウム)	2016. 5. 27

発表者	演 題	学 会 名	月 日
岡本禎晃	薬剤師主導の臨床研究	日本薬学第136年会（シンポジウム）	2016. 3. 26-29

臨床検査科 学会発表等

発表者	演 題	学 会 名	月 日
上田 一仁	蛋白分画と免疫電気泳動は相思相愛？	第67回日本電気泳動学会総会シンポジウム	2016. 8. 27
上田 一仁	CLEIA法を用いた新規プロカルシトニン測定試薬の基本的性能評価と異常反応の解析	日本臨床検査自動化学会第48回大会	2016. 9. 24
上田 一仁	ピットフォール研究専門委員会～免疫血清検査領域におけるピットフォール事例	第56回日本臨床化学会年次学術集会プロジェクト報告	2016. 12. 2

臨床検査科 研究会および院外講演会

発表者	演 題	学 会 名	月 日
上田 一仁	基礎から学ぶ臨床検査のイ・ロ・ハ ～その結果、患者様に説明出来ますか？～	第5回兵庫県薬剤師会・兵庫県病院薬剤師会主催講演会	2016. 9. 10
上田 一仁	尿検査・免疫化学検査・感染症検査輸血検査実技指導	大阪府医師会臨床検査臨床検査精度管理調査報告会、輸血・血液形態セミナー	2017. 3. 25

栄養管理室 学会発表等

発表者	演 題	学 会 名	月 日
澤田 かおる	1型糖尿病患者に持続血糖測定を導入した一症例	日本糖尿病学会	2016. 5
加隈 愛子	IOC（間歇的口腔食道経管栄養法）と経口摂取を併用し栄養治療が奏功した一症例	日本静脈経腸栄養学会 近畿地方会	2016. 7
澤田 かおる	1型糖尿病患者にSAP療法を導入した一症例	病態栄養学会	2017. 1

栄養管理室 院外活動等

発表者	演 題	学 会 名	月 日
澤田 かおる	公開講座 飲み込みにくいと感じたら	芦屋病院公開講座	2016. 6
澤田 かおる 加隈 愛子	心不全と食事 ～おいしく節塩～	芦屋病院公開講座	2016. 9
澤田 かおる	当院におけるカーボカウントについて	阪神地区看護師研究会 コスモス会	2016. 9
澤田 かおる	病院栄養士の仕事	西宮今津高校	2016. 1
加隈 愛子	臨床栄養実習	神戸学院大学	2016. 1
澤田 かおる	IOC（間歇的口腔食道経管栄養法）と経口摂取	西宮地区病院栄養士会	2017. 2

リハビリテーション科 学会発表

発表者	演 題	学 会 名	月 日
田村宏 名和巖 上田一仁 小関万里 紺屋浩之	高齢期のサルコペニア症例に対してレジスタンス運動が効果的であった一経験	第59回日本糖尿病学会年次学術集会	2016. 5. 19
田村宏 兪陽子 小関万里	安定期COPD患者の膝関節伸展ピークトルクが6分間歩行距離に及ぼす影響	第26回日本呼吸ケアリハビリテーション学会学術集会	2016. 10. 10
今井教仁 杉下周平 小嶋和絵 片岡政子 竹田晃	水痘帯状疱疹ウイルスにより嚥下障害を発生した症例	第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学術大会	2016. 9
西山菜々子	リハビリテーションの実施時間を定時化することは進行がん入院患者にとって益となるか	第21回日本緩和医療学会学術大会	2016. 6. 17-18
西山菜々子	緩和ケアが主体となる進行・終末期がん患者が表出する希望と実施したリハビリテーションプログラムについての調査	第50回日本作業療法学会	2016. 9. 9-11
Nishiyama N Okamoto Y Abe K	A clinical study on the hope of rehabilitation for advanced cancer patients in palliative care setting whose performance atatus was 3-4	The 9th World Research Congress of the Europran Assosiation for Palliative Care	2016. 6. 9-11

リハビリテーション科 院外講演会等

発表者	演 題	学 会 名	月 日
田村 宏	腰にやさしい4つの法則、かんたん腰痛体操	夙川公民館活動推進委員会	2016. 9. 10
田村 宏	健康でいられること	芦屋市老人クラブ連合会リーダー研修	2017. 3. 6
片岡政子 田村 宏 澤田かおる 上田一仁 東3階病棟スタッフ	出張！糖尿病教室	芦屋病院公開講座	2016. 7. 2
清水憲政 田村 宏	あなたとの骨は大丈夫？～コツコツと学ぶ骨粗鬆症の話～	芦屋病院公開講座	2016. 11. 5
今井教仁 桑田一郎	摂食嚥下障害へのアプローチ	兵庫県看護協会阪神南支部看護研修会	2016. 11. 26
西山菜々子	呼吸困難感改善によりリハビリテーションが継続できた一例	Supportive Care Seminar	2017. 2. 17

放射線科 学会発表

発表者	演 題	学 会 名	月 日
後藤 博	無線バーコードリーダーを用いたCT患者誤認防止システムの運用	日本医療マネジメント学会第11回兵庫支部学術集会	2017. 2. 26

放射線科 院外講演会等

発表者	演 題	学 会 名	月 日
長瀬大希	あなたの骨は大丈夫？～コツコツと学ぶ骨粗鬆症のお話～（DXA検査説明担当）	芦屋病院公開講座	2016. 11. 5

看護科 学会発表

発表者	演 題	学 会 名	月 日
黒岩あゆみ	入院時より寝かせて欲しいと強く希望する乳がん患者と家族の関わり	第29回日本サイコオンコロジー学会総会	2016. 9. 23-24
田端支晋 大橋奈美 岩崎美智子 陰山美穂子 邊見知恵子 豊倉睦美 松岡規代 橋本真紀 他	訪問看護認定看護師による事例検討会の継続～事例検討会への参加回数と振り返り記述から～	第6回日本在宅看護学会学術集会	2016. 11. 19-20
田端支晋 大橋奈美 岩崎美智子 陰山美穂子 邊見知恵子 豊倉睦美 松岡規代 橋本真紀 他	気づきを促す事例検討の実際～訪問看護師の相談機能実践能力を磨くために～	第6回日本在宅看護学会学術集会	2016. 11. 19-20
後藤貴美子 中本育代 森田美治代 岡野万里子	いじめによる外傷で受診した児童への関わりを考えるー児童や家族に対する二次被害に配慮した介入・支援と連携を振り返ってー	2016年度兵庫県看護協会看護実践研究会	2016. 11. 26
川口冴子	抗がん剤取り扱い時のガウン装着に関する実態調査	第31回日本がん看護学会学術集会	2017. 2. 4-5
荒井菜摘	ストーマ造設への受け入れの課程について フィンクの危機理論を用いて振り返る	平成28年度阪神南支部看護実践報告会	2017. 2. 18
嵯峨山育子 小野英子 足立奈央 嶺田朋子 澤田かおる	夜勤・交替制勤務に就く看護職の食事と食習慣について	日本医療マネジメント学会第11回兵庫支部学術集会	2017. 2. 25
阪本純子 中島恵実 嵯峨山育子	医療関連機器圧迫創傷の発生頻度と発生場所	日本医療マネジメント学会第11回兵庫支部学術集会	2017. 2. 25

実習受入実績（平成28年度）

受入科等	学校等	人数	実習期間
診療局	兵庫医科大学病院	6名	4月1日～5月31日 6月1日～7月31日 8月1日～9月30日 10月1日～10月31日 10月1日～29年3月31日 12月1日～29年1月31日
	兵庫医科大学	9名	29年2月6日～2月17日 29年2月27日～3月10日 29年3月13日～3月24日
	大阪大学	4名	7月19日～7月29日 11月14日～11月25日
	甲南女子大学（ペインクリニック内科見学）	4名	10月19日、10月26日
看護局	西宮市医師会看護専門学校	22名	5月10日～9月21日 7月12日～7月29日
	神戸看護専門学校	32名	7月12日～7月29日 11月29日～12月15日 29年1月10日～1月26日 29年2月21日～3月8日
	兵庫大学	47名	8月23日～8月24日 10月17日～10月28日 11月7日～11月18日 11月28日～12月9日 29年1月10日～1月20日 29年2月14日～2月22日 29年2月28日～3月8日
	兵庫県看護協会	1名	9月1日～29年3月31日
	日本看護協会 神戸研修センター	2名	29年1月11日～2月3日
薬剤科	神戸学院大学	3名	4月11日～7月3日 9月26日～12月11日 29年1月10日～3月27日
	京都薬科大学	1名	4月11日～7月3日
	神戸薬科大学（早期体験）	8名	5月10日、5月17日
	武庫川女子大学（早期体験）	4名	6月9日
	武庫川女子大学	2名	7月4日～9月25日 29年1月10日～3月27日
	神戸薬科大学	2名	7月4日～9月25日 29年1月10日～3月27日
	大阪薬科大学	2名	9月26日～12月11日
	アリゾナ大学	2名	29年3月28日、29日
臨床検査科	大阪医療技術学園専門学校	1名	6月22日～9月9日
	神戸学院大学	4名	8月1日～8月12日 29年1月6日～1月27日
	神戸常盤大学	1名	29年1月11日～3月7日
リハビリテーション科	宝塚医療大学	1名	4月11日～5月29日
	吉備国際大学	1名	8月22日～9月17日
	兵庫医療大学	1名	29年1月9日～3月4日
栄養管理室	園田学園女子大学	2名	5月9日～5月20日
	神戸松蔭女子大学	2名	5月23日～6月3日
	武庫川女子大学	1名	6月6日～6月24日
	神戸女子大学	4名	8月1日～8月12日 8月15日～8月27日
	神戸学院大学	2名	9月5日～9月16日
	千里金蘭大学	4名	29年1月30日～2月10日 29年2月13日～2月24日
（トライやるウィーク）	芦屋市立精道中学校	3名	5月23日～5月27日
	芦屋市立山手中学校	3名	5月30日～6月3日
	芦屋市立潮見中学校	3名	6月6日～6月10日
	芦屋国際中等教育学校	3名	11月7日～11月11日
救急	芦屋市消防本部	8名	29年2月27日、3月3日、3月6日